

2. 【地域活動の拠点（サークル活動）】①

ナンバーをクリック！

【同じ趣味の会系】

- ★ 小芝居・朗読劇⇒[NO.173](#)
- ★ 紙芝居⇒[NO.45](#), [NO.176](#), [NO.200](#), [NO.211](#)
- ★ 体操教室⇒[NO.91](#)
- ★ スポーツチャンバラ⇒[NO.189](#)
- ★ ハンモックでお昼寝会⇒[NO.189](#)
- ★ 歌・合唱・読書・読み聞かせ⇒[NO.17](#), [NO.31](#), [NO.50](#), [NO.69](#), [NO.80](#), [NO.84](#), [NO.85](#), [NO.147](#), [NO.148](#), [NO.202](#), [NO.203](#)
- ★ レコードをかけてみんなで聞く⇒[NO.109](#)
- ★ カラオケ大会⇒[NO.15](#), [NO.45](#), [NO.194](#)
- ★ 囲碁・将棋⇒[NO.66](#), [NO.103](#), [NO.189](#), [NO.194](#)
- ★ ネットお取り寄せグルメを食べる会⇒[NO.180](#)
- ★ お食事会⇒[NO.14](#), [NO.15](#), [NO.78](#)
- ★ 歴史教室⇒[NO.22](#), [NO.32](#), [NO.103](#), [NO.105](#), [NO.177](#), [NO.189](#), [NO.222](#)
- ★ 郷土史⇒[NO.31](#)
- ★ 歴史を語る会⇒[NO.22](#)
- ★ リサイクルサークル⇒[NO.8](#), [NO.42](#), [NO.103](#), [NO.171](#), [NO.172](#), [NO.185](#)
- ★ 石文（おくりびと）⇒[NO.180](#)
- ★ リサイクルー江戸時代の文化を学ぶ⇒[NO.29](#)
- ★ 開運サークル⇒[NO.160](#)
- ★ マンダラ作り⇒[NO.180](#)
- ★ 数珠作りの会⇒[NO.81](#)
- ★ 家系図作り⇒[NO.152](#), [NO.189](#)
- ★ 万年筆作り⇒[NO.180](#)
- ★ タイムカプセル⇒[NO.189](#)
- ★ 漢字教室・漢字クロスワードパズルをみんなで解く⇒[NO.185](#)
- ★ 仏教好き集まれ⇒[NO.27](#)
- ★ 仏女、歴女⇒[NO.50](#)

2.【地域活動の拠点（サークル活動）】②

ナンバーをクリック！

- ★ 現代と昔の遊び場（ベーゴマ、パイプレード、ゲーム）⇒[NO.105](#), [NO.143](#), [NO.147](#), [NO.155](#), [NO.162](#), [NO.173](#)
- ★ 彫刻⇒[NO.17](#), [NO.189](#), [NO.194](#)
- ★ カルタ⇒[NO.20](#), [NO.56](#), [NO.95](#), [NO.103](#), [NO.161](#), [NO.162](#), [NO.194](#), [NO.201](#)
- ★ 方言教室⇒[NO.56](#)
- ★ 地域の伝承や風習を集めて資料にする、その後共有⇒[NO.176](#), [NO.178](#)

【勉強会系】

- ★ 空手・柔道・少林寺拳法・剣道・合気道⇒[NO.56](#), [NO.103](#), [NO.127](#), [NO.177](#), [NO.194](#)
- ★ 料理教室（出来たレシピを配布する、コンクールを催して大賞を決める、宗門 HP に掲載）・健康レシピ・精進料理・簡単料理⇒[NO.28](#), [NO.41](#), [NO.55](#), [NO.67](#), [NO.98](#), [NO.132](#), [NO.172](#), [NO.179](#)
- ★ お経の講義⇒[NO.215](#)
- ★ PC 教室⇒[NO.74](#), [NO.189](#)
- ★ 書道・華道・詩吟・茶道・水墨画・日舞・三味線・陶芸⇒[NO.3](#), [NO.12](#), [NO.15](#), [NO.16](#), [NO.17](#), [NO.46](#), [NO.51](#), [NO.56](#), [NO.70](#), [NO.96](#), [NO.103](#), [NO.104](#), [NO.151](#), [NO.167](#), [NO.173](#), [NO.177](#), [NO.181](#), [NO.181](#), [NO.189](#), [NO.192](#), [NO.194](#), [NO.195](#),
- ★ 算盤⇒[NO.194](#)
- ★ 学習塾⇒[NO.19](#), [NO.90](#), [NO.93](#), [NO.189](#)
- ★ そば教室⇒[NO.177](#)
- ★ 漬物教室⇒[NO.20](#), [NO.32](#)
- ★ ★ビジネスマナー⇒[NO.39](#), [NO.103](#), [NO.189](#)
- ★ 英会話⇒[NO.189](#)
- ★ 社交ダンス⇒[NO.157](#)
- ★ 家紋作り⇒[NO.180](#)
- ★ 雑学大学（月一で講師を呼ぶ）⇒[NO.5](#), [NO.209](#)
- ★ 落語⇒[NO.21](#), [NO.103](#)
- ★ 論語⇒[NO.22](#)
- ★ 和文化教室（畳の手入れ、障子の貼り方、掃除、お香の使い方）⇒[NO.7](#), [NO.39](#), [NO.150](#)
- ★ 作務衣、浴衣づくり⇒[NO.189](#)

2.【地域活動の拠点（サークル活動）】③

ナンバーをクリック！

【真剣な話し合い系】

- ★ 今まで謝らずに来たものを謝る⇒[NO.177](#)
- ★ 家族に手紙を書く会⇒[NO.189](#)
- ★ 子供をなくした人の会⇒[NO.172](#)
- ★ 伴侶をなくした人の会⇒[NO.172](#)
- ★ 老後学講座（悔いのない老後を学ぶ講座）⇒[NO.170](#)
- ★ ガン患者の心のケア⇒[NO.192](#)
- ★ 目標実現の為の誓いと実現過程報告の会（ダイエット・禁煙など）⇒[NO.100](#)
- ★ 頑張っている人報告⇒[NO.103](#)
- ★ エンディングノート（自分の葬儀や人生の終わりを企画するノート）作成⇒[NO.180](#), [NO.189](#)
- ★ 精神についての道場⇒[NO.27](#), [NO.50](#), [NO.82](#), [NO.116](#), [NO.195](#), [NO.216](#)
- ★ 紙芝居（お寺の歴史や法話を紙芝居にする）⇒[NO.45](#), [NO.176](#), [NO.200](#), [NO.211](#)
- ★ ママサークル・胎教にお経・子育て相談・赤ちゃんを連れて行ける・ベビーヨガ等⇒[NO.50](#), [NO.53](#), [NO.86](#), [NO.96](#), [NO.110](#), [NO.131](#), [NO.192](#)

【交流が目的の会系】

- ★ 老人と子供の交流会／昔の遊びを伝える（ベーごま、あやとり、おはじき、お手玉、ゴムとび、竹馬）⇒[NO.3](#), [NO.10](#), [NO.61](#), [NO.134](#), [NO.143](#), [NO.145](#), [NO.147](#), [NO.155](#), [NO.173](#)
- ★ 月ごとの誕生会⇒[NO.46](#)
- ★ お見合い／法話／お寺に泊りがけ「（年齢限定、安く）⇒[NO.7](#), [NO.50](#), [NO.60](#), [NO.77](#), [NO.84](#), [NO.117](#), [NO.121](#), [NO.127](#), [NO.139](#), [NO.143](#), [NO.154](#), [NO.189](#)

【僧侶が必須系】

- ★ 仏教に基づく生活講座⇒[NO.189](#)
- ★ 自分の戒名を考える会⇒[NO.189](#)
- ★ お坊さんって普段なにをしているの講座⇒[NO.39](#)
- ★ 修行で学んだことを語る⇒[NO.103](#), [NO.116](#)

2.【地域活動の拠点（サークル活動）】④

ナンバーをクリック！

【ボランティア支援系】

- ★ 国際貢献体験（ラオスに学校を作るなど）⇒[NO.192](#)
- ★ お寺の掃除・町内清掃などのボランティア⇒[NO.180](#), [NO.183](#), [NO.189](#)
- ★ ゴミ掃除をしておみくじ券と交換する⇒[NO.38](#), [NO.126](#)

✿ 地域社会のお寺の活用アイデア

お寺玉やけん玉、めんこなど昔からの遊びを、お年寄りの方たちから子供たちが遊び方を、お寺で楽しく学び、子供たちがお年寄りの方たちに折り紙の作品など、手作りのものをプレゼントしたり、年齢関係なく交流出来る場として、お寺を活用出来たら素敵だと思います。

子供から大人まで通える“習字教室”も、お寺で出来たら良いなと思います！

お寺を身近で温かい場と考えていきたいです。

それが地域とのコミュニティに繋がったら素晴らしいですね。



雑学大学の開設		70 才	男性
NO.5	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

目的	<ul style="list-style-type: none"> 1、気軽に参加できる学習機会の提供、 2、地域住民のふれあいの場づくり、 3、学習内容を地域社会へ還元、 4、近年、疎遠となっているお寺と住民の接点を図る、
概要	<ul style="list-style-type: none"> 1、お寺を活動の拠点とする、 2、参加者は、地域の住民であれば誰でも可、一応メンバー登録制、 3、活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 講演会 ・ 月 1 回開催、 ・ テーマは定めず、毎回異なる、 ・ 講師は特に拘らず、地域の有識者、教育者、特別な知識を有する者など、 ② 分科会 ・ メンバーの希望により、いろんなジャンルを取り上げる、 ・ メンバーが集まり、互いに勉強し合う、 (例) 地域活性化グループ、 地域活性化についての検討、 地域再発見グループ、 史跡、景観、地域文化、歴史、産業、 農産物、など、
その他	<ul style="list-style-type: none"> 1、当初は、お寺と有志でスタートする、 2、その後、役員や運営委員などを決める、 3、年会費などの検討が必要となる、

ランチ	お茶会	お泊り	瞑想	お香	38才	女性
NO.7	P1	勉強会／交流が目的の会／境内・伽藍の開放				⇒ジャンルへ

morning - ☀ -

瞑想で頭スッキリ！

出勤前に瞑想してから会社に行く。

フランスの会社でも取り入れている所もあるとか！..

目を閉じて心を落ち着かせることで集中力が高まり仕事の効率もUP
すると思います。

お茶・お香 講座

夜は仕事等、何かと時間が読めないのよ" 朝、自分のために
時間を使うのはどうかよ" と思いました。

after noon ☘

お寺で Lunch

自然食や玄米菜食で弁当のようにする。主婦や子どもも入ることか
できる感じにして和の時間のすばらしさを体感できたよ！ と思いました。
(おにぎり、おみそ汁、おつけもの のような簡単なもので..)

Holiday ☘

お茶会で婚活

先生に お茶を習いながら合コンで"気合いを入れず" 出会いの場
にする。ただお茶を飲みながら堅くしつない話が"できる時間"を
楽しめると 1111 と思いました。

お寺で お泊り

幼児～小学校低学年くらい

自分でふとんを敷いたよ！、朝はそうじをしてお経を読む

必要を感じております。「俳句」「短歌」を教えたり
 する様な事もお寺さんがいらしてはどうでしょうか？
 書道、お花等も教えたら少しでもこの人に
 生活の中に入れてやるのではないだろうか
 交流が大切だから文化を教えるかと思う
 ます。笑うと言うテーマを持って楽しい文化
 教室にしたら少しずつでも人が集って来ます。
 長い間ババアの人々ばかりが寄って来ると思います。
 修業をされたお坊さんのエピソード等も、
 一般人には歓迎されます。(笑いの渦が起る様な)
 以上の事を私は提案します。

「実行、実現する事が大事で、一歩お千里まで」
 「1軒ずつチラシを配ります今度何々をしますから
 どうかぜひいらして下さい」と

今の時代は一帯みんがなえーいある事で、
 片高齡の方が多く、前より元氣な方が、
 山いり水です。地域の色々な会に出るのも、
 乃木く、なにもないと言ふ事もよく聞きます。
 一人でも生活してたり、おがちや、おはあち
 やとの生活のしるゝいおさん達も、
 手、そこを、お寺の休ってな、い、こ、お、
 方達があつて、昔の色んな話おしてあげた
 り、今の子供達の話お聞いたり、
 手作りの物おそわたり、
 出来たり、子供達も、お年おる、
 だやかる、やさしい気持ちの日々お、
 下は石い、お、思、て、この、お、
 お、使、せ、て、いた、け、た、と、思、て、出、
 たり

- ① 地域社会（増家さんだけでなく一般の人も含めた）での
人と人をつなげる コミュニティスペースとして 活用する。

長引く不況、震災で先の見えない不安を抱えて生きている
現代では、孤独感や閉塞感を感じ、心を痛めている人も
多くなります。そんな今だからこそ、行政やNPOとは違う
方法で皆が幸福感を感じられる地域社会を作りたいから
いいと思います。

例えば”

- ① 写経、座禅、読法などを、オープン形式で行う。
「増家さん、宗家にこだわらず」（難しいでしょうか？）
お気軽に参加できると思います。
- ② ヨガ、習字、お花などの教室を無料に
バレーボールや楽器の演奏会などを開催する
（利用者やボランティアさんが協力する）
- ③ 男女の出会いの場を提供する。
（例えば、お寺の庭の手入れやおしるし。
その後、お食事会をしたりするなど）

親身を持って、いろいろ参加できるように思います。

子供に勉強せよ。親が教えられたい大切なことを教える。
 お年寄りの交流の場所など いろいろ考えられたいと思う。
 又、若者や中年は、忙しいが、多くのストレスを抱えており、
 中には、自分を見つめ直したい、いのちの持ち方を勉強したい、お茶会も
 大切ではないかと思う。そういう面でのサポートをして
 いてほしいというのではないかと思う（法話、読法など）

地域の人達が 集って交流し ぶつかりあいなから
 切磋琢磨し、いざという時 助け合えるような
 地域社会をつくるためのツールとして。
 コーヒーもたくさんあるというお寺が、一役買っ
 ているように思っている。

震災を経験し、多くの人が、今を何とか乗り越えたい
 と思いつつも「簡単じゃない」と思っていると思う。
 私自身も非難をうけながら 何かできることがあれば
 できたらいいなと思っている。

お寺でご飯		21才	男性
NO.14	P1	同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

主題として、お寺で食時とする。対象：小学生

食時の前にはお坊さんに授業を行ってもらい、その後お坊さんと一緒に食時をとる。

1クラスの生徒数が多い場合は1クラスで行い、人数の少ないクラスや学年であれば近くの小学校との合同で行う。合同で行うことで、小学校ではあわない、他校との交流が行える場としての理用もできる。

合同で行うことによりコミュニティーの場となると考える。

授業の内容として、現在と過去のお寺の役割の違いなどを長くならないように話す。

お寺と地域のこれあい はとても大切で長くつくような
イベント的な人があつることが望ましい。
早めのお知らせ 計画(報告・連絡・相談) 安全管理
得意面 きちりと一定のルールをつくり お寺におとづれる人々に
「知らなかった」と言われることのないように気を付ける
いつかしてコミニケーション 人々とのあつたと書いて人々に
と読めか 本當にむつかしいが失敗をおそれず積極的にアイデアを
必ず全部 拾っていく。決して否定はしない。一ツカがいろんな説きと
受けとめ 以外なところからヒントをつかみ 大きな楽しい展開へと
導くことがでさる。その時の場の状態に応じて ことさし
展開がでる。

- 1 地産招集 私の田舎でお長のアジアで地域の地場産品
限定品 等の名店をつくり かなり うるおたらしい。
- 2 フリーマーケット いなくなつた 衣服 食器 バッグ 花かん
絵画 楽器 大工道具 等おもに楽しい。
- 3 大軒カーのPR会 宣伝も悪くないと思う。相対決の如く 人々に試験
等 地味にあげるサービス付きも楽しい。空間づくり
- 4 フォグ、コンサート 若者連のあつまりの場として ときめかた
もりわかるのも 世代交代としては良いもの
- 5 シルビ、R.H. 展覧 古々きものの発表会、雨天決行という条件を
望ましい。
- 6 お笑い大会 売れない漫才師連による お笑い大会。
あるいは吉本工業に 無料で場所をお貸した
という ことで 未来のスターが生まれることを祈る。
- 7 お食事会 真夏のやわらか流し 真冬のおでん ラどん
地元の農家の人々の食材の持ち寄りで もと一流の板前
フックさん連による ボランティアで 場をもちあげる
- 8 カラオケ大会 月に1〜2回 野外で思いっきり 年輩者中心に
おあつまり パーティ気分での のりのり。
- 9 ガーデニングクラブ 花の好きな人々がグループをつくり お寺内の花づくり
なるべくお金を使わず 梅わけ さし木 種 等 持ち
お寺を好きな花で キレイにする。

ウォーキングコース 年輩の方々、中高年者によくお見かけするのが公園等でのウォーキング。お寺でも安全なバリアフリーをつくり途中で休けいてるベンチ、木陰、足湯等を つくって おさいせん箱も必ず設置する。ちょっと変えれ おもしろい。アイデアではウォーキングの安全な道が できるのなら スタンプ台、スタンプをつくり 何日一回上なら O.D.賞とかお寺様からの ごほうび なんていうのもおばちゃん達の楽しみになるかもしれない。

1/地元のダイカサービス 私の親も高齢高齢者で認知、足腰の悪くなるのをへの お声かけ。おくらせるわのり/ビツリに かはわせて...るか。お寺で 車使用のトイレが おて花とか外観の美しい所が あるのなら ダイカサービス等の所へも どんどん おまかけ下さい。のお声もかけてほしい。戦争を知っている人達。ものがなから悪条件のなかを生きた我々の人生の大先輩達を ウェルカム精神で おもてなしをしてあげてほしい。高齢者の親を持つ娘として切なる願いである。

2 園児達の園足 葉っぱの落ちる頃、落ち葉を園児に拾ってもらって その葉っぱで 焼さ...もづくりをする。子供達の 手づくりのおもいでづくりができる。

老若男女 向わず 沢山が気持ちよく お寺でつくる おもいでづくり。人と人のおいれを つなぐ 人間らしい心を育てるためのこれからの場として お寺さんも 仏教用語で 悟るための教室も 必要性は十分あるか。庶民のみんなが 楽しくあつまる努力。一セカが仏様の縁によって あつまるような様も おなちよ下さ... という 手づくりのぬくもりは ます最初に お寺さんの仏心から スタート してほしいと思う。

継続的な詩吟教室と定期的発表会			73 才	女性
NO.16	P1	勉強会		
				⇒ジャンルへ

私は、公益社団法人日本詩吟学院の会員です。

詩吟を通して、日ごろ私が考えていることをまず述べさせていただきます。

日本詩吟学院定款第4条（目的）には、この法人は、詩歌吟詠により広く国内外に対し吟道の普及向上を図り典雅にして崇高なる精神の育成と人格の完成を目指し、個性豊かな日本文化・創造と発展に資することを目的とするとあります。

私たちが日ごろのよりどころとして側に置く経典は、中国を介して現在に至ります。詩吟の中心である漢詩も中国から渡来したもので、現在に到っております。双方は共に漢字の共通点があります。

小学校・中学校・高等学校では、漢詩（漢文も）が国語の教科書に有ります。しかし、授業では習ったが詩吟は知らないという者が数多くおります。

お寺をお借りしながら漢詩吟詠に親しむことは、現代を生きるものとして時に忘れがちな、礼節・勤勉・さらには総合扶助の精神の再構築ができ、日本人本来の美德である文化の発展に寄与できるものと信じます。

日本詩吟学院の会員は海外も交えて約8万人。全国的組織で有ります。各地に師範・准師範の会員が多数おりますので、私の計画は容易に可能であると確信いたします。

地域社会に開かれたお寺の活用の募集に、上記の理由で応募させていただきます。お寺に集う老若男女、子供連れなどの姿と、張りのある声の吟詠がお寺の活性化に役立つものと信じて、下記の計画を立案いたします。

概要

- イ 世話人を立て、地域住民を誘い会員仲間を募る。
- ロ 練習日は毎月数回
 - 曜日・時間・月回数等は 後に検討。
 - 子供や青年層を交えての募集には、教室は土曜日が妥当と考える。
 - ただし、土日は法事があると思うので、住職と相談をする。
- ハ 講師の謝礼はなし。ボランティアとする。
- ニ 発表会を定期的にお寺内で設ける。
- ホ 必要経費の集金は後に検討。

65才 停年の人が増えている。

この人達は、組織生活から離れた解放感と、その方

今日行く所も、用もなくなった不安感に与えられ苦悩となる。

この人達は お寺の力を聞き、話し合いの場、お寺や

仏像に接する機会と、お寺は生きているうちに来る所を

知るところを知って頂く。それと坐禅、写経、読経、お茶

絵画、書道、歌、仏像の彫刻等々を学ぶ人生を果して

頂く場を提供する。併せて新しい人間関係を築いて行く。
<お寺は身近な存在であることと知ってもらう>

日本酒	相談	学習塾	料理教室	相撲	不明	男性
NO.19	P1	相談窓口／まつり型イベント／勉強会				
						⇒ジャンルへ

地域社会の為に寺院を活用していくアイデアが、いくつか浮かびましたので投稿させていただきます。

① 寺院を解放して日本酒祭りとか如何でしょうか？

酒屋さんとコラボして各地の日本酒の販売。利き酒コーナー等
行い、優秀者には清酒一本プレゼント等。年1～2回位

② うつ病等、精神疾患の当事者、家族の為に相談窓口開設

最近、増加の傾向にあると思うので、精神科医、心理カウンセ
ラーを招いて、精神科医は医学の立場から、カウンセラーは心
理学の立場から、僧侶は宗教的見地からアドバイスする、その
ようなコーナーを月1回位のペースで行うと、衆生救済につな
がると思うのですが・・・

③ 上と重なるのですが、内科医等の健康相談窓口

④ 本堂を解放して学習塾等も如何でしょうか？

独立を目指す塾講師等に場所を提供する等。

⑤ 料理の専門家を招いて、料理教室の開設

健康で低カロリー、簡単レシピの教室等は、主婦等にうけると思
います。

⑥ ちびっこ相撲教室なんてどうでしょう？

各寺院、近場の相撲部屋から、若手力士等を招き相撲を指導して
頂き、最後にちゃんこ鍋をみんなで食べる。年1～2回位か。

以上6点投稿させていただきますが、宣伝費、各講師の招聘費
用等、コストが少々、気になるところです。文章的に稚拙な点多
々ありますが、ご了承ください。

カルタ会と組む

・小倉百人一首を日本人として、もっと親しみたいと思っても、やっている所も余りなく、やっている方々の場所も限られている様に感じます。そこで和室ばかりのお寺なら会場としても、日本文化という点でもとてもいいコンビでははいかと思っています。競技カルタが広がるのも嬉しいし、静かに歌詩の方に思いのある方達が集うのもいいと思います。

漬け物教室

・各家庭 各家族が進め漬け物を家で作っても食べられないのもあり、買ってくるのが当たり前になってしまっていますが、作り方も知らないのが現実です。どこのお家も、そうだと思いますから、作り方を知っている方に先頭していただきたがう。何人かで多くの漬け物を作ってはどうかと思います。のきもありますし、水道も必ずありますし、お寺でも使ってもらえるでしょうし、漬ってからはい食べたい時に必要な量だけ、とりに来るのでも、いいのではないでしようか。

お寺で落語会		不明	男性
NO.21	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

「もっと身近に日蓮宗」「もっと気軽に日蓮宗」をテーマに、その土地の人々に、気軽にお寺に来ていただき、お寺、お坊さんとの交流を深くし、「落語会」を布教の入り口とする。相談する相手がいない現代社会において、お寺は何でも相談できる場所であることを知らせ「世の中のお役に立てるお寺」のイメージを広げていく。

昔は、子供が生まれた時お寺で名前を付けて貰ったり、相談事がある時など、兎に角、何かあったら「お寺」に行きました。「お寺」は昔から「知恵がいっぱい詰まった場所」でありました。今も、「お寺」は、何かあったら、いや、何もなくても近所の人たちが足を運ぶ場所であってはいないと思うのです。お葬式の時にしか行かないお寺を脱却して、地元の方が気軽に集うお寺にする必要があります。そのためには、難しくなく、誰でもわかる様に仏教を説く事が必要だと考えます。もっと身近に、もっと気軽に、お寺に来て貰い、住職さん達と気軽に、親しく会話して貰う事が必要であると考えます・・・そのきっかけとしては今大ブームの「落語会」の実施が一番近道と考えます。

お寺で「落語会」は既に各地のお寺で実施していますが、この「落語会」を系統的に、全国展開する事をお勧め致したく、本企画をご提案致します。

＜お寺はもっと地域と密着すべきです＞

○お寺は敷居が高くて入りにくい

⇒ お寺のほうから、地元の方の中に降りていってコミュニケーションを求める事が必要

○お葬式しか思い浮かばない。もっと日常的にお寺に来てもらう事を考える事が必要

⇒ 日常に本当に役立つお寺である事を知ってもらう為の、色々な施策を行い、定期的に来場してもらう事が大切

○仏教・宗教と考えると難しすぎる・・・落語調で教える

⇒ 子供でも分かる様に仏教やお寺の事を「落語」のマクラで話してもらう。

例：五重塔は何故五重なのか・・・空・風・火・水・地・・・墓石や卒塔婆の形と同じ・・・等判りやすく、面白く落語調で教える

＜何故お寺で「落語」なのか＞

お釈迦様は人々を集める為に、象牙でサイコロを作り「お寺」で博打をやったそうです。だから博打の事を「御開帳」あがり「テラ銭」そして、お金を全部すってしまう事を「おシャカ」と言うんだそうです。

元来、落語は「舞台」ではなく「高座」と呼び、手拭いは「曼荼羅」羽織は「達磨」とよぶように、お寺とは深い関係があります。

お寺で落語会			不明	男性
NO.21	P2	勉強会		
				⇒ジャンルへ

<実施案：例>

I. 入場無料 地域密着 小規模落語会(～100 名位まで)

- 会場となるお寺：候補・・関東近辺からスタート

～100 名程度の収容規模のお寺

- お客様

檀家及び近郊の人々

- 入場料

無料（基本）

- プログラム

A 案・・「法話」「落語 3 席」・・前座 1 席、落語（二つ目）、落語(二つ目)

B 案・・「法話」「落語 2 席」＋「講談 1 席」

※落語会の前にお寺から短い「法話」／「ご挨拶」

- ・この「お寺」では、定期的にこういう「落語会」を催します。
- ・お墓や、ご先祖様のこと、何か心配事がありましたら、何でもご相談ください。
- ・お寺は弁護士ではありませんので、ご相談を受けてもお金は頂きません。無料です。

※出演者のランクは基本的に、二つ目クラス。

※日蓮宗と関係のある落語、講談の出来る演者も選択できます

御釈迦様・仏教等に関係のある落語・・「甲府ィ」「鯨沢」「堀之内」「寿限無」「転失気」「蒟蒻問答」「錦の袈裟」「宗論」・・等

- 費用概算

150,000 円～200,000 円位 （地域・出演者により大きく変動します）

※上記予算には以下の全ての経費含みます

1. 出演者ギャラ（2～3 名、二つ目クラス）・・・交通費・飲食・泊等
2. 制作物①告知ポスター（B 3 サイズ：10 枚）・・掲示板、レストラン等に貼る
②告知チラシ（A4 サイズ：100～300 枚）・・檀家、レストラン、居酒屋等に配布
③めくり（出演者の名前：手描き）
※上記制作物の原稿製作費
3. 購入物・・・めくり台（各寺に 1 基）
4. 広報・PR・・・地方の新聞、ラジオ、ミニコミ誌等各媒体で告知・PR

- 寄席会場：お寺の施設内にて対応 椅子・畳どちらも可能

- 設置備品：音響・マイク・高座・高座布団・・お寺の通常の備品設備でOKです

お寺で落語会			不明	男性
NO.21	P3	勉強会		
				⇒ジャンルへ

Ⅱ. 入場有料 地域イベント 大規模落語会(200名～400名位まで)

- 会場となるお寺：日蓮宗の総本山・大本山・本山など収容規模の大きなお寺
200名～400名程度の収容規模
- お客様
檀家及び近郊の人々
- 入場料
有料 2,500 円～3,500 円（この規模の落語会の入場料相場）
- プログラム：例（テレビ出演している著名な真打ちクラスをメインに構成）
 - 前座 三遊亭かつ好
 - 落語 金原亭小駒（二つ目）
 - 落語 林家たい平（真打）
 - 一お仲入り
 - 落語 昔昔亭桃太郎（真打）
 - 落語 三遊亭小遊三（真打）
- 費用概算
200 万円～300 万円位（地域・出演者により大きく変動します）
※上記予算には以下の全ての経費含みます
 1. 出演者ギャラ（4～5名、真打ちクラス及び二つ目）・・・交通費・飲食・泊等
 2. 制作物①告知ポスター（B3サイズ：10枚）・・・掲示板、レストラン等に貼る
 - ②告知チラシ（A4サイズ：300～500枚）・・・檀家、レストラン、居酒屋等に配布
 - ③めくり（出演者の名前：手描き）
※上記制作物の原稿製作費
 3. 購入物・・・めくり台（各寺に1基）
 4. 広報・PR・・・地方の新聞、ラジオ、ミニコミ誌等各媒体で告知・PR
- 寄席会場：お寺の施設内にて対応 椅子・畳どちらも可能
- 設置備品：音響・マイク・高座・高座布団・・・お寺の通常の備品設備でOKです

※この規模と出演者では、入場料は2,500 円～3,500 円が相場です。例えば、入場料を@2,500 円で300 人が入りますと、入場料収入は750,000 円になります。

※入場料収入を得ることで、その中から約 500 円程度を、お茶、お菓子、お土産等ご来場者さまへのサービス・記念品などで還元し、喜んでいただくことも考えられます。

お寺で落語会		不明	男性
NO.21	P4	勉強会	
			⇒ジャンルへ

■資料

●出演者候補（出身県別の例）

落語会を盛り上げる為に、その土地出身の噺家を優先することも考慮できます

- ・千葉県・・鈴々舎馬風、むかし家今松、吉原朝馬、林家時蔵、古今亭菊可、柳家三之助、桂笑生、川柳つくし、金原亭小駒、三遊亭金兵衛、三升家勝菜、柳亭市朗(前座)、昔々亭笑海、雷門花助、立川談修、立川こしら、
- ・静岡県・・古今亭円菊、春風亭朝之助、入船亭扇遊、春風亭栄助、春風亭太、柳家喬四郎、古今亭志公、瀧川鯉之助、三遊亭遊喜、三笑亭可女次（前座）、三遊亭橘也(前座)、
- ・神奈川県・・柳家小満ん、林家ぎん平、三遊亭円好、喜久亭寿楽、入船亭扇里、鈴々舎わか馬、三笑亭朝夢、三遊亭楽昇、立川志らら、
- ・東京都・・三遊亭円歌、三遊亭金馬、柳家小三治、橘家円蔵、三遊亭円窓、入船亭扇橋、桂文楽、林家喜久扇、春風亭小朝、柳家さん橋、五街道雲助、三遊亭歌司、柳家さん八、柳家権太楼、三遊亭窓輝、三遊亭天どん、柳谷小権太、鈴々舎風車、古今亭朝太、桂才紫、三遊亭司、柳家喬之進、柳家麟太郎、古今亭菊六、三遊亭時松、柳亭こみち(前座)、古今亭駒次(前座)、柳家生ねん(前座)、初音家佐吉(前座)、柳家ごん坊（前座）、三笑亭可龍、昔々亭慎太郎、三笑亭月夢、春風亭笑松、橘ノ富多葉(前座)、昔々亭喜太郎（前座）、春風亭柳太郎、三遊亭鳳好、三遊亭王楽、三遊亭かつ好(前座)、立川志遊、立川志ら乃、
- ・山梨県・・三遊亭円龍、林家正雀、三遊亭小遊三
- ・茨城県・・金原亭馬の助、
- ・栃木県・・三遊亭あし歌、古今亭ぼん助(前座)、

百歳現役：大人の寺子屋		69 才	男性
NO.22	P1	勉強会／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

<時代背景>

東日本大震災で日本中が判ったこと。それは「親子の絆・地域の絆の大切さ」です。昔、地域の人々の集合場所はお寺だったと言われています。今、お寺は「葬式をする処」になってしまったと思われます。近くのお寺も何となく敷居が高くて入れません。お寺はもっと地域に溶け込んだ方がいいのではと私は考えます。それともう一つの現状は、団塊の世代が60歳を過ぎ、シニア層が大量に増えている少子高齢化の日本社会になっている事。

<地域に溶け込む方法>

- ① まずお寺の敷居を低くして、誰でも入れるようにすべきです。それには、お寺の敷地や境内を開放するところから始めるべきだと思います。
- ② 東日本大震災で人の絆が大切だという事が本当によくわかりました。このチャンスにお寺から「人々の絆・地域の絆」を広げるべきだと考えます
- ③ お寺を利用して「人々の絆・地域の絆」を創り出すには、先ず人々の共感を得る事です。それには、時間があり、子供の頃、地域の絆に触れていたシニア層を引き込むことが大事だと考えます。

※シニア層を終結させるキーワードは「家族の絆」「地域密着」「飽きさせない・楽しい」「気分が若くなる」「孤独を癒し共に楽しむ」

<具体的提案>

「百歳現役：大人の寺子屋」

- ① 先ず、シニア層が興味を持ち、集まりやすい様に「お酒付の懇談会」などを開設
 - ② 百歳まで現役で、足腰丈夫で皆で元気に生きましょう！と旗を掲げる
 - ③ 時間のあるシニア層の全面協力（ボランティア）で様々な催しを決める
 - ④ 懇談会の中で、その地域に何が役に立つか、取り込みやすいかを定める
 - ⑤ 催しの候補
 - ・「俳句の会」「川柳の会」・・・黛まどか等有名人を安く招聘
 - ・「地域の歴史を語る会」・・・皆で研究
 - ・「除夜の鐘つき」・・・地域の人達に任せる
 - ・「お寺で餅つき大会」地域の大人と子供たちを総動員
 - ・「論語を語る夕べ」・・・専門家を安く招聘
- ※定期的に子供たちを集めて「論語を読む会」にまで持って行けると理想的

お寺に庭を作ろう 仏教好き集まれ		62才	男性
NO.27	P1	真剣な話し合い／公園化	
			⇒ジャンルへ

1. お寺に庭を作ろう

- ① 檀家さんをまきこんで、庭作り作業を行おう
- ② 庭作りのノウハウを生かして、寺の土地・建物の有効利用を
支える
- ③ お寺開放のヒントが見つければ幸いである。

2. 仏教好き集まれ

- ① 檀家の中で、仏教好きを集める
- ② 各寺の仏教好きを、仏教会単位で集合させ定期的に
会合を持つ
- ③ ボランティア活動から出る集団と存すれば幸いである。

南無クッキング		不明	男性
NO.28	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

(概要)

蔵の宝より身の宝、身の宝より心の宝

戦後日本は高度経済成長期を迎え蔵の宝を第一としてきた気がします。

昨今、蔵の宝より身として、様々なテレビ番組で美容健康法等が数多く取り上げられております。また、以前は派手目なタレントやビックマウスなスポーツ選手が人気でしたが、

ゴルフの石川選手やハンカチ王子、優しい雰囲気綾瀬はるかさん等、心の豊かな人格が社会からの評価を受けております。

現代人は、健康と心の豊かを求めています。

そこで、健康と品性人格の向上という点に重点を置き、寺院から地域社会に貢献するなら、「健康」においてはお寺の精進料理、心のサプリメントとしては「仏教」、の二本立で多くの人に健康と心の豊かさを提供致します。

食べる前の「いただきます」等の仏教的解釈の法話をしつつ精進料理の作り方を提供する場所としてお寺を提供致します。

要は料理教室兼試食会です。

料理の講師を呼ぶもよし、住職や寺庭婦人が教えてもよし、多くの人と楽しく学ぶ事が一番大切です。

宗門では各寺院に自慢の精進料理を創作していただき、「アイディア」・「味」を兼ね備えた作品を宗門のホームページに掲載。

例えば、「今月の大賞は〇〇寺様の〇〇（料理名）です。」という感じでサイトに掲載し皆様の夕飯に加えてもらう。

毎月大賞料理を掲載し、画面にプチ法話も掲載。

サイトを閲覧する人は、心も癒され、健康料理も作れる。一石二鳥ですよね。話題になり、他宗にも弘まれば、うまいけばB級グルメ界に仏教が進出出来るかもしれません。

江戸のリサイクル文化を現代に活かそう！！			60 才	女性
NO.29	P1	同じ趣味の会		
				⇒ジャンルへ

近年人々の生活は豊かになり、欲しいものは何でも手に入れることのできる社会になりつつあります。大量生産の時代だからこそ、もう一度私たちの生活を見直す必要があるのではないのでしょうか。

物を大量に生産しては大量に捨てる。これを繰り返し継続していくと、地球環境は最悪の状態になってしまいます。今後の社会が安定したものになるためには、使える物はもう一度使うと『リサイクルの精神』を国民全体に浸透させ、資源を有効に使う『循環型社会』を確立することが大切であると思います。

現代社会と違い、江戸時代は『循環型社会』が確立していたと言われています。そこで江戸時代の人々の「生活」や「生きる知恵」といったものを、お坊さんと共に学び、実際に経験することができたら素晴らしいと思い、このテーマを設定しました。

江戸時代の人々は明日を生きるために、知恵を振り絞っては様々な工夫をして生きていました。その結果、ゴミを分別したり、モノを再利用したりすることができていたのです。それに比べて現代では何でも簡単に解決してしまいます。その背景には、科学や技術などの進歩が大きく影響しているとも考えられます。だからこそ江戸時代の人々の『リサイクル文化』を今一度見直す機会を設けることは重要であります。

取り組み例

『江戸時代のリサイクル文化を学んで現代に活かそう』

- ・地域の人々がお寺に集まり、江戸時代の人々の生活の知恵をお坊さんと共に学ぶ。
- ・年齢、性別は一切問わない。
- ・誰もが自由に参加することができる。

ハロ－ウィンやクリスマスだけの、似非ワ
リスチャンの多い当世。

宗派は異なっ2いても、日本はやはり、仏
教に係わりを持つ人が多いのだろう。祖先を
祀る上でも、特に信者と言える程ではなくと
も、何らかの形で係わりを持つ2いる。

今こそ、お寺が昔から持つ2いたはずの機
能を取り戻す時ではないだろうか。

お寺はかつて、コミュニティの中心であつた
何かがあれば、人々はここに集い、語り合ひ
子供達は、その境内で遊び、大人達と顔を見
ぎ、友誼を計る。

人間社会の善悪、人としての道徳等、生き
て行く上で不可欠なものや、絆の必要性等を
学んだものだ。

お寺で行なう事が寺小屋でもあるまいが、
お寺が寺小屋でも良いのではないか。年長者が
小工を者を垂範し、そこに大人も目と心を注
ぎ見守り、幼児教育を行なう。

私が小三き頃には、小学校にも、まだその
ような機能が残っていたような気もあるが、
今も、小中学校は、お勉強を教えるだけの、
お受験予備校に成り果てている。

すべてのお寺で行なう事は無理だろうが、
可能な所から現実を設けて始めてみるのも面
白いと思う。お勉強である必要はない。素
読でも、増敬でも、鬼ごっこでもかまわない。
郷土史を教えるのも良い。太鼓を叩くだけでも
構わない。みんなが集まって、何か一緒に
やる。最初は半ばムリヤリにでも…。

でも、やはり無理なのだろうなあ、おかし
な個人主義がはびこる昨今、それぞれが権利
も、独善的な主張ばかりに目が行き勝ちで…

もっと教えるなければならぬ事が、大切な
事がいっぱいあるのに、人として、忘れるは
ならない事がいっぱいあるのに、それを取え
る場所がない。

お寺でやれませんかねぇ。

不満。

てら、寺のわくわく広場		62才	男性
NO.32	P1	勉強会／同じ趣味の会／公園化	
			⇒ジャンルへ

コンセプト、 山寺、海近の寺、町中の寺など、それぞれが、地利を活かして個性ある広場を創造してほしい、それによって地域の入道にも気にもえると思いを込めて。

- 概要
- 境内では、土産地産の農産物を、曜日をきめて青空市場を開き、取れたて新鮮な品を安く提供する。
 - 寺裡では、この地区でも、目立って多くなった、人世のヘランの道也料理達人とらに近くの飲食店主らによる新鮮産物の料理教室や漬物教室をおこなう。
 - 本堂では、住職や長老による地域の歴史や歳時記を、四方山話で、ちょっとした講演会を定期的に（寺子屋風にタイムスリップしたい）
 - 集落を何箇所かに別れて、当番をきめ各家一品を出品コーナーなんて事してみたい、地区のオアシスとして全要参加を目的とする。

更に細かく

- まず老人達に家から出てもらいたい、入道ふれあいや、生き甲斐を持つ場にしていく。
- 今まで生きて来た、それぞれの人生の経験や世のため人のために使ってもらおう。
- 農業も料理もいまひとつと言えども、何かこれほど、そんなものを探して披露してもらおう。
- 例へば竹の子作り、草薺が吹ける、庵の研ぎが埒など、隠れた名人を掘り起こして地域文化の発掘になる。
- 以上の事で、利を得た人ばかりを奉納していただき、みんなの茶葉子代といったものだ。

結果

- 寺は人世最終章の場ではなく、うきよを楽しむ（世間）の豊かな場所として位置付けたい。
- この広場に来た人々は、年を重ねる事も満更でもないぞと怒り、元気発信基地となるでしょう。



「私がお寺さんで教えてもらいたいこと。
 こういう教室があたら面白いなあと思うこと」

★ 和 文 化 教 室

外国人も招いて、日本の文化やマナーを教える
 (茶道や着付けなど)

★ お寺修行

座禅、写経、般若心経を唱える
 (宿坊あり、なし自由)

★ 精神料理教室

一度も口にした事は、ありませんが、教室を通じて、
 自分で作る事ができれば、精神料理を身近に感じると
 口にする事ができるチャンスだと思います。~~若い女性~~若い女性には、受ける
 と思います。))

★ “お寺さん”って何!? 教えて!! 講座

へ、そもそも、お寺と神社の区別がわいてないという方は、
 大勢、いると思います。全ての教室や講座にぜひ、
 この講座を、取り入れてもらいたいです!!

※ 全ての講座、教室は老若男女、年齢不問で、幅広い
 世代が受ける事ができたら、もっと最高です!!

寺院料理教室		21才	男性
NO.41	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

背景

私たちは寺院に対して少なからず思い入れがある。子供にとっては遊び場で利用したり、大人になっても参拝で行かれたり、情緒な部分で思い入れがあると思う。しかし主に寺院の利用は、観光や墓参り冠婚葬祭などの特別な時だけである。そこで私は寺院に対して「信仰だけ寺を活用するのは少ないのではないか？」と考えた。日本は無宗教が多い事も原因の一つで考えられるが、高齢でも働いたり多忙な時代の背景から寺を頻繁に出向く人は少ないのではないのか。

寺院に出向く理由は大きく分けて、お墓参りや厄払いの「信仰」と旅行での「観光」が挙げられる。観光は、有名な寺院に集まるため地域活性化のプランとして難しい。問題は7万を超える寺院に対してどうするかである。そして私は「信仰」の観点から今回の企画を考えた。

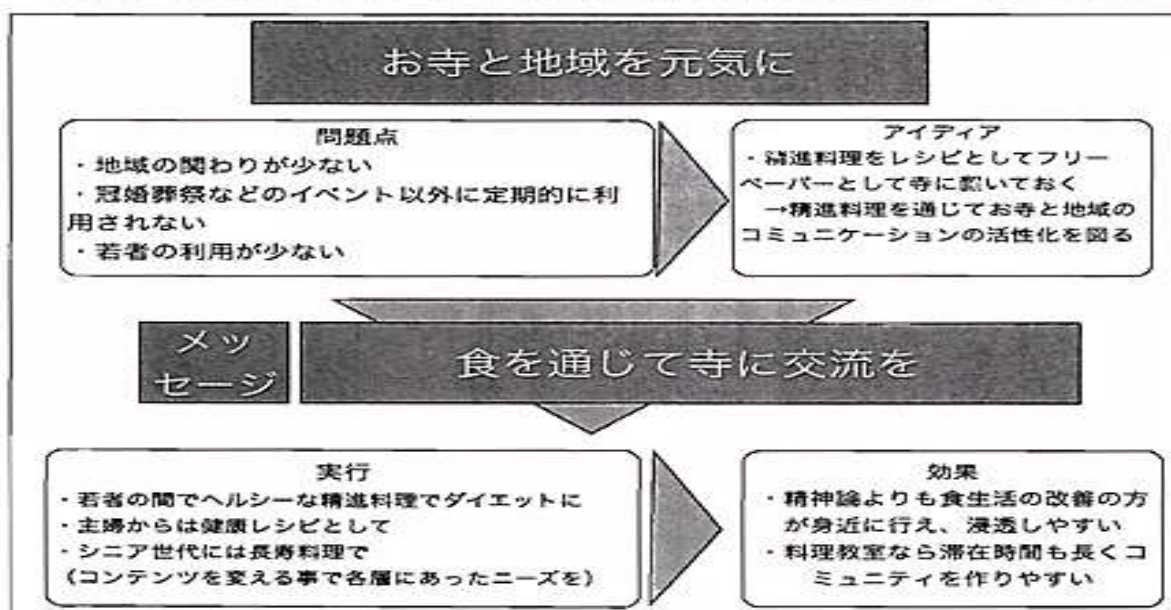
そして「信仰」は自分自身が何かを禅寺をする事で生活改善をするものである。生活改善をするにあたり、多忙な人でも衣食住は欠かせないものである。信仰は生活改善や健康というワードと関連している。そのため寺院の説く教えは、精神、身体へと健康ワードに大きな結びつきがある。

私達がお寺を必要とする理由として、子供時代に遊ぶ場、また家族団らんの場。寺院は公民館や公園と同じく、誰かと触れ合うきっかけの場である。健康を目的として寺院に来させるイベントを考えたい。

事業内容

私は地域に寺の衣食住を取り組む。特に食に重点を置き、地域の活性化を行う。お祈りは精神論である風潮は少なからずあり、まず第一に食生活の改善を行ってもらい、短期スパンで効果を実感してもらおうと考えた。寺院の参拝の目的は病気予防や健康への取り組みとの要素もある。しかし、どれほど自分の健康に役に立っているか数値やデータ化にしづらい。その点、食生活の改善なら短期スパンで大きな効力をもたらしてくれると考える。寺がお勧めする精進料理は、健康は基より日本料理の文化を知ってもらう面でも有効である。

具体的なアイデアとしては寺の住職がお勧めする精進料理のレシピをフリーペーパーとして神社に設置する。次は定期的に神社で料理教室を開き、地元住民の交流を行う。



寺院料理教室		21 才	男性
NO.41	P2	勉強会	
			⇒ジャンルへ

上図のように、まずフリーペーパーの配信から精進料理の概念を広く告知する。寺院の数はコンビニよりも多いため、大きなブランディング効果が見込める。

精進料理に興味を持ってもらった方に実際に作ってもらうために料理教室を開く。今回のアイデアの目的は、ただ寺院を訪れるのではなく、住職や地域住民の対話や交流でソーシャルな部分で繋がることである。今まで寺院の滞在はお参りだけで滞在が短時間なケースが多いため。住職との会話や深い交流は少なく、地域のコミュニティは作りにくかったと思われる。その問題点を補うために今回の長期滞在や継続して寺院に足を運ぶプランを考えた。精進料理を地域住民に教える事で、寺に住民が訪れるのが今回のプランだ。

問題点

フリーペーパーの制作費。寺院によって調理教室を開ける一定水準の環境が必要である事。

まとめ

私は今回のプロダクトを作るにあたり、お寺の持つ強みを3つに絞って考えた。

- 1、寺院は依然として健康に関して強い信仰があると日本人に根付いている。
- 2、寺院数はコンビニよりも遥かに多い。
- 3、寺院の環境は人が集まるのに適していると考ええる。

まず(1)の住職が好まれて食べられている精進料理は日本文化に根付いているが、体験した人や詳しくは知らない人も多いために興味を持つだろう。健康料理というジャンルであれば老人をはじめ、スポーツをやっている学生、ダイエットをしている女子高生やOL、幅広く呼びかけが出来るを考える。

次に(2)は寺院は幅広く呼びかけをするのに適している。そこで料理教室の呼びかけも口コミやインターネットを通じたサイトからでなく、寺院の数の多さを利用できるフリーペーパーを置く事を考えた。

(3)は幼少時代から寺院の庭で集まった記憶から、子供に取って公園のように慣れ親しんでいるはずだ。寺院の周りには人が休息したり居座れるために、何か目的があれば寺院に来るのではないかと考えた。ただ遊具を置いて子供が寺院に来るよりも、イベントを用意する事で目的意識や寺院のメッセージを受けとりに来てもらええる考える。

今回のプランは寺院が信仰と生活改善を軸に、イベントを通じて住民に伝える。大きな地域活性化と、寺院に足を運ぶイベントになるはずだ。

地域コミュニティの中心に		40 才	女性
NO.42	P1	同じ趣味の会／置場提供	
			⇒ジャンルへ

私は、パート勤めの主婦ですが2人の子供がまだ赤ちゃんの時期は、家で子育てをしていました。毎日家の中にいると、大人も子供も退屈になる時間があります。そんな時、ちょっと出かける所があるといいのになと いつも思っていました。近所のお寺だったら、散歩ついでに出かけるのにちょうどいいと思い、アイデアを募集させて頂きました。

毎日お寺で住職が読むお経を聞き、その後は住職さんがその日のニュースについて話したり、皆で話合ったりするのもいいと思いました。

また、衣類や不要になった道具などをリサイクルできる拠点になると、エコにつながり活氣的だと思います。お寺に集まる人達が、匿名でまだリサイクルできる物をお寺に知らせ、それを希望する人が現れたら当人同士で引き渡しをするなど、工夫して活用できるといいです。ホームページを利用すると、近くのお寺とも情報交換ができて更に利用しやすいと思います。

他にも、東北からボランティアの募集や農業の手伝いやアルバイトなどを載せると、お寺からの紹介という事で安心して参加でき、ニートや引きこもりの人の手助けになると思います。

日中家にいますとピンポンと女性が訪問してきて、悩み事などありませんか？と何かの集まりの誘いをしてきます。私は、姉や友人に何でも相談できるので、他人に話さなくても大丈夫ですが、そうでない環境の人は、どこかに居場所を見つけようと一生懸命なのかなと思うと、寂しくなります。毎日誰か勧誘しないといけないくらいなら、お寺でお経を聞いて自分でも読んでみたりして、心を落ち着かせていたほうが癒されます。

私の案ですが、理想ばかり書かせてもらいました。でも、実現すると素敵だと思います。宜しくお願いいたします。

結婚式 朝市 畑 学童クラブ 手習い 留学生 他			53 才	女性
NO.45	P1	同じ趣味の会／真剣な話し合い／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会		
				⇒ジャンルへ

お寺で結婚式

お寺で婚活 の時代、その延長で結婚式をお寺で挙げてはいかがでしょうか
家族や親戚、友だちはもとより、ご先祖様にも見守られながら厳かに。

披露宴も場所を移動することなくできます。

地域の皆様にも協力していただき、食事や花の用意など様々工夫が出来ると
思います。結婚式場などがなかった時代の古いうで、新しい形の結婚式に
なるのではないのでしょうか。

地域の商店街の物を活用して、地域の子どもたちも参加してお祝いができる
温かみのある結婚式になると思います。

朝市をお寺で

地域で採れた野菜や花を売る

(地元の農家で採れた野菜や花を、お寺の敷地を借りて売る)

お寺で畑

子どもたちが育てられる野菜や花を植える

(種を植える⇒水やり⇒草取り⇒収穫⇒調理⇒皆で感謝していただく⇒
後片付け)

(花は、きれいに咲いたら家でいけたり、沢山咲いたら子どもたちが
5 円、10 円位で売る。そのお金でまた新たな種を購入)

学童クラブ in お寺

共働きが増えている昨今、学童クラブも様々あっていいのではないのでしょうか
通常の学童クラブは、午後 5 時か 6 時までが殆どですが、家に帰っても 1 人の
時間が長い子どももいます。地域で子育てをする、という発想からそのような
場所があってもいいのではないのでしょうか。

また、例えば中学生や高校生が、小学校低学年の子ども達の勉強をみてあげる
月に 1 回皆で夕食を作って食べる、など

お寺で手習いの会

昼間の時間で、絵手紙を作る 手芸をする 読書会をする コーラスの会
フラダンスの会など、地域に必ず何か得意な人がいるはずです。そんな人に教えて
もらって 作品が出来て、成果を披露する展示会や、発表会など出来たら
いいですね。

結婚式 朝市 畑 学童クラブ 手習い 留学生 他	53 才	女性
NO.45	P2	同じ趣味の会／真剣な話し合い／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会
		⇒ジャンルへ

留学生の受け入れ

高校や大学では、交換留学生制度がありますが、そういった学生たちの受け入れの場として、お寺はいかがでしょうか。日本での生活や行事にふれたり、地域の人たちとの交流の場としてもいいのではないのでしょうか。宗教に特にこだわらず、お寺なら部屋数があり、いろいろな人たちが集まり易いなどの理由で。
また、反対に英語などを、教えてもらうことも出来ます。

ラジオ体操

今、ラジオ体操が健康にいいと見直されてきています。
お寺の境内で、地域の人たちが集まって習慣化してみてはいかがでしょうか。

映画鑑賞会

家でDVDを借りて見るのもいいですが、たまには、沢山の人たちで鑑賞会、感想会もできますね。毎回次に上映したいもののリクエストをきく。

紙芝居の会

子どもたちが絵を描いて、紙芝居をつくりましょう。

図書館

本ばなれ（活字ばなれ）が叫ばれている昨今、お寺の一室を図書館のようにしていつでも誰でも利用できるといいですね。たまには朗読会や、読み聞かせの会もやり、本は地域の方々からの寄付など。子どもが大きくなって読まなくなった絵本や文庫本など、一時的に貸し出すこともできます。

フリーマーケット

リサイクルできるものや、子供たちが作った小物など持ち寄って
収益の一部は、お寺の活性化に役立てる。

カラオケ会

被災地の人たちが、トラックのカラオケで思う存分歌うというニュースがありました。
歌をうたうというのは、お年寄りから子どもまで共通して楽しめるものです。

お寺と子供と		25 才	女性
NO.46	P1	勉強会／交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

お寺と子供と

昔からお寺といえば、お参りに行くときぐらいしか馴染みもなく、なんとなく行きにくい独特の空気がある場所というイメージしかありませんでした。妹が保育士をしてるのですが、そこはお寺で保育園をしていました。毎日子供の時からお寺に行くので、正座だったり礼儀というのも、自然と覚えていくのだと言います。

活性化とは、まずそこに人が集まることから始まります。

子供達が自然と集まれる環境が大切だと思うので、週に一回二時間でもお寺に行き、習字だったり、お茶、正座(小学校での授業の一環として)大人になって、行きにくくなる前に自然と行きたくなるような、環境作りが大切だと思います。

子供だけではなく、両親、周りの大人達も巻き込むなら、定期的なバザーだったり、子供を中心としたお料理教室、月ごとの誕生日会、イベント(バレンタイン・クリスマス)

地域の人と人との関わりが希薄な今だからこそ、何かをきっかけに動かないともうどうしようもない所まできてるのではないのでしょうか？

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P1	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

鬼子母神サロン

テーマ NO.1

鬼子母神様を祈禱の神様でなく母と子の子育ての神として、生れてくる子供と母親のために、高齢者の知恵を借り共に生きられる。幼稚園と養老院が一緒になったような施設として、寺を活かそう。

鬼子母神は子どもが五百人、千人、一万人とも言われているがひとりの来っ子がいなくなった時、夢中になって探したという。多くの子供を生み諸天をも育て、他人の子供をも護ろうと誓願を立てた。母親の頼りになる拠り所に鬼子母神はなりうと思います。

日本が核家族化してから二世代目に入った今、現実として起きているのは、親になりきれない親の子供への虐待であり、子供から親、兄弟に向けられた家族への悲劇な多くの事件だと思います。悪いことをした子供に注意もできない、叱ることも出来ない。家族の崩壊です。家から祖父祖母、祖先を遠ざけ、仏壇や特に仏教的教えを家庭や教育から排除してきた、ツケがいま、きているのではないかと今こそなくてはいけないことは何か。立正安国活動とは子育て活動そのものでもあるのではないかと。注進縁を受持するものや、行者をも守護する。鬼子母神のいるお寺の場に、子育てに疲れてしまった母親をフォロー出来るようなお寺の環境をつくるべきなのではないでしょうか。



親への対応

- 1: お寺が子育てや悩みの相談所となれるよう専門家と協力していく。
- 2: 寺は乳児のための母親教育の場を提供しよう。
- 3: 孤立してしまっている母親を救済する場（しゃべり場的）
- 4: 子育てに行き詰まった親が癒やされる場を作ったり支援する。
- 5: 子育てが不安な母親・父親が集える場をお寺が用意しよう。

子への対応

胎教にお経を聞かせる。乳児にお経を聞かせよう。出来れば読経の合唱を聞かせたい。自然と、お寺という生活から離れた空間で、木鉦やおりんなどの鳴り物を使わず、ゆっくりとした

お経、社楽の真読や訓読を母親と胎児に聞かせる。臨産行も妊婦向けにゆったりと、腹式呼吸を行う。五才までにお寺に、宗教に慣れる環境づくりをしないとよいのではないかと。子どもが安心して成長できるように見守ることの一部を寺でも出来る気がする。

世代間交流

- 1: お年寄りと生活するようにしたら世代間の格差があっても少しずつなれ、互いに安心できるような社会ができるのではないかと。
- 2: 高齢者の知恵を借りて子育ての工夫を若い人達に伝えたい。
- 3: 世代間連鎖をなくさないためにお寺が場を提供する。
- 4: 親子連れ、妊婦、老人の各世代が一緒に寺に集まれたらと思う。
- 5: 少子・高齢化社会に対応した寺院体制を整えよう。

寺の役割

- 1: お寺を地域のお寺として開放し居るの場として提供、子ども達の遊び場として、お寺を開放する。
- 2: 寺での活動に乳幼児が来ることを認めている現実があるので、乳幼児の受け入れ体制をしっかり作る。
- 3: 寺のイメージアップをするには子育て支援などの子供に関わることはとてもよいと思う。
- 4: 宗門では青少年教化という枠にとどまっているので、乳幼児教育が大切だという意識をもつ。
- 5: お寺さんには相談しやすいという雰囲気欲しい。

子供も母親もお年よりも共に健全に、子供は身体共に健全に、母親は優しく子供を育て、お年寄りも子供の笑顔に癒されイキイキと共に育っていく、子育て中の親が気軽に集まることが出来る場としてのお寺、人間という生き物が健全に育つための情報を地域社会に発信していくのがお寺の役割ではないか？その為には、保育園や幼稚園とお寺の連携も大切なのではないでしょうか。このような新しい関係に、異次元、寺という空間を子育てにもっと活用すべきである。鬼子母神サロン是非作っていただきたい。

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森 防災拠点 他	不明	不明
NO.50	P2	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供		
				⇒ジャンルへ

歌声 仏 讃 歌 音楽会

テーマ NO.2

そうだお寺に行ってみよう！！

今は寺に対するイメージが悪いので信仰の場よりも集会所としてのイメージを育てていくことが大切であり、宗教行事と直結しなくても、人が集まれる場所さえあれば、人同士のつながりは自然と生まれる。そのような、人が自然と集まってこれるような寺作りをしていくべきではないか。誰でも気軽に参加できるイベント、集いがあれば地域性の絆が生まれてくるのではないのでしょうか、それには、子供たちが大声で歌えるような、もっと明るい仏讃歌や、昔の歌声喫茶で老若男女が歌っていた、トロイカや山男の歌のような、皆で声を揃えて楽しく歌える歌を新たに作るか、フォーク調、ロック、ハワイアン風等、いろいろとアレンジした仏讃歌があってもいいのでは？



地域の人々が気軽に来られるお寺作り

そうだお寺に行ってみようと思えるお寺、身近に感じられるお寺づくりをする。
お寺を人が集まる場に提供し、人との交流を持つようにする。寺が地域のつながりのきっかけを作っていくべきではないか。

地域の活性化

コミュニティーセンターなど、箱モノ行政は地域を活性化させたのか？ サークル活動など活発であるが、地域の一体感・連帯感に欠けていると思います。

寺は地域で支え合う、ネットワークの中継基地の役割を担っており、地域の求心力となるのもお寺の役割ではないでしょうか。その地域の持っている特性、特色を積極的に見出して活用することで地域の人々がイキイキする。地域とお寺と個人は、運命共同体。共栄の道を共に探す姿勢が大事な事だと思います。

自分の得意としている分野の事をそれぞれに持ち合わせればらしい地域のグループが出来ると思います。人材の開発とそれを生かすノウハウと地域の魅力（歴史、自然文化など）を引き出すのもお寺の役割ではないか。

お寺はもっとオープンに

お寺は地域の人にもっとオープンにしなければ人は集まらない。何気なく寺を訪れる地元の人を大事にしよう。

お寺が年中行事などをキチッとしっかりやることで地域の人々がつながるセンターになる。

もっと地域にお寺を開放するべき

お寺から地域活動に参加

お寺で待つだけでなく、自らが積極的に地域活動に参加すべきではないか。地域と関わることで、自分の一人よがりの行動も抑制されるのではないだろうか。お寺は地域活動の拠点になるよう応えていこう。

都会のお寺さんと、農村、山間地また、観光地化したお寺さんとは、いろいろな条件などの違いがあるかと思いますが、歌は場所を選ばないと思います。皆がひとつになれる手立てとしては、皆が参加でき少しでも仏縁が出来れば、お寺の空間を使う価値は有ると思います。

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P3	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				
						⇒ジャンルへ

小さな子ども達の遊び場として、
お寺の敷地を昔の鎮守の森のように
自由にお寺に来られるように解放してもらいたい。

テーマ NO.03

特に小さな子どものために健全育成に寺環境活用を

異次元、寺という空間を子育てにもっと活用すべきであり、乳児の時から緑ゆたかな風景の中へ連れ出し、五才までにお寺に、宗教に慣れる環境づくりをするとよいのではないかと子どもに伝統的な遊びを教え、バーチャルな世界だけではなく実体験をさせたい、地域の子ども達に“あいさつ”から始まるコミュニケーションづくりをしていきたい。子どもの健全育成のためにお寺はその持っている空間を積極的に活用するべきではないでしょうか。

公共施設としてのお寺のあり方を考え、お寺に来たら、行儀の良い子供に育つよといったようなイメージ作りをしないとイケないのでは？その為には、子ども達が安全で安心して遊べる境内を、子どもが外で思い切って体を使って遊ぶ状況をいろいろ工夫して作るべきである。お寺の敷地を昔の鎮守の森のように自由にお寺に来られるように解放してもらいたい。

朝、ラジオ体操、ヨガなどを寺社の境内で行うのも、良いのでは？



問題点

子どもの遊んでよい場がお寺になるにはさまざまな問題があるのでは。
寺での活動に乳幼児が来ることを懸念がっている現実があるので、乳幼児の受け入れ体制をしっかりと作る。
寺の行事に「子連れ参拝」を進める。

寺の体制

公共施設としてのお寺のあり方を考え、身近に感じられるお寺づくりをする。

少子・高齢化社会に対応した寺院体勢を整えよう。

人が自然と集まってこれるような寺作りをしていくべきではないか。

今はほとんど外で遊んでいる子供を見ない。お寺が遊ぶ場所になっていくべきではないのか。子供の遊び場として、お寺は地域のキーステーションであるべきであり子どもの健全育成のためにお寺はその持っている空間を積極的に活用するべき。

子どもが安心して成長できるように見守ることの一部を寺でも出来る気がする。

大人への成長は一人で出来るものではない。その手助けを僧侶として何が出来るか考えたい。

鬼子母神サロン 仏讃歌音楽会 鎮守の森 防災拠点 他		不明	不明
NO.50	P4	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供	
			⇒ジャンルへ

お寺を防災の拠点にする。避難所としての機能を備える。

テーマ NO.04

防災

東日本大震災で寺が避難所として多くの人を収容し、朝勤を通して教化の実をあげたと聞きます。食糧備蓄とか難しい事もあるだろうが、防災機能もはたすことは必要だと思う。日蓮聖人は地域との関わりをどう捉えていたのだろうか。生き生きと暮らすには地域の安全が不可欠である。セコムの防犯設備より、地域のつながりが、防災・防犯への力となる。防災センターの役目を再確認したい。

地域と関わらない僧侶が多すぎると思う。僧侶は僧侶として生きる以前に、まず人として生きて欲しい。お寺は地域活動の拠点になるがそれに応えているか疑問である。お寺にAEDを設置したり、防災を切り口に向こう三軒両隣の互助的ネットワークの構築を坊さんが地域の一員として法衣を脱いで活動に参加することが大切です。自分の得意としている分野の事をそれぞれに持ち合えばすばらしい地域のグループが出来ると思います。人材の開発とそれを生かすノウハウを得て地域とお寺と個人の運命共同体。共栄の道を共に探す姿勢が大事。住民の意識は高く、防災活動、環境美化運動にも参加してくれると思います。

防犯

子どもの非行を防ぐためには、地域の大人が団結することが大事ではないか。地域のつながりを考える上で、女性の力は大きいと思います。女性の力を借りるべき

地域に関わる人がその地域を好きになることこそつながっていく第一歩だと思う。
地域の事を知ることが大切。小さな縁を大事にして、いくことがイザという時の信用になる。

地域を自分の一部と考えて、大切にすることを必要があるのではないか？地域住民が防犯パトロールを行って地域の安全を図る。

お寺で待つだけでなく、自らが積極的に地域活動に参加すべきではないか。自分が地域の為に、今できることから関わっていかう。

責任感を親に持ってもらえるような呼びかけを寺はしていこう。

地域の子どもは大人の声かけによって変わってくる。寺の住職だから言えることがあるのではないか

地域や国の大切さを説いた宗教者は日蓮聖人だけではないか。日蓮聖人に学ぶべきである。

鬼子母神サロン 仏讃歌音楽会 鎮守の森 防災拠点 他		不明	不明
NO.50	P5	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供	
			⇒ジャンルへ

テーマ NO.05

孤立してしまっている母親を救済する場（しゃべり場的）をお寺に！！井戸端会議の力は大きいし地域をつなぐりを考える上で、女性の力は大きいと思います。そんな地域コミュニティ的役割をお寺が担ってもらいたい。お寺を地域のお寺として開放し癒しの場として提供する。そうだお寺に行ってみようと思えるお寺がほしい。

しゃべり場現代井戸端会議場

地域を支える寄り合い場所となるように、まず、身近に感じられるお寺づくりをする。人が自然と集まって来られるような寺作りをしていくべきではないか。癒しのしゃべり場をお寺は地域の人々の集まれる広場であることが望ましい。

よき人とのつながりこそ人生の財産なのでは？

お寺へのぞむ声 1

地域の人が気軽に来られるお寺作りをする。お寺を人が集まる場に提供し、人との交流を持つようにすることです。お寺はもっとオープンにしなければ人は集まらないと思います。お寺の敷地を昔の鎮守の森のように自由にお寺に来られるように解放してもらいたい。

檀信徒だけではなく地域から必要とされるような寺づくりをしていく、宗教行事と直結しなくても、人が集まれる場所さえあれば、人同士のつながりは自然と生まれるはず。今は寺に対するイメージが悪いので信仰の場よりも集会所としてのイメージを育てていくことが大切なのは。境内の庭、街路に花を植えて地域の人々の気持ちを和ませたり僧侶を囲んでお茶を飲む集会所のようなお店のような寺、お堂がほしい、寺を生きづらさを感じる人々の安心できる居場所が出来たら良いと思います。

お寺へのぞむ声 2

お寺は人々の悩みを受けとめる場であり相談しやすいという雰囲気欲しいし、一人で寂しく生きているような人が、気軽に集えるような寺づくりをすべきではないか。世の中にはいろいろな人がいます。異常と正常の差別を超えた癒しの場に寺がなってほしい。困った時の寺頼みにひとはだめぐ準備をお願いしたい。

地域の中のお寺の存在とは

地域に対して今まで育んでくれた事に対しての法音を寺としては考えなくてはならないと思います。

寺が寺としての活動を続けることで、寺を軸としたネットワークができるのではないかと、何気なく寺を訪れる地元の人を大事にし寺が地域のつながりのきっかけを作っていくべきではないでしょうか。

寺は町の産業とのつながりも考えるべきであり、地域とお寺と個人は、運命共同体。共栄の道を共に探す姿勢が大事はないか。寺は地域を俯瞰して、その役割、立場を見極めて活動するべきで、お寺が地域の軸のような存在になっていければよいと思う。

お寺を人が集まる場に

僧侶に、お寺に求めるもの、これから求められるものはいっぱいあると思います。

普知識の縁結を

同じ目的を持った人の集う場を提供する。

- 子育て中の母親
- 婚活の男女
- 仏女・歴女
- 話し相手のいない老人（老若男女でも）悩み・愚痴を話す相手のいない人
- ストレスのたまっている人には唱題行
- 運動の相手がほしい人にはラジオ体操・ヨガなど
- 健康的に痩せたいと思っている人同志（運動・食事）

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P6	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

新 還 暦 式 & 記 念 式

テーマ NO.06

還暦は人生の中で特別な日だと思います。昔の60歳と違い現在の60歳はこれからが本当の活躍が出来る年ではないでしょうか
赤いちゃんちゃんこを着せられて隠居をする年では有りません。
家族、仕事も有る程度見通しも付き、今までを振り返り、これからの事を考える大事な年だと思います。

人生の区切りとこれからの新しい出発式をお寺で仏縁のお手伝いを！！新たな門出の還暦式をお寺で

そのほかにも仏縁を結ぶ機会が有ると思います。

- 誕生日
- 新しい形の七五三
- キリスト教の洗礼のような受戒のような
- 元服 新しい意味の
- 本当の意味の成人式（大人式）お仕着せの形ばかりの成人式はいらない。成人は年ではなく個人個人それぞれ違うはず！
- 木婚式～銀、金、ダイヤモンド婚式
- 喜寿、米寿、白寿等
- 仏前結婚式 今、一般の人が仏前で結婚式はほとんど有りません。生きる仏教としては不満
- 勿論、葬儀 公人の葬儀としては派手な今までの葬儀は必要だが、家族葬、直葬が増えてきた現在考えて行かないと
家族にとっても新たな生活の始まり
- そのほか、個人の思い出の日、記念日、が有ると思います。
(忘れたい厭な思い出（悪縁）との決別や絶縁などの負からの縁切り門出も有りかも)

人生、生活の区切り、門出、新たな出発にパワースポットとしてのお寺で生まれ変わった気持ちになるのは、これ以上の場所はありません。いろいろな個人の記念日と比べても還暦は特別なものが有ると思います。仏縁と触れたいと思い始めるのも、この頃にピークが来ている人が多いと思います。受戒、得度と壁いものでなく、もう少し一般的な袖触れ合うくらいにお寺を身近に感じ、結縁が出来れば？

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P7	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー ／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

禁煙支援道場

テーマ NO.07

今、禁煙したいが、なかなかやめられないと言う人が大勢います。
そんな人の為に

自然やお寺の独特の空間を活かし、テレビ、ラジオ、新聞、携帯電話など外部との情報を遮断して、お寺の日々の生活を体験し、身体を動かして、風呂、炊事、洗濯、掃除、読書の体験を通して（日常？非日常？）、身体からニコチンを除くお手伝いをする。



仏教の持つ目線は素晴らしい、住職から注意されてもいやさなく聞けるのではないかな？
タバコは自分だけでなく周囲により以上の迷惑をかけます。そんな人の為に、
仏教の六波羅蜜、八正道 を持ち出すまでもなく、
寺の住職だから言える「云い方」があるのではないかな？
個人としての人間は欲望のコントロールにより、ストレスをためることも、また限りなく優しくもなれます。



お寺の非日常的な空間を利用して、理想ナシの価値観を教えるのも効果的だろう。

生き方も選べるし、死にも選べる時代。その人の死生観、人生観が大切なのであり、
自分を見つめることは、他人を思いやる事にも繋がって行くのでは？

生き方を自由に選択できる時代になったが、選択した責任をとることを忘れているのではないかな。
個人がどのような生き方をしようが、そこにかかる責任を自覚し果たしていく必要がある。

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P8	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

親子道場

テーマ NO.08

親と子の寺小屋

子育ては子どもを尊重し、お互いの信頼関係を作ることが大切である。

子供対象の寺子屋は今各地で行われるようになりましたが、親と子の関係が薄くなり、子は親を尊敬し、親は子供の成長を促しく見守りそっと手助けをしてやる。そんな、親と子のいい関係ときずなを育むお手伝いをお寺の空間で出来ないだろうか？

寺を親と子の寺小屋として社会に開放する。

人間という生き物が健全に育つための情報を地域社会に発信していくのがお寺の役割。

寺はあらゆる機会に子育ての大切さを説く。

お寺を子育ての研修の場として提供する。

お寺が家族の繋がりや再構築をする場を提供していくべきではないか。

お釈迦様は我々の親、つまり法華信仰が家族のきずなになる。

毎朝の唱題、読経、先祖供養を通して、背中で家族の心のバックボーンを示すのがいいと思う。

お寺が家族の繋がりや再構築をする場を提供していくべきではないか。

早起き促進のために、お寺で早い時間からの行事を始める。

寺のイメージアップをするには子育て支援などの子供に関わることはとてもよいと思う。

寺で母親（父親）学級をひらくとよいのではないかな。子育てが不安な母親・父親が集える場をお寺が用意しよう。

親が伝えられなかった道徳的なことや常識といったことを代わりに伝えられる僧侶となるべきではないか。

僧侶が子育てに関する知識を学び、父親母親に伝えていくべきではないか。

お寺が子育てや悩みの相談所となれるよう専門家と協力していく。

障害児が安心して成長できる環境を寺と地域がつくっていかう。

お寺の環境は、早起きの生活習慣をつけるには提供できるものがあるのでは？

朝、ラジオ体操、ヨガなどを寺社の境内で行う。

子供に

五才までにお寺に、宗教に慣れる環境づくりをするといよいのではないかな。

物心ついた時から、お墓参りなど手を合わせる事を推奨する。

「トイレの神様」に出てくるような教え方は効果的なのではないか。

しつけには「超人的」存在を示すことも必要ではないか。

お寺の非日常的な空間を利用して、理想ナシの価値観を教えるのも効果的だろう。

子ども達を大勢の中で育てる工夫（地域の中で）がなされてほしい。地域の子どもは大人の声かけによって変わってくる。

隣近所の人とあいさつができる環境を作れたら、社会での子育てもできるのでは？

乳児の時から緑豊かな風景の中へ連れ出す。

親に

「家族」は変化するもの。その変化に対応するため普遍的な柱として仏教が必要。

家族にとって信仰は柱や支えとなり得る可能性もあるのではあるまいか。

世代間で伝える文化（食事・生活習慣など）が失われることが問題だ。

夫婦も家族も食事から始まる。食育が大切なのではないだろうか。一緒に食事をするのが基本なのでは。

父、母の子どもへの愛着を育てる方法を仏教は導くべきである。

家族は母と子の絆が基礎である。母の愛情が豊かで子どもの心にしっかりと伝わるように宗教活動を広めよう。

子育ては結果ではなくてプロセスが大事

命の尊さを両親に説く。

お墓参り、仏壇での礼拝は家族のつながりを確認できる行為。



鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P9	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

経営者、社員精神道場

テーマ NO.9

自然やお寺の独特の空間を活かし、テレビ、ラジオ、新聞、携帯電話など外部との情報を遮断して、お寺の日々の生活を体験し身体を動かして、風呂、炊事、洗濯、掃除、瞑行の体験を通して、企業人の精神向上のお手伝いをする。

- 1: お寺の非日常的な空間を利用して、理屈ナシの価値観を教える
 仏教の持つ目線は素晴らしい真の教えは時代に関係ない
 唱題行、聞法の機会を与え、じっくりと考える時間を与えるには最も良い場所ではないか
- 2: 大人への成長は一人で出来るものではない。僧侶としてその手助けを
- 3: 説法こそ大事な伝達方法ではないだろうか。
 僧侶の注意は聞けるのではないか、寺の住職だから言えることがあるのではないか
- 4: しつけには「超人的」存在を示すことも必要ではないか。
 飛び抜けたリーダーのいなくなった現在、お釈迦様の存在を感じる時

自分を見つめ、他の人の為に何が出来るか？
 仏教を学び、宮沢賢治の生き方を学び、それを
 仕事に生かしていくお手伝いを！！それが活かせれば、仕事も修行のひとつとなるはず



鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P10	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

小さな葬儀

テーマ NO.10

葬送は痛み悲しむ心。その心のない式は無用である。常に変化していく社会に目を向け、それに柔軟に対応していく必要があるのではないかと。寺・墓・葬儀の三離れのピンチは、仏教・寺院回復のチャンスととらえよう。

お寺で身近な人だけの小さな葬儀を

家族葬や直葬が増えている現在、それに答える必要も有るのではないかと？
合祀墓、樹木葬その他、葬儀、埋葬の仕方いろいろな要望も増えています。
遺品管理人という、故人の遺品整理の資格も出来るという。
流れ作業のセレモニーセンターではなく、少人数で本当の別れ残された遺族の区切りを考える場としては、お寺が一番良いのではないかと？故人、遺族、親しい人の新たな出発の為のお手伝いという形で

葬儀は故人が生前おつきあいのあった人々との長のお別れの場。家族親族でヒソソリとやってしまうのは故人の人生を否定することになるのではないかと？日本人にとって葬儀はとても大切なのちの節目。そのことをよく承知して、ブリーフケアとかけがえのないのちの教育をする場と期待されている。介護につかれて殺人まで起こっていることを忘れないで下さい。

葬儀・法要の技術主義的指導は排すべし。遺族との心の共感を求むべし。
葬儀社さんのされている様々な手配や、打ち合わせ、を“送る”指揮者として僧侶がプロデュースをする。
多額の布施を請求するトンデモナイ坊さんによって、貶められた僧侶への信頼をいかに回復するか
実際に直葬などを行って後悔したりしていないのだろうか。
葬送の形式は社会のニーズに柔軟に対応してもよいのではあるまいか。
現代社会の様々な葬儀方法に対応して、僧侶オリジナルの葬儀方法を作る（今までになかった方法で）
お金がなくて葬儀ができない低所得者に、我々は手を差し伸べることができるか
葬儀は教師の教化活動の流れの中の1つである。
故人のことを知らないケースもめずらしくはないので、「引継文」を遺族と一緒に作る、読む」ということで、僧侶側も共感できるようにする。

社会は僧侶にまだ期待をしている。それに応える対応が大事。
菩提寺のない人々が、いかに僧侶に出会い、よい葬儀をできるかが問題である。
映画『おくり人』や小説『弔む人』が注目を集める様子から一般社会のほうがまともな礎を渴望しているのではなかろうか。
寺・僧の一般社会からみた現状は、その『公益性』に疑問符がついた状態であろう。寺僧はそのことを自覚すべきではなかろうか。
お寺は今を生きる人が生きる希望・勇気・力を得る場、僧侶はその手助けをする人。この思いに基づく日常活動こそ必要である。
心のケアのできる窓口として、寺の門を開いているか？
ライフスタイルの多様化にどの様にしたら対応していけるのだろうか。
生まれてから亡くなるまで、命に寄り添うのが僧の役目であろう。それにもっと心を砕くべきではあるまいか。
葬儀のやり方は学ぶが、より良い、又ニーズに合う葬儀が出来る様、僧侶の質を高めてはならない。
生まれた時、亡くなられた時の仏の導きを考える。
法式研修だけでなく、鑑しと導きを習う「葬儀研修」を行うべきだ。
僧侶は、死者儀礼に対して、根本的なことから見直していくことが必要である。
自分でも満足している、うれしかった葬儀の成功例を体験談として語り合うのも有意義なのでは？
「人間は社会的動物である」から、その「死」や「葬儀」にも社会的意味があることを、誰もが再確認しなくては行けない。
故人を偲び、悲嘆を癒す大きな機能を有するのが葬儀。僧侶はそのことをしっかりと認識して葬儀の通夜に臨むのが好ましい。
寺院側はもっと葬儀の意味について深く理解し、檀信徒に伝える必要があると思う。
どのような金額の布施でも、できうる限りの葬式をお寺側も努力できたいのではないかと？
「必要最低限」でできればいいという心理が喪主側にあるのではないかと？

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P11	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ

青い鳥見つけ隊

テーマ NO.11

探し物は何ですか？希望・自分の存在・自分でも人の役に立てる？

周りの自然に唱題が染み込んだ、お寺という異空間こそパワースポットであり、僧侶のいる場所こそ、自分を取り戻し、本当の自分を見つけるには相応しい場所ではないでしょうか？

何もいない、考える場所とじっくりと話しえを聞いてくれる人がいれば、...

答えは、皆、自分の中に持っていると思います。

自分を見つめる。

自分を発見する。

自分の本質を見る。

見失った自分を探す。

自分の原点はなにか

自分は何に向かっているのか

自分の真の目標は何か



昔話の通り、青い鳥は自分にある

鬼子母神サロン	仏讃歌音楽会	鎮守の森	防災拠点	他	不明	不明
NO.50	P12	修行／同じ趣味の会／真剣な話し合い／交流会が目的／セレモニー／境内・伽藍の開放／会場提供				⇒ジャンルへ



自然を食べる

テーマ NO.12

食べることは生きることの基本

食材がどのようにして育ちどのようにして自分の手元に来たのかそのプロセスの詳細を知らしめる
 自然とのふれ合いの中で、様々の物に命のあることを感じさせ、自然の佇まいの中に、身を置いて自然から色々なことを吸収できる機会を与える。食事はしつけ、文化・宗教教育の場として重要です。お寺の空間を提供して、いのちが途方もない歴史をたどってこの私の身に伝わっていることを承知感じられるようにする。

自然の恵み


お寺の周辺、道端、森林、野原、土手など自然の恵み野草、山菜
 農家の畑の捨てられる菜の部分、売り物にならない規格はずれ野菜、根菜
 自然のものを自然の素材の持つ味を、外の風と太陽の下でいのちに感謝していただく。
 3.11の体験はろうそくの灯に家族や友人が集まった不思議な感覚、焚き火の暖かさ

つながり

大震災一週間、ろうそくの光の輪の中で、不便さの中で、助け合って家族を感じた。
 みんなで助け合ったり、分け合ったりする体験で家族のつながりが強まるのでは。
 仏教では「無縁」(縁のないモノはない)を説く。
 心豊かに生きるには、動植物、人間などに関わる必要があるのでは。
 命(自分)を大切にされたという経験は他を(命)を大切にする。

自然から学ぶ

人間が霊的存在であることを認識することから、宗教的清浄教育が始まる。
 目に見えぬ大きな存在があることを常々教えるべきである。



お寺で陶芸		34 才	女性
NO.51	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

(1) お寺で陶芸

厳かな雰囲気の中で集中して自分なりにいい作品を造って満足するというアイデアです。

他の人の作品を見て刺激を受けたり いい作品を造ることにより、人生での楽しみ、生きがいになると思います。

小さいお子さんは粘土をつかって作品を造り

大人も子供も一緒に楽しめるというコンセプトです。

地域の縁側としてのお寺づくり		不明	男性
NO.53	P1	真剣な話し合い	
			⇒ジャンルへ

■概要:

「地域の縁側」づくりは、現在全国各地で行政やNPO法人などが主に活動しているものです。そういう点では、決して目新しくありません。しかしながら、これをお寺が一緒になって進めていくことができれば、地域が変わり、社会が変わる、それほど大きな運動に繋がるかもしれません。その転換期に、お寺(特に日蓮宗)がいた方が尚良いと思うのです。(理由は割愛致しますが…)

さて、「地域の縁側」は、「子育てサークルや高齢者の活動、ものづくり教室やアートの活動など、さまざまな世代や立場の人たちが行き交う、みんなの居場所としての大きな可能性を秘めています。」

お寺の持つ大きなリソース(資源)は、「地域での信頼」と「安心できる場所」です。これらは少し磨けば更に高い付加価値を実現できるでしょう。

お寺の本来の役割はコミュニティーにおける潤滑油的な役割もあるのではないかと、思いますけれども、この「縁側としてのお寺づくり」が実現すれば、大きく地域貢献でき、お寺に対しての人々の偏見や疑心を払しょくすることにも繋がると思います。

かつ、ひとつの成功事例を全国的に水平展開することができれば、それはお寺と地域の隔たりを無くし、大きな平和のうねりを生み出すことすらできるのではないのでしょうか。

(それは日蓮宗の「いのちに合掌」という言葉の先に在り、立正安国を建てるという大題目を目指す道とも繋がっていくのではないかと思います。)

それぞれの地域の特性を考慮し、世代や立場を超えて多様な人々が出会い、楽しくそして自分らしく過ごせる居場所、「まちの縁側」とはどのようなカタチだろうかと、地域住民とお寺が一緒になって考えていくことで、「縁側として(お寺づくり)の実現は進んでいくことと思います。必要であれば、両者間を取り持つNPO法人など縁側づくりの実績を持つ信頼性の高い団体と協働することも有効であると思います。

また、この取り組みをしっかりと継続していければ、間違いなくメディアも飛びつくでしょう。そして、勝手にメディア媒体(新聞・テレビ・雑誌など)を通じてこの取り組みをより多くの人に知らせてくれます。これをパブリシティと呼ぶそうです。このような情報の広がり方は口コミに匹敵する信頼性があり、その信頼性とともに取り組みがより多くの人に知られる価値は計り知れません。

この取り組みの過程で、お寺と地域にはかけがえのない価値がもたらされます。

大切なのは、お寺主導でも地域主導でもなく、お寺と地域の「協働」で進めることと、両者が本気になることです。

以上、つまらないアイデアかも知れませんが、よくよく捻り出したアイデアですので、御一考頂けますと幸甚でございます。 拝

地域の食材を活かした精進料理コンテスト			56 才	男性
NO.55	P1	勉強会		
				⇒ジャンルへ

地域の食材を活かした精進料理コンテスト。

お寺さんといえば精進料理を思い浮かべます。

日本全国どの地域にも、お寺さんがあるので、各地域地域で土地の食材を活かした精進料理のコンテストを行います。

さらに、全国大会へと発展させていくのはどうでしょうか。

もちろん、修行体験や宿泊体験で、一般の人がコンテストの採用料理を味わうことが出来ますし、お寺さんを会場にコンテスト料理の講習会などでもできるようになることで、地域民にとってお寺さんがとても近い存在になると思います。

各種【道場】として活用する		48 才	男性
NO.56	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

小中学校の空き教室を開放している所や 地区センターなどに幾何かのお金を支払って、場所を確保して活動している団体が ほとんどである。

お寺は、一種 独特の緊張感がある。嫌な感じではなく、日本人なら 落ち着く空気がある。

活用～ かるた・餅つき・書道・空手・少林寺拳法・赤飯作り・炊き出し稽古・二十四節季行事の引き継ぎ・ヨガ・方言勉強会 等。

やはり、広い座敷 本堂、庭 かど、をフル活用する。欲張っていろいろな【各種道場】を開催していることを あらゆるPR方法を駆使して、とにかく 常に 何か誰かが お寺を舞台に活動しているようになると素晴らしい。

使用料として お金を取るのは当然OKである。

各種道場の内、特に 食育、餅つき、赤飯、炊き出し、季節行事などを、年一回の風物詩ではなく、何回もやることで、得意 になってもらい、伝統として自信を持って次世代に引き継げるような道場にする。

お寺でお見合い		34 才	女性
NO.60	P1	交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

年々、晩婚化が進み、彼氏彼女がいないという人も多く見られます。
 震災後は、結婚願望が多くなったという人が増えていますが、なかなか
 出会いがないとのこと。
 そこでお寺という 厳かな場所でお見合いというのはどうでしょうか？
 男女について お坊さんからお話を聞いたり、仏さまの前で偽りのない自分自身を
 出して、楽しくお話しましょうという企画です。
 仏様に見守られ、結ばれた男女はとても幸せになるような気がします。

癒しのセラピー		34 才	女性
NO.61	P1	交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

ー概要ー

私は産後、県外に住み子育てをする中で精神的に病んでしまいました。
その経験から、お寺という厳かで、お香のかおりのリラックス出来る中で
地域の 高齢者の方、小さいお子さん、そのお母さんで交流できる場が
あればと思いました。

現在、核家族が多く、また、携帯、ゲームなど便利なものが増え、
人とのコミュニケーションが上手にできなくなっている人が増えていると思います。また、
子育てに悩み、虐待などをしてしまうお母さんも増えていると思います。

やはり近所の方々の声かけ、援助がありながら、昔に戻り昔ながらの遊びや(お手玉・あやとり)、おじいさん おばあさんのお話等
聞けたりする場があればお互いにいいのではと思います。

そして 私の立場からは、時にはお坊さんの説教を聞けたり、写経ができたり 精進料理を
いただけたり、心が休まる時間があるといいと思いました。

子供には、お寺で祖先の大切さや、お経を教えていただけると 慈しみ深い子に育ってくれるのでは
と思いました。

地域の催しに寺の施設を提供		65 才	男性
NO.66	P1	修行／同じ趣味の会／会場提供／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

地域社会あつてのお寺であることを思い起こし

地域に寺を大きく開いていく。地域社会のよりどころにする。

- ①、地域の催し（町内会の役員会、囲碁、将棋などの趣味の催し）に寺の施設を提供する。
- ②、大震災などの有事には避難場所として開放する。
- ③、そのための備蓄も心がける。
- ④、池上本門寺でやっているような静座の会、朝粥の会とかを催し、お寺を身近にしてから法を説く「法話の会」を実施する。仏教や宗門への理解が深まる。

※ 禪宗寺院で座禅会をすることがまことに少ない。

菩提達磨も嘆いているだろう。

1 からの精進料理教室		31 才	男性
NO.67	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

先日祖父が亡くなり、葬儀を式場にて執り行いました。

そのときにいただいた仕出し弁当が精進弁当だったのですが、祖父をなくしたショックから、初めはいただくお料理に関心はあまりありませんでした。

仕出し弁当が2日間続いたある時、参列者の方から「この精進料理はおいしいね」との声が上がりました。

私もその時に初めて、いただいているお料理が精進料理だと気がつきました。

そして改めてお弁当の内容を拝見すると、彩りや味付けが豊かで、それぞれの食材の食感が食べやすく調理されていることに感動いたしました。

精進料理とはこれまであまり御縁がないと考えておりましたが、こうしてみると普段の我々の食卓にも通じる点が多くあり、さらに現代人の野菜不足や、一方で家庭菜園の流行という要素もあることから、この企画を考案しました。

内容は様々工夫ができるとは思いますが、まずは「精進料理のお料理教室」で、希望者やご近所の方々に参加を募り開催します。

書店にはあらゆる料理本が出版されておりますが、季節のもの、地のものを使った野菜料理は、そう多く取り上げられていません。

また、この世に存在する命の大切さを、野菜を使った料理教室で皆さんに感じていただけたらと願います。

合唱と合掌で心イキイキ		31 才	女性
NO.69	P1	同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

概要：文字通り、合唱と合掌を通じて心温まる地域の交流を図るプロジェクトです。

大人から子供まで歌えるふるさとの歌から童謡までをプロの音楽家に指揮をとって指導して頂き、清らかな歌声を広めています。時には子供たちとお坊さんが一緒に歌い、練習成果を青空コンサートとして発表するのも素敵です。

本格的にこの活動が広まれば、合唱コンクール参加も夢ではありません。歌を精一杯歌った後はみんなでこの喜びを分かち合った締めくくりとして手を合わせ合掌すればお寺も喜ぶはずです。

可能性はたくさん広がっていくと思います。

寺子屋お習字プロジェクト		31 才	女性
NO.70	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

概要： お寺を寺子屋として活用し、習字を通じて心温まる地域の交流を図るプロジェクトです。

近年、携帯電話、パソコンの普及とともに子供たちが実際に文字を使い漢字を書く機会が徐々に減ってきています。識字率は年々低下しつつあるといわれ、この事実は日本人として、私たちにとってはとても重大なことです。日本文化、また地域の教育の拠点として筆を持つ楽しみ、漢字を書いたのしみをこのプロジェクトを通じて子供たちに知って頂ければ地域も更に活性化すると思います。 また、習字は座禅と通じて、人の集中力を高める効果があるためこれから成長する中で潜在する能力を引き伸ばすのに最適です。

かち合った締めくくりとして手を合わせ合掌すればお寺も喜ぶはずです。

最先端教育施設としての活用		27 才	男性
NO.74	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

現在、高速回線のネットインフラの普及とPCの低価格化により、通信教育の質は急速に高まっています。

有名大学の授業内容が公開されたり、個人の画期的であろう取り組みが公開されたり、それについての意見をネット上で求めたり、その後実際に会ったり、テレビ電話で会議をしたり等、共同で取り組むことが容易になっています。

私の知人の中には、明蓬館高等学校の理事長である日野 公三さんのように、学校内のSNSなどを組み込んで、最新の教育を安価に実現しているケースもあります。
<http://www.at-mhk.jp/>

しかしながら、国の教育機関は変化の起こらない体質になってしまっており、教育関係者間でも、10年経っても今とあまり変わらないであろうとの声が、大半のものになっております。

そこで、お寺の中の一室にPCなどの環境を整え、学習の場を提供するのはいかがでしょうか。

PCは若いお坊さんならほとんどの方が使いこなせるでしょうし、通信教育の方法などは、ノウハウをお持ちの志のある方に提供していただければ、コストもほとんどかからないと思います。

又、子供の学習支援という事業性から、地域のボランティアさんなどへの理解も得られやすく、地域との交流の場になると思います。

ざっくりとしたアイデアですが、ご精査ください。

どうぞよろしくお願いいたします。

ふるさとお祭り屋台村 寺婚センター		58才	女性
NO.77	P1	交流が目的の会／置場提供	
			⇒ジャンルへ

1 活用名

ふるさとお祭り屋台村

2 背景

- ・地域のお祭りが廃れつつある。環境、人、場所などが主たる原因である。
- ・恒久的な場の確保、軸となる環境確保のために、お寺の活用が望まれる。
- ・東北大震災で再認識された濃密な地域の絆、家族の絆確認や復活へのきっ

かけが必要である。

3 内容

- ・神輿や山車などの保存場所としてお寺の活用を図る。
- ・お祭りの発着の場としてお寺を活用する。
- ・囃子や屋台の場として活用する。

4 運営

- ・町内会あるいは連合町内会と連携し位置づけを図る。
- ・周知広報も町内会、連合町内会にゆだねる。

5 効果

- ・お祭りが地域コミュニティ復活、絆再確認に寄与する。
- ・お祭り拠点としてお寺が親しみをもたれるようになる。
- ・お寺のイメージが損なわれることがないばかりか、認識が変わる。
- ・利用料収入が入る。

1 活用名

寺婚センター

2 背景

- ・安定した社会システム維持のため、人口減の回復、少子社会打破、人口ピラミッド復活が望まれている。
- ・結婚、出産が唯一その鍵を握るが、全国に七万七千あるお寺をそのための「出会い」斡旋の場として活用を図る。

3 内容

- ・地域の婚活斡旋センターとして活用する。
- ・「寺婚」の会場として活用する。

4 運営

- ・関連のNPO法人を設立し地域割りするなどして連携する。
- ・住職も理事としての参加、具体的役割発揮が望まれる。

5 効果

- ・将来社会へのお寺による大きな貢献になる。
- ・婚活に寄与し、お寺への認識が変わる。
- ・住民に分かりやすく、若い人に親しみをもたれるようになる。
- ・お寺のイメージが損なわれることがない。
- ・利用料収入が入る。

お寺で裸足トレーニングキャンプを！		37 才	男性
NO.78	P1	修行／同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

はじめに：

私は日本ベアフットランニング協会の理事長をしていて日本全国に裸足ランニングの良さを伝えるための普及活動をしています。

www.hadashirunning.jp

今ランニングはブームとなり様々な人がランニングを始めています。

ただ、ここ近年ランニングシューズのクッションやアーチのサポートの

技術の改善で本来なら怪我が減ると考えられていたのですが、

実際はそのシューズに頼る余り、逆に膝や腰などの関節の怪我を

訴える人が増えてしまってきています。本来人は裸足で走れるように

出来ていて、走り方さえしっかりと行い足本来の機能を取り戻せば

故障を防いで楽しく走る事が出来るようになります。そのための裸足ランニングの

普及をしていきたいんです。 また裸足ランニングとは言っても

山の中やアスファルトでは地下足袋のような裸足感覚のシューズを履いたりして

走ったりもします。 シューズの機能やサポートは必要最小限でいいという

考え、また質素にシンプルにといったところも裸足ランニングとお寺の相性が

ピッタリだと思いました。 また、裸足ランニングにとって欠かせないのが

体をしっかりと支えるための栄養であり、その食事に関して現代食で人の筋肉や骨格

がかなり弱くなっていて、身土不二といった考えも取り入れていきたいと考えています。

その食事に関しても昔からお坊さんが食べられている食事がかなりその考え方に

近いと考えていて、そういったお寺でのシンプルな食事、睡眠（畳一畳で寝る）、シンプルに走ると

いったところで一緒に何か出来るのではと考えています。 体を守る事ばかりしているとどんどん

退化してしまい、本来人間が持っている機能を失ってしまいます。 薬に頼る事も同様に考えています。

現在自分は全国で裸足ランニングの普及活動を行う傍ら、東京で裸足ランニングクラブも

運営していて、そこでの会員さんにこの話をしたら皆ものすごく強い興味を示してくれています。

是非こういった活動と一緒にやって頂きたいと考えています。

実際のお寺の活用法について：

今私が考えているのは、全国にランニングブームと共に裸足ランニングに興味を持ち始めた

20代30代40代のランナーが増えていて、この世代の人達が気軽に裸足ランニングの拠点と

して使ってもらえるような仕組みを作る事によってお寺を活性化させて頂きたいと思っています。

例えば裸足トレーニングキャンプin〇〇寺 というような感じのタイトルで20名ぐらいの定員で

お寺で集合し、着替えをしてそこを拠点としてランニングをします。 この点からいうと条件と

しては近くに里山や走りやすいコースがあることが前提となりますが。

そして帰ってきてから近くの温泉などに立ち寄り、帰ってきてからお寺で食事を皆で手分けして

作ります。食事はできるだけシンプルにヘルシーにし玄米菜食に近い形にします。 それで

後はお説教などをして頂き、寝る前に交流会を行い、寝るのは一人畳一畳で雑魚寝をしてもらう。

朝はお寺の掃除などを手伝い、少しだけ走ってから朝食を食べて終了。このような一泊二日ぐらいの

トレーニングプランを提供する。特に30代40代の人達はちょうど健康に強い意識を持ち始める人達が多

いのでこの世代を多く取り込めるのではと期待しています。

実際に今年の5月に香川県で裸足トレーニングキャンプを2泊3日で行いました。本郷地という

自分の親戚のお寺を使わせてもらい同じような事を行ったのですが、全国から30名近く集まり

大変好評で、帰る際に感動して泣いている女性も何人かいたぐらいです。お寺の活用はなかなか

昔からの伝統などでこういった活動をするのが難しいのは重々承知していますが、是非このような

人たちの為にお寺を解放して頂き、お寺の活性化、裸足ランニングのようなミニマリズムの普及ができれば

と思っています。

「いっしょにすわろ」新しい寺子屋スタイル。			58 才	女性
NO.80	P1	同じ趣味の会		
				⇒ジャンルへ

週に1～2回、お寺を開放して、近所のボランティアを活用しての読書会

は、いかがでしょうか？

本は、公立の図書館にはたくさんあります。

小学生を対象にみんなで揃って、同じ本をお経のように声を出して読む。

1. 2年 3. 4年 5. 6年 位に分けて、お寺の落ち着いた中で、

声を出しての本の時間。姿勢を正して、大声を出すのではなく、

自分にお話しするような気持ちで読みます。

皆で読んだ後は、10分くらい、誰も話をしない(声のしない時間と空間)時間を持つ。

その後は、好きな本を読んでもよし、読み聞かせや、紙芝居もいい。

現代は、どこにいてもいろいろな音や、色や、臭いが氾濫していて、

自分の感性を静かに感じとる機会が少ないように思います。

その点、お寺には、線香の臭いと静かな空間が今も保たれております。

本を読むとは、教育の基本で、未来のすべてに通じております。

たとえ塾に行けない状況の子供でも、皆で声を合わせて読むことで、

学力の助けになるような気がいたします。

お寺見学 数珠作りの会		28 才	女性
NO.81	P1	同じ趣味の会／情報発信	
			⇒ジャンルへ

私から寺を見たとき思い浮かぶ事は、
お墓参りと初詣以外には行かず、
祖母の家に届く日蓮宗新聞をまれに見るくらいでした。

このお寺の活用アイデア募集のポスターを
見たときに私のような人がよりお寺について知る事が出来る
方法があれば良いと思いました。
その「軸」をもとに以下を考えました。

(1)お寺見学

今工場見学や施設の見学は若者から親子を中心に人気のある娯楽です。
本屋には、工場見学のガイドブックが並んだり、
夕方のニュースでも特集が組まれるほど定着しつつあります。

いつも見ている商品の作られる工程が分かり、
工場の人も分かり商品が身近に感じられる事が人気のある理由だと思います。

そこでお寺見学をしてみてもいいかなと思います。

- ・日蓮宗についてやご本尊や施設の案内
- ・よりよいお祈りやお経の唱え方
- ・お彼岸やお盆、お墓参りなど季節の行事の意味や正しい方法

土日などに開催し、カップルや親子などあまり宗教になじみのない人に
気軽に来ていただく事が目的です。
見学をしてお坊さんと顔なじみになって頂く事で
突然の不幸や相談がある時などに来ていただきたいと思います。

(2)数珠作りの会

私は数珠を持っていません。
相場もよくわからず、デザインも出来ればいいもので
長く使えるものがあれば買いたいと思うのですが
なかなか良い機会もないです。
そこで、数珠を作る会があればよいと思います。
手作りであれば愛着が湧きますし、
自分の分が出来れば家族や友達にもプレゼントする事が出来ます。

来場者全員に制作キットを買っていただき、
お坊さんが先生になり、制作します。

ストレス社会における寺院の役割		49 才	男性
NO.82	P1	真剣な話し合い／相談窓口	
			⇒ジャンルへ

現代の寺院の役割とは何であろうか。まず考えられるのは葬儀・供養・祈祷であろうか。しかし、昨今では、葬儀も直葬なるものが登場し、墓も共同墓地、檀家といわれる人達も先細りで、このままでは寺院の経営は成り立たないように思う。

その昔、寺院は多くの役割を担っていたと聞いたことがある。当時の僧侶は学問に精通し読み書きは勿論、その時代の一般人と比較しあらゆる分野に精通していたと思う。ゆえに、教育者、医者、科学者、軍師としての側面があったと思料する。

現代は分野も細分化し、それぞれに専門家が登場してきた為、僧侶の役割も限定されてきた面は否めず大変気の毒である。しかし、その昔僧侶の役割であって、今最も重要な役割があると思う。それは医療である。医療といっても内科や外科ではなく精神科医の分野である。

実は私もここ数年、様々な困難に出遭い、肉親もなくした。本当に精神的に参り、鬱のような日々が続いている。かつて、診療内科なる部門を受診し治療とやらも受けたことがある。初めはカウンセリングと称して患者の話を聞いてくれるのだが、結局は薬物を処方し、自殺に備え24時間の窓口を設置する位であった。現代の医療としてはこれが限界なのかもしれないから無理はない。

その時思ったのだが、現代の人間はストレスに相当弱い。私も弱い。これは精神の鍛練が欠けているからだが、どうやって健康な精神を取り戻せるかわからない。薬物療法は身体によくない。何の薬物かわからないし脳も身体もおかしくなる。

薬物以外で健康な精神を取り戻すことはできないだろうか。精神の世界、これは僧侶が本来最も得意とする分野ではないだろうか。先日、中山の法華経寺で荒行されている若い僧侶に面会した。寒中の中、毎日2時間の睡眠、水行、ひたすら読経という百日は想像を絶する。一般人に到底できる精神鍛練ではない。こうした苦行を経験した僧侶ならではの乗れる相談というものがあるのではないだろうか。

未曾有の東日本大震災、経済はデフレスパイラルから脱せず、やがて資源インフレによるスタグレーションが始まり日本の前途は多難である。日蓮大聖人が予言された「末法の世」ともいうべき惨憺たる有様。若い人は絆を求めカルト教団へ入信する時代。しかし新興宗教のほとんどは商業主義で害しかない。

ストレス社会における寺院の役割		49 才	男性
NO.82	P2	真剣な話し合い／相談窓口	
			⇒ジャンルへ

私は仏教の何たるかを語るような人間ではないが、お釈迦様が残された教智は永遠であると思う。さだまささんの歌に「防人の歌」というのがあって、エクザイルの敦さんがカバーで歌いブームだが、ここに出て来るのは「生老病死苦」、まさしくお釈迦様の言葉ではないか。現代こそ本物の仏教の奥義（法華経）が求められている時代はないのではないだろうか。しかし、敢えて言いたいのは、布教活動を強化しろと言うことではない。むしろ布教活動は控えて欲しい。本来の大乗仏教の趣旨に則り、多くの人々を救う、それは人々の精神を豊かに強いものにすることではないだろうか。その結果、必然的に信者は増加するだろう。

結論を言えば、寺院が精神科医の役割を担って欲しい。勿論、薬物療法など論外、医療免許など必要ない。古から行われた僧侶本来の活動の一部を改めて実行するだけである。修行された僧侶なら、その法話で、その言葉で、精神を病んだ人々を励まして欲しい。僧侶が患者の話聞き、感情移入するだけでも効果はあるのではないか。寺院というのは歴史があるので、その場の雰囲気にも浸るだけでも何か新鮮な気分になるのである。だから、その寺院で修行の真似事をさせてもらうだけでも自分が精神的に強くなったような錯覚が起きる。最初は錯覚でも、繰り返すことで、鍛練されていくはずだ。

しかし体験修行できる寺院は関東でも限られているように思う。インターネットで検索してヒットするのは池上の大本山「本門寺」、千葉の善林山「正安寺」と養老山「立園寺」くらいだ。何故、寺院は一般人にもっと門戸を開かないだろうか。

ストレスに悩む現代人は、一人静かに自分と向き合う場所を求めているはず、その場所に導師がおれば心強い限りだ。鬱などの病は根深いし、一度快方に思えても、またぶり返す。継続した対処が必要だ。人とは何か、人は死んだらどうなるのか、死後の世界というのは本当にあるのだろうか、輪廻転生するのだろうか、そうした大きな哲学体系の中で自分の生きる意味というものを確認することこそが精神の病に必要である。それは現代医学では到底治療すること等できない。もしできるとしたら本物の宗教以外ないのである。

HPに「日本には現在、約 77,000 ものお寺があり、これは、コンビニ（約 42,000）よりも遥かに多い数」（日蓮宗の寺院なのかは不明）との記載があったが、その寺院の半分でもいいから、相談機能と体験修行機能を持つのはどうだろう。導入コストなど必要ないし、適切な相談料をとっても構わない。

例えば、寺院の清掃、瞑想、写経、唱題行、場合によっては水行などの体験修行を有料で行うとか、個人の相談を聞く日を設定し、個人の悩みに対し仏教の観点からアドバイスを 1 時間程度を目安に有料で行うなどである。ただ、真摯に人間に向き合うわけなければならぬので、誰でもできるものではなく、大変難しいことだが、ベースはあるのだから少しの知恵と工夫があれば明日からでもできるのではないだろうか。

私は、精神科医の役割を、寺院の僧侶に取り戻して戴きたいのである。具体策が必要ならば、いくらでもアイデアを出すので、是非検討して戴きたい。

お寺で談話したい		33 才	女性
NO.84	P1	同じ趣味の会／交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

【概要】

お寺を気軽に集まれる談話室のようにしていただき、年代などを括り、小さいコミュニティをたくさん作り、コミュニティ同士の交流から、時代に沿った地域活性化のアイデアを生み出せるようにしたい。

「お寺で談話したい」

お寺が、コンビニエンスストアよりも多く存在するとは知りませんでした。お寺に地域の方が集まるようになって、情報交換ができるようになったら素敵だと思いました。

いろいろな人と出会える場所があるのはいいことだと思います。

毎日、家族としか接しない人や、一人暮らしをしている人には、

目の前のことがすべてになってしまい、

なかなか悩みやストレスから解放される場所が無いのではと思います。

お寺が社交場となって、人と話すことで、多面的に物事が見れるようになったら、

悩んでいる人も少しは気が紛れて、またがんばろうと思えるかもしれません。

しかし私個人としては、お寺はなんとなく敷居が高く感じてしまい、気軽に立ち寄ることができません。

近くには誘って一緒に行けるような友達がいないときなど

じゃあ、やっぱりやめておこう、となってしまいます。

そこで、もしお寺に同年代の方が集まっていると思うと安心して行ける気がします。

例えば、①「30～35才の女性」だけが参加できるお話の会とか、

②「66～70才の男性」だけが参加できる読書の会とか、

細かい”括り”があれば、自分にあてはまる時に気軽に立ち寄れる気がします。

それぞれ、何度か集まって仲良くなったところで、

上記の①と②を集めて、「地域の祭り」や「近隣の環境」など身近なテーマについて話し、

違う世代との意見交換をするのはどうでしょうか。

高齢の方からいろいろ教わったり、若い世代の方から流行を聞けたりします。

個人的にも話題を増やすことができ、地域的にもまとまる気がします。

どんどん”括り”を大きくしていけば、新しいアイデアも生まれ、

地域の活性化につながるのではないのでしょうか。

気軽に集まって談話してもらうために、小さなテーマで話し合うのがいいと思います。

特に何かを準備して行う、というのではなく、

できるだけ負担が少なく、気構えなく参加できるのがいいと思います。

ウォーキングで歩いた距離自慢大会や、お菓子の評価会、

スマートフォンについて語る会や、撮影したお花の写真について語る会、

好きなアイドルについて語る会や、自分の旅行記を発表する会、

孫自慢の会や、車のパーツ自慢の会や、ゆるきやら大好きの会など、

遊びが多く、日常のなにげないことをべらべら話せる会がといいです。

インターネットの中で行われているようなコミュニティを

お寺が現実社会でやってもらえたらいいなと思いました。

お互いがどこのどなたかを確認できるし、安心して仲良くなれるようになればいいと思います。

人は人と話をすることで、すっきりします。

各個人がすっきりして、地域の人と良好な関係を築いて、

地域のことを考えていけるようになったら、いいことづくめです。

そういうことをお寺から発信してもらえたら、素敵だなと思いました。

お寺での音楽会		28 才	男性
NO.85	P1	同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

(1) ○お寺での音楽会

・現代の音楽では無く、雅楽等普段聞くことが出来ない

本当に良い日本の伝統的な音楽等

を定期的に本堂にて聞くことのできる会を開催する。

お寺の密集している地域などでは同時にそれぞれの

寺院を自由に行き来出来、様々な音楽を聞け、

それを地域の様々な年代の方々が楽しめる。

法話やレクチャー等があっても良いと思います。

(現代の若い世代は仏教などに関心のある人が

多いのですが(私は出版関係に務めているのですが実際に

仏教関連の特集の雑誌や書籍はとても良く売れています。)

触れる機会がなかなかありません。

音楽をきっかけに合間に法話等を聞く機会が同時にあれば

私はとても興味を持つと思います。)

小さい子供たちだけに限らず、すべての方にとって

同時に日本の伝統音楽をしっかりといろいろと聞けると言うのは

とても貴重な機会になるのではないのでしょうか。

日本の伝統音楽のフェスティバルの用な事ができれば

地域の活性化にも繋がるのではないのでしょうか。

周りの地域からも人が集まって来ることも出来るのでは

ないかと思います。

「次はあのお寺に行ってみよう！次はあのお寺にしよう！」

という様な会話が聞けるかもしれません。

私の知っている限りの伝統音楽をやっておられる方たちは

やはり伝えたいと言う意思がとても強いので、金銭的にも

無理をせずに開催出来るのではないかと思います。

上記にさらにお寺毎に企業からスポンサーを募る事などが出来れば

会の開催時の費用等を寺院の負担を軽減することができるとおもいますし

会の終了後も関係を継続出来れば、これに限らず継続的に様々な催しを

することが出来るのではないかと思います。

もしこのような催しが有れば別の県でも泊りがけでも行きたいなあ

僕は思いますし、またあの街に行きたいなあと思えるような経験が

出来るのではないかと思います。

子育てサークル		不明	女性
NO.86	P1	真剣な話し合い	
			⇒ジャンルへ

アイデアの概要：

昔は、親子3世代で親から子へと母子相伝の家事育児が主流でなんでも家族で協力して生活する環境でした。

しかし、近年では、
核家族化で核家族での子育てが主流となってきました
母子密着型の子育てで、地域社会から孤立して
子育てをどうしたらよいのか
学んだり教えてもらったりする機会がほとんどありません。

私は、京都出身で親子3世代で暮らしており、
祖母から地域社会の関わり方や日常生活全般を、
-見ながら生活してきました。

京都は、寺社仏閣がたくさんあり、
町中にお地蔵さまも祭られており、
自然に手を合わせたりして、
いろんなことに感謝したり、祈願をしたり
心の安らぎを取り戻せる機会がたくさんあります。

お墓も、地域のお寺さんが管理されており、
地域社会でのお寺を通しての繋がりも強く、
お寺の役割は大変大きかったように思います。

しかし、自分自身が結婚で東京に嫁ぎ、
初めての妊娠・出産・育児をする際に、
地域社会との関わりがほとんどなく、
子どもを抱えながら、子育てをどうしたらよいのか？
本当に悩みました。

近年は核家族での子育て世代が多いので、
特に、妊娠が分かってから産後生活の期間は
いざという時に、助け合ったり、声掛け合ったり
する機会もほとんどありません。

子育てサークル		不明	女性
NO.86	P2	真剣な話し合い	
			⇒ジャンルへ

首が据わった頃に、地域の子育て声援センターへ遊びに行っても、ただ遊ぶだけで、子ども中心で母親自身が子育てについて学ぶ環境とは程遠いです。

子どもを連れて外出するのは大変です。

授乳するところ、おむつ替えをするところ、靴を脱いでハイハイや歩いたりできるかなどの環境でないと、その場所へ行こうという気になれません。

お寺は、そういう環境が整っているなので、乳幼児連れには適していると思います。

日常では体験できない、お寺の神々しい雰囲気や、ありがたい雰囲気、お香の香り、読経を聞かせたり、お坊様のありがたいお話を聞けたり、

そういうことを、子ども達に小さいころから、神仏を敬ったり、手を合わせて感謝する習慣を身につけることで、人生で困ったときに、生きる心の支えになるのではないかと思います。

そして母親達も、イライラして子どもを叩いたりして自己嫌悪に陥ったりしたとき、困ったとき、子どもを連れて、お寺にくることで、自分自身を見つめなおし、冷静になり、ちゃんと神仏は見てくれている、また子育てを頑張ろうという心の支えにもなるのだと思います。

子育て世帯は、お寺との関わりが、ほとんどないので、お寺にすれば、こういう心の安らぎがあるんだ。。。みたいな、地域交流の場所があればと思います。

具体的には、

「親子で読経体験」その後、「参加した地域の親子でおしゃべりタイム」みたいな場の提供があればと思います。

お寺も、参加者もお金もかからず、すぐ実行できる企画だと思います。

もし住職さんやお坊さんのお話を「おしゃべりタイム」で聞かせていただけるなら、素敵なことだと思います。

芸術趣味の村	助け合い村	研修村	学習塾	65才	男性
NO.90	P1	修行／勉強会／境内・伽藍の開放／相談窓口			
					⇒ジャンルへ

1 活用名

ふるさと芸術趣味の村

2 内容

・地域活動、市民活動として現在さまざまな趣味の会がある。それに対して情報支援事務局機能については行政が用意しているところが多いが、展示、発表の場のほか研修の場は用意されていないなど不便が目立つ。

- ・そこで、お寺の境内や会館をそのような拠点として利用可能なものにする。
- ・茶道、華道、書道のほか絵画、俳句、骨董収集、囲碁将棋、詩吟、浪曲、尺八などの会の活用が考えられる。
- ・発表会や研修会の日には地域住民に開かれたものにできればよいと思う。

3 運営

- ・法事を受け入れるのと同じ要領で、受付などをお寺で実施する。
- ・地域割りし、NPO 法人に受付事務を集約しつつ代わりにやってもらう。

4 効果

- ・地域住民活動拠点として地域住民に分かりやすく、親しみがもたれるようになる。
- ・お寺のイメージが損なわれることがない。
- ・若干であるが利用料収入が入る。
- ・地域活動の活性化に寄与し、お寺への認識が変わる。

1 活用名

ふるさと助け合い村

2 内容

・人生の悩みや苦難解消など人生相談所として活用する。この場合相談員は住職になる。

- ・地域の災害備蓄基地として活用する。市町村のその最前線の機能をもたせる。
- ・福祉バザー、リサイクルバザー、地元産野菜直売などの会場として活用する。
- ・子どもの夏休み宿題のお助けどころとして活用する。

3 運営

- ・町内会あるいは連合町内会と連携し位置づけを図る。
- ・周知広報も町内会、連合町内会にゆだねる。

4 効果

- ・地域の助け合い拠点として住民に分かりやすく、親しみがもたれるようになる。
- ・お寺のイメージが損なわれることがない。
- ・利用料収入が入る。
- ・地域活動の活性化に寄与し、お寺への認識が変わる。

芸術趣味の村 助け合い村 研修村 学習塾				65才	男性
NO.90	P2	修行／勉強会／境内・伽藍の開放／相談窓口			
					⇒ジャンルへ

1 活用名

さむらい&なでしこ研修村

2 内容

- ・社員や店員、公務員などの研修施設として活用する。宿泊可能ななおいい。
- ・法話、座禅、読経、写経、掃除、精進料理などが研修メニューになる。
- ・企業や業界団体などの研修メニューの一つに加えてもらい多活用を図る。

3 運営

- ・お寺自身で受付事務をとりおこなう。そうでない場合には次による。
- ・地域割りし、NPO 法人に受付事務を集約しつつ代わりにやってもらう。

4 効果

- ・地域の研修拠点として市民に分かりやすく、親しみがもたれるようになる。
- ・お寺のイメージが損なわれない。
- ・利用料収入が入る。

1 活用名

町なか学習塾

2 内容

- ・小学校、中学校児童生徒の学習塾として活用を図る。
- ・リサイクル図書を受け入れ児童図書館として活用する。

3 運営

- ・シルバー人材センターと連携し塾運営をおこなう。
- ・NPO 法人と連携し塾運営をおこなう方法もある。

4 効果

- ・地域の子ども学習拠点として市民に分かりやすく、親しみがもたれるようになる。
- ・お寺のイメージが損なわれない。
- ・利用料、入館料収入が入る。

お寺を高齢者が集う場に		70 才	男性
NO.91	P1	同じ趣味の会／境内・伽藍の開放	
			⇒ジャンルへ

日本社会が抱える大きな問題は、少子化と高齢化です。

私はお寺が地域社会とのつながりを取り戻し、地域社会の中心となるために、高齢者問題に取り組むことを提案します。

日本には介護保険の世話になっていない高齢者、介護保険の自己負担が負担できない高齢者、介護予備軍が大勢いると思います。私の住む北区は、ひきこもりがちな高齢者・認知症の方が憩える場所を提供する事業としてふれあい交流サロン「集いの場」の整備をめざしていますが、当面14箇所の地域包括支援センターに設置を予定しているため、数が少なくほとんどの高齢者にとっては遠すぎて通えません。各町内に、高齢者が集まって世間話をする場所があると良いのですが見当たりません。お寺をそういう場所にして下さい。すでにお寺の一部を開放したオープンテラスや「僧職男子に癒されナイト」などの宗派を超えた仏教イベントが行われています。

お寺に高齢者や同行の家族が行くと、お茶のサービスがあつて、近所のお年寄りが居ておしゃべりができ、テレビが見られ、時々お坊さんの説法が聞けたら良いと思います。ただ、お寺ですから仏教にかかわる花祭りなど年中行事や写経会、お釈迦様の教えの説明などはしっかりとやって下さい。さらに高齢者向けのお料理教室や介護予防の体操教室なども考えて下さい。たまには小学校の生徒にミニコンサートをやってもらいましょう。私の母がデイサービスに通う当別養護老人ホームには、時々高齢者を楽ませるためボランティアが来て音楽演奏などをしてくれています。こういう活動を支援しようというボランティアはかなりいると思います。各地に児童館があるようにお寺が高齢者のたまり場になってほしいのです。最初は月1回からはじめ、少しずつ増やしたらどうでしょうか。

問題は①誰が利用者のめんどろをみるか、②お茶などのサービスにかかる金をどうするか、③行き帰りの事故の責任問題だと思います。①のめんどろを見る人については、地域包括支援センター職員、地元町会の有志、認知症サポーター、若手のお坊さんなどが考えられます。認知症サポーターは、認知症高齢者が地域で暮らしていくために地域で支えようという趣旨で厚生労働省がはじめたもので、すでに数万人が養成されています。私も認知症サポーターで何かあったらお手伝いしようと思っていますが、活動の出番がないのです。②の費用負担については、参加者に参加1回ごとに100円以上のお布施をいただく、厚生労働省の地域密着型サービスの中でのふれあい交流サロン「集いの場」(自治体により名称が異なる)事業から補助してもらうなどが考えられます。③行き帰りの事故は買い物と同じく自己責任としてもらいましょう。

こういう活動をするとうち自治体や地域包括支援センター、町会役員、ボランティアなどと連携をとる必要があり、お寺も大変だと思います。しかし、若手のお坊さんと地域包括支援センターが中心で活動始めたら、やがて地域に支援する組織ができると思います。これを機会に日常生活の中に仏教の精神が蘇るよう日蓮宗宗務院伝道部も応援して下さい。その結果としてかつてのようにお寺が地域コミュニティの中心になることを願っています。

「寺子屋」事業を中心とした地域拠点作り構想			26 才	男性
NO.93	P1	勉強会		
				⇒ジャンルへ

現在会社勤めをしておりますが、3 月に仕事を辞め、勉強が苦手だったり、嫌いだったりする子供たちの学習をサポートするNPO(個人塾)を、墨田区で開こうと考えています。学習支援に加え、自然と触れ合う課外活動やものづくり体験を通じて、生きていくために必要な力が育まれるようなプログラムも作っていきたいと考えています。その場所として、お寺を活用するのはどうだろうか？というのが僕の提案です。現代に蘇るリアルな「寺子屋」です。

具体的には、お寺から無償で一室をお借りし、僕がそこで勉強を教えたりプログラムを実施したりします。勿論私塾ですから子供たちには授業料を払ってもらうことになりますが、お寺の広い空間を有効活用し、塾経営の固定費をぐっと下げること、授業料を格段に安くすることができます。あまり裕福ではない家庭も多い墨田区においては、きっと重宝される場となるはずです。逆にお寺は、子供たちを中心に地域の人々が集まる「要」あるいは「拠り所」として機能していくのではないのでしょうか？

墨田区には大小数多くのお寺が散在していますが、人情とおせっかいの町すみだに存在しているにも関わらず、地域の方々の「拠り所」としての存在感はあまり大きくないように思います。ですが、お寺のもつ「安心」の対外的イメージはやはり強く、きっかけさえあれば老若男女が続々集まる空間が形成できるような気がします。あるお母さんは、「最近の親は塾を『勉強させる場所』というよりも『子供を安心して預けられる場所』と見ている」と仰っていましたが、お寺はまさにそうした要望に十分に応える場になると思います。

また、「寺子屋」を運営することは、お寺のあり方に様々な可能性を与えてくれます。例えば、お寺の敷地内で、子供たちが野菜を育てる。できた野菜をみんなで収穫して調理し、地元の方々を呼んで収穫祭をする。そうした取り組みを何度も繰り返すことにより、子供から大人まで多くの方々が気軽に立ち寄れる、そんな空間ができていくのではないのでしょうか？その結果、一人暮らしのお年寄りの方々の孤立を防いだり、不登校の子供たちの居場所となったりできるかもしれません。

お寺の広いスペースと、お寺が本来持ち合わせている「安心」のイメージを活かして「寺子屋」を運営し、それをきっかけとして地域の拠点として育てていく。コミュニティ形成がどんどん難しくなっている現代において、新しくないようで新しい、ありふれたようで実は余りない、素敵な取り組みに育っていくのではないかとそんな予感がしております。

お寺とともに		30 才	女性
NO.95	P1	同じ趣味の会／一般年中行事／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

【アイデアコンセプト】

☆4 季を感じ、お寺が家族や親子で集まる集会の場に

最近では、核家族化やマンションの増加により、周囲とのコミュニケーション不足が増えている。また、TVゲームや携帯により、体と頭と会話を使うことが減っている。そこで、昔から人が集まる場であったお寺で、笑いと会話、勉強が同時にできる事を考えてみた。

【概要】

春夏秋冬の年に 4 回、イベント（祭り）を開催する

☆春

《百人一首、かるた祭り》

大人は百人一首、子供はかるた遊びを経験できる

☆夏

《夏まつり》

ヨーヨーつり、金魚すくいなどの水がある遊び

夜はミニ花火祭り

七夕祭り（短冊に願い事を書いて笹に飾りをつける）

※親子でコミュニケーションをとりながら、風流な心を忘れないイベントとして

☆秋

《百人一首、かるた祭り》

大人は百人一首、子供はかるた遊びを経験できる

☆冬

《もちつき大会》

大人や子供ももちつきを体験でき、つきたての餅を食べる

※餅は販売してもよい

お寺で子育て支援		30 才	女性
NO.96	P1	修行／勉強会／真剣な話し合い／相談窓口	
			⇒ジャンルへ

お寺で子育て支援

●はじめに

地域での「お寺活用方法」を考えたときに、お寺は住職、僧侶や寺の奥さんなど常時誰かが居る場所であるという特徴が思い浮かぶ。人の目があるということは、子どもにとっては防犯面で優れた場所であるという点に着目し、お寺を「子どもが安心して過ごせる場」としての活用を考えた。もう1つのお寺の特徴としては、寺の奥さんの多くは子育て経験者であり、婦人会に入りお寺をサポートする檀家もまた子育て経験者が多いことが挙げられる。そのため、経験者としての知識や体験を生かし、子育て中の母親の支援が可能ではないかと考え、子育て支援も同時に行うことができるのではないだろうか。加えて、お寺を子育て支援の舞台とすることで、地域の子どもや母親たちが仏教や信仰に関心を持つ機会を提供できると考え、以下にアイデアを提案する。

● 概 要

子どもへの安全に過ごす場所の提供

空き部屋や本堂を使用し、近所の子どもが放課後や長期休みなどに遊びや、勉強など、様々な目的で過ごすことのできる場所を提供する。特に共働き家庭の子どもが安心して過ごせる場所として、アピールを行う。

子育て支援

婦人会や檀家の協力を仰ぎ、お寺に頻繁に足を運んでもらうよう促し、お寺にきた子どもや、母親達に話しかけ、相談しやすい環境をつくる。また、ママ友の交流の場を提供する。お寺で子育て支援を実施していることは、町内会や広報を通してアピールを行う。

お寺との交流

僧侶が指導する書道や写経、子ども向けのお説教を定期的実施する。また、お寺にある仏像や、お寺で行われる季節ごとの行事の意味や内容について解説を僧侶が行うことで、お寺への興味を持つきっかけづくりを行う。また、各季節の法要の案内を行い、家族でお寺にくる機会を積極的に提案していく。

●終わりに

お寺は、檀家にとっては身近な存在であっても、近所の住民にとっては気軽に訪れることではない場所ではないか。しかし、きっかけさえあれば、檀家でなくても、様々な人がお寺に足を運びやすくなるだろう。お寺が地域で活用されることで、より地域に根ざした、地域に必要とされるお寺になることを期待したい。

寺院料理教室		20 才	男性
NO.98	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

背景

私たちは寺院に対して少なからず思い入れがある。子供にとっては遊び場で利用したり、大人になっても参拝で行かれたり、情緒な部分で思い入れがあると思う。しかし主に寺院の利用は、観光や墓参り冠婚葬祭などの特別な時だけである。そこで私は寺院に対して「信仰だけ寺を活用するのは少ないのではないか？」と考えた。日本は無宗教が多い事も原因の一つで考えられるが、高齢でも働いたり多忙な時代の背景から寺を頻繁に出向く人は少ないのではないのか。

寺院に出向く理由は大きく分けて、お墓参りや厄払いの「信仰」と旅行での「観光」が挙げられる。観光は、有名な寺院に集まるため地域活性化のプランとして難しい。問題は7万を超える寺院に対してどうするかである。そして私は「信仰」の観点から今回の企画を考えた。

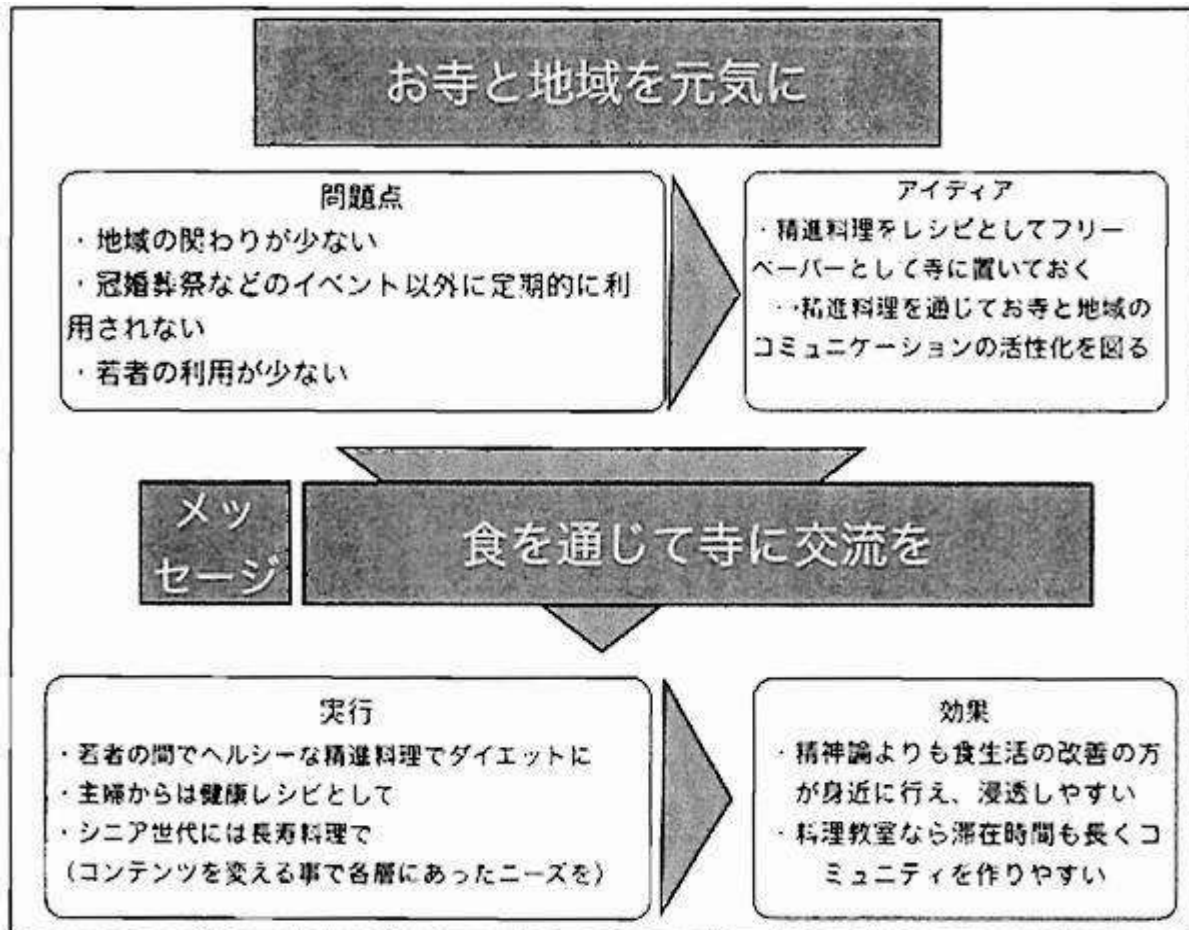
そして「信仰」は自分自身が何かを禅寺をする事で生活改善をするものである。生活改善をするにあたり、多忙な人でも衣食住は欠かせないものである。信仰は生活改善や健康というワードと関連している。そのため寺院の説く教えは、精神、身体へと健康ワードに大きな結びつきがある。

私達がお寺を必要とする理由として、子供時代に遊ぶ場、また家族団らんの場。寺院は公民館や公園と同じく、誰かと触れ合うきっかけの場である。健康を目的として寺院に来させるイベントを考えたい。

事業内容

私は地域に寺の衣食住に取り組む。特に食に重点を置き、地域の活性化を行う。お祈りは精神論である風潮は少なからずあり、まず第一に食生活の改善を行ってもらい、短期スパンで効果を実感してもらおうと考えた。寺院の参拝の目的は病気予防や健康への取り組みとの要素もある。しかし、どれほど自分の健康に役に立っているか数値やデータ化にしやすい。その点、食生活の改善なら短期スパンで大きな効力をもたらしてくれると考える。寺がお勧めする精進料理は、健康は基より日本料理の文化を知ってもらう面でも有効である。

具体的なアイデアとしては寺の住職がお勧めする精進料理のレシピをフリーペーパーとして神社に設置する。次は定期的に神社で料理教室を開き、地元住民の交流を行う。



上図のように、まずフリーペーパーの配信から精進料理の概念を広く告知する。寺院の数はコンビニよりも多いため、大きなブランディング効果が見込める。

精進料理に興味を持ってもらった方に実際に作ってもらうために料理教室を開く。今回のアイデアの目的は、ただ寺院を訪れるのではなく、住職や地域住民の対話や交流でソーシャルな部分で繋がることである。今まで寺院の滞在はお参りだけで滞在が短時間なケースが多いため。住職との会話や深い交流は少なく、地域のコミュニティは作りにくかったと思われる。その問題点を補うために今回の長期滞在や継続して寺院に足を運ぶプランを考えた。精進料理を地域住民に教える事で、寺に住民が訪れるのが今回のプランだ。

寺院料理教室		20 才	男性
NO.98	P3	勉強会	
			⇒ジャンルへ

問題点

フリーペーパーの制作費。寺院によって調理教室を開ける一定水準の環境が必要である事。

まとめ

私は今回のプロダクトを作るにあたり、お寺の持つ強みを3つに絞って考えた。

- 1、寺院は依然として健康に関して強い信仰があると日本人に根付いている。
- 2、寺院数はコンビニよりも遥かに多い。
- 3、寺院の環境は人が集まるのに適していると考ええる。

まず(1)の住職が好まれて食べられている精進料理は日本文化に根付いているが、体験した人や詳しくは知らない人も多いために興味を持つだろう。健康料理というジャンルであれば老人をはじめ、スポーツをやっている学生、ダイエットをしている女子高生やOL、幅広く呼びかけが出来るを考える。

次に(2)は寺院は幅広く呼びかけをするのに適している。そこで料理教室の呼びかけも口コミやインターネットを通じたサイトからでなく、寺院の数の多さを利用できるフリーペーパーを置く事を考えた。

(3)は幼少時代から寺院の庭で集まっていた記憶から、子供にとって公園のように慣れ親しんでいるはずだ。寺院の周りには人が休息したり居座れるために、何か目的があれば寺院に来るのではないかと考えた。ただ遊具を置いて子供が寺院に来るよりも、イベントを用意する事で目的意識や寺院のメッセージを受けとりに来てもらええる考える。

今回のプランは寺院が信仰と生活改善を軸に、イベントを通じて住民に伝える。大きな地域活性化と、寺院に足を運ぶイベントになるはずだ。

お寺で健康増進サポート		26 才	女性
NO.100	P1	修行／真剣な話し合い	
			⇒ジャンルへ

■概要■

一人じゃなかなか続けられないダイエットや禁煙・・・
でも、ジムや病院に通うのは大変・・・
そんな人達をお寺がサポート！

もし、「大丈夫だよ。もう少し続けてみようよ」とアドバイスしてくれる存在があったなら、引き続き頑張れたかもしれないのに・・・。

⇒そういう方々へ励ましや相談をしてあげる。

■詳細■

「痩せたい」「禁煙したい」
そう思っている人はたくさんいるはずですが。
しかし、なかなか行動には移せません。

子どもが、夏休みのラジオ体操でスタンプを押してもらうのを
楽しみにしているように、お寺に行くと記憶が増えるから行くという
動機にもなるのではないのでしょうか。

⇒そういう方々へきっかけを作ってもらおう。

- ・お寺に体重計等を用意して、毎回お寺に行く度に測定して、
ノートに記入する。
- ・ウォーキング帰りにお寺に寄って、万歩計の数字を記録する。

また、もし行動を起こせたとしても、すぐに挫折してしまう人が
多いのではないのでしょうか。

一人暮らしの方々は、自宅に体重計がないことも多いです。
体脂肪率等も測れる高機能な体重計を用意するといいいと思います。

- ・毎日体重計に乗る。なかなか減らない。イライラする。
- ・食べたものをノートに記入して、食事に気を付けてみる。
でもだんだん面倒くさくなってきた。
- ・ついつい我慢出来なくて煙草を吸ってしまった。
もう自分には禁煙は無理だ。諦めよう。

お寺で、ダイエット仲間や禁煙仲間と出会えるかもしれません。

時々、セミナーや料理体験教室を開くのもいいと思います。
ヘルシーなメニューとか。

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

地域社会のためのお寺の活用アイデア

地域から個人へ 地域から世界へ 「活性化」

お寺は地元の長老

町のリクリエーションセンター

町の情報網

町のなんでも屋！

過去と現在と未来、
人と地域と世界を
つなげる役割の場所

はじめに

日蓮宗のホームページを拝見し、立派で分かりやすく、うまくできていると思いました
何も知らない私は、いろいろあるんだなああと勉強になり、また興味も湧きました
しかし、地域の段階に行くと、私達一般の人間は、まったくなにも知りません。
普段の生活では、まず日蓮宗のホームページを見ようとは思わないと思います
お寺の前を通りかかっても、なぜか閉鎖的なイメージで、自分には関係のない場所と
いった感じです。

でも、おもむきは立派で素敵な建造物だなあと、惚れ惚れしながら前を通ります。
ホームページ内のリンクされている地域のお寺のページに行くと、残念ながら、分か
りにくいです。

ほとんどがマップでしたし。まだまだこれからなんだろうな、やはり年配の方が多く、
やりにくいんだろうなと思いました。

2年前に母を亡くした時に、初めてお寺やお坊さんと接して、改めて日本の風習や仏
教の人を思いやった気持ちに触れた気がします。

そこで何も知らない私が思ったことを簡単に箇条書きにしてみました。

この募集のことを知るのが遅れてしまい、あわてての応募になってしまい、申し訳ご
ざいません。

もし、分かりにくい箇所、説明不足の箇所があればお気軽に質問していただいて結構
です。

乱筆乱文をお許してください。

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

お寺の弱み

お寺のことを知られてない

お寺とこんなことやりたいと考えたときに、「お寺って何ができるの?」「お寺ってどういうところ」などまったくお寺について知らない。でもこれって一般的な意見だと思う。全国にあるのに身近に感じたことがない。。。
昔からあるもの、お墓のあるところ、ご先祖様や亡くなった人々を供養してくれるところ
宗教的なところ、
どちらかと言えば、あまり行きたいと思うような場所ではない。

お寺のイメージ

実際、イメージが暗い
お金がかかるイメージ
坊さん来てもらったら、結構なお金をあげないといけないイメージ
お坊さんが派手な格好をしてるイメージ
どんな行事があるかいまいち不鮮明
コンビニより数があるのにほとんどいかない、行く機会がない
コンビニみたいにコンビニエンスではない
そこにある意味、理由があんまり分らない
まだ神社のほうが活気があるイメージがある。

お寺と一緒にこんなことをやってみたい!

お経コンテスト

お経書初め

お寺ゲームでお寺の勉強(全国のお寺の神経衰弱とかカードゲーム、百人一首的なゲーム)

町の商店の露天、祭り

バザー

フリーマーケット

座禅大会

修行体験

いろんな対戦や大会

人道のマナー教室

修行で学んできたことを教えて欲しい

盆や供養の時だけでなく、もっと説教して欲しい

いろんな業界の人をイベントとしてお寺に来てもらって、講習やセミナーみたいに関心のある人の説教もお坊さんの説教と一緒に聞いてみたい。

落語家や芸能人をよんでのイベント

お寺のこと知りたい

実はみんなお寺のこと、もっとちゃんと知りたいはず。
今はお寺のことを教えてくれる人が少なくなったから。
逆に今はインターネットや情報社会。メディアやテクノロジーを利用して、お寺だからこそ、時代をこえていってほしい。

なぜ、そこにお寺が建ったのか
どうやって、何年に、誰が、誰のためにつくったのか?

どれぐらいかかってつくったのか?
そこにある人の紹介、像の紹介などをわかりやすく、手軽に知りたい、教えてほしい。
お寺と神社の違いとは何か?
その歴史など。

そのほかに
修行ってどう?
修行でつらかったこと
お坊さんになってよかったこと
などあまり知られてないことなど

お寺の強み、魅力

全国にある
たくさんある
建造物
歴史
仏教、文化
ネットワーク

歴史と繋がっているところ
多くのお寺が昔からそこにある＝
その土地のことを一番知ってる、
一番の地元の人である

無宗教や異教の人でも、きがるに行けるし、行事でいけること

お寺にしかできないこと

和尚の教え、説教(心が洗われる)
供養
ご先祖様との架け橋

など、まだまだあるとは思いますが、あまり知らないのだから

お寺への提案

お寺にやってもらいたいこと

お寺をもう少し昔のようにカジュアルな場所にする

お寺と神社の協力

宗派を超えたつながり

他宗教への理解しているところをアピール

ただの宗教団体ではないことをアピール

お寺を活性化することとは、忙しくなること、それをお寺の人間は十分踏まえてやってほしい。逆にそれを嬉しく思えない怠け者の人はどうかと思う。
人が来ても、忙しがらずに接して欲しい

ゴスペルの教会などは顔見知りの人たちが定期的に通い、歌って踊って祈りをささげているまるで若者がクラブへ行くような感覚に見える(本当はちがうが、やってることは一緒なきがする。。)そんなお寺があってもいいと思う

地域から個人へ	地域から世界へ	「活性化」	38才	女性
NO.103	P3	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／土地を貸す／まつり型イベント／情報発信／紹介所／寺院ネットワーク／地域ネットワーク		
				⇒ジャンルへ

お寺でこんなことをやったら、地域が活性する！ 1

子供

保育園、幼稚園、学童、小学校からの社会見学、実習の場として定期的に行くところ
社会、歴史、文化、宗教の時間
香道、着物、かるて大会、など
遊び感覚で学べる場としての利用

親子の公園デビューのような感覚でお寺デビュー

その地域で生まれた子供の命名を和尚さんにかいてもらう

大人

ほやきのコーナーを設ける
ご意見箱のようなもの
そこから和尚が毎週、毎月、披露し、それについて語り、意見を聞く
和尚は毎週、本部へ、またはネットで報告すること

サークルの集まり場
こんなサークル、集まりをつくりたいといったことの掲示板をつくる
がんばってる人の報告など
例：スポーツクラブでこんなイベントがある、したい。人数確保が必要な場合など

マナー教室
マナーや道徳についてのお説教
例：ペットブームですが、犬の糞の始末。

地域の問題を一緒に考える会
お互いに意見を出し合い
試してみる。
次の会でどういう結果や思いが芽生えたのか話合う
日々の生活、1つ1つを意識して生活するようになる
問題ばかりに着目するのではなく、いい所はどんどん伸ばして行き、他の地域の見本になれるように、前面にだしていく

老人

集いの場所として
みんなでいろいろもってきてお茶する

将棋、囲碁の大会場所

老人ができる労働の機会の場(情報交換、求人、など、お寺が親会社として機会を考える)

小話大会
お坊さんの修行のちょっとした話、お年寄りの昔のちょっとした話、(落語やよせ話みたいな感じで)

がんばっている老人の自慢大会
がんばっている老人に聞こう！

老人が多い時代
お寺が老人がつどえる所、活動の情報交換の場になれば。
最近ではジムで元気なご老人達が生き生きと仲良く励みあって健康を維持している姿をよくみかける。
今まで一生懸命日本を支えてきた年代の人々の中で、暇をもてあましてる人も多い、ほそぼそと暮らしている人も多いと思う。
もう、何もしたくない人達はそれでいいのかもしれないが、私の目にはただ死ぬのをまっているようにしかみえない。
人それぞれ、いろいろな問題や事情があるとは思いますが、個人的にはまだまだがんばってほしい。
がんばっている老人がいるならそれをもっとサポートしてあげれるシステムをつくりたい。

お寺でこんなことをやったら、地域が活性する！ 2

地域で

これからのリサイクルやエコの中心的な場所として、寺がリサイクルの業者と地域の住民との架け橋というのが当たり前の状態になってほしい。(これからどんどんリサイクルや環境についてのビジネスが増えていく。
その中でお寺が物の大切さやなどを教えると同時に先頭にたって、日本の地域のリサイクル事情をまとめ、事業を展開する。それは地域密着型のお寺が出来ることだと思う。
さらにお寺は全国にネットワークがあるメリットがあるので、情報を提供、共有、できるので、地域の声が全国に繁栄しやすい

バザー、物々交換の場

商店街限定の出店(出店専用の店は限定で)
新商品の紹介などをかねて、宣伝、お寺に行くとお得なお店のクーポンがもらえる
お寺を通して現地特産物の宣伝(観光産業としても)

地域の団体同志の集会場として、
(町内会、自治会、商店会、政治家の事務所、など)(この会では今こんな活動をしています、商店街の売り上げが先月は赤字でしたとか、1つの団体が抱えている企画や問題などを違う団体同士で話しあい、意見交換の場としてお寺は最適な場所やポジションではないだろうか？政治で言う国会みたいな場所、でも決めるのは各自)

全国で

インターネット、メディアを通してつながる
お寺同志の情報交換、競い合い。
例：日蓮宗本部主催 かるた選手権、剣道選手権など
地方のお寺から代表出て、優勝争いする)

お寺のブログ(今日の和尚の一言とか今日のイベントの告知、感想など)
もうちょっと、地方のホームページを見やすく、わかりやすく、また各お寺がホームページに書き込みやすくてできるよう提供する

お寺ラリー
お寺スタンプ
お寺おたく(電車オタクのような感じ。(けっこういるので、そういう人をメディアをつかって出すのもよし))
イベントを増やし、今日はここのお寺でスイカ割り大会があるから、ここの寺に行ってみようみたいなこと

世界で

交換留学生
仏教の修行を経験したい外国人、英語圏の人
仕事として英語を教えたり、英語のブログを書いてもらって世界との交流。(ただ何を書いたか英語がチェックできる人が必要)
修行もおこなってもらう

「可愛い子には旅をさせろ」プロジェクト
これから留学したい学生へのスポンサー活動や協力や教育
例：仏教信者の大学生へ1年間語学留学への夢の手伝い
逆に学生は仏教の教えを広める。その学生はお寺に留学の目的、仏教活動の企画、計画書などの提出

年齢ごとに対象を分けてお寺を舞台とした活動を提案		48才	女性
NO.104	P1	勉強会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／相談窓口／情報発信	
			⇒ジャンルへ

現状分析

「地域社会のためのお寺の活用アイデア募集」ということは、今、お寺と地域社会が離れていることを表しています。また、悪徳坊主という言葉や金の亡者として僧侶を批判する意見も目に付きます。宗教離れが進み、無宗教者が多くなってきているのが現状です。

これらは、宗教が皆の目に触れにくくなったのが原因と思われます。お寺が伝統の上に胡坐をかいて、檀信徒や地域社会や一般の方々と共に存する努力を怠っていたような気がします。地域社会に深く溶け込んでいれば、宗教に対する無知ということもなくなり、無責任な批判を浴びることも少なくなるでしょう。深く地域に根ざしたお寺作りを考えてみました。お寺が活性化すれば、地域も活性化すると思います。

活性化と一口に言っても、お寺や僧侶や寺族の特徴を基にした考えが必要だと思います。全部が当てはまるわけではありませんが、おおよその長所としては、

寺院・敷地が広い

- ・駐車場が広い

- ・静かである

- ・建物が大きい

- ・大人数が集まることを想定した設備

- ・畳の部屋がある

僧侶・地域を知っている

- ・地域住民を知っている

- ・地域住民に知られている

- ・信頼されている或いは一目置かれている

一方、問題点としては

寺院・人口減少や過疎による檀信徒の減少

- ・檀信徒の減少による経営不振

- ・地域との接点が減り、敷居が高く感じられ閉鎖的

僧侶・多忙により留守がち

- ・後継者不足

地域とのつながりという面では、町内会等で僧侶と面識があっても、檀信徒でなければ一般住民が寺院を訪れることはあまりありません。お墓参りや法事をするだけのところという認識をまず改めてもらわなければ、人は寄ってきません。広く門戸を開いて人を集める必要があります。この「人が集まる」には、「宗教的な集い」と「それ以外の集い」があります。「宗教的な集い」とは、もちろん仏教、日蓮宗の教えを中心としたものです。「それ以外の集い」とはただ単に人が多く集まることですが、人の交流が盛んになればお寺の繁栄に繋がります。それを、年代やグループ別に方策を考えました。

年齢ごとに対象を分けてお寺を舞台とした活動を提案			48才	女性
NO.104	P2	勉強会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／相談窓口／情報発信		
				⇒ジャンルへ

宗教的な集い①～若者、女性～

現在、将来に対する不安やストレスの多い生活から、若者や女性を中心として、癒しを求めてパワースポット体験やヒーリンググッズに頼る傾向が顕著になっています。お寺で体験修行をする人も珍しくありません。ただ、そこで終わっては無意味と考えます。日帰りや数日間の宗教的な生活を通してリフレッシュするだけでなく、日蓮宗に関わってもらわねばなりません。日蓮宗でもホームページに少し情報を載せていますが、これではアクセスする側から言えば情報不足で、ひとつひとつ探していかなければなりません。宗門で体験修行募集要項のきちんとしたマニュアルを作れば、実施を思案中のお寺は参考にできますし、情報を欲しい人にとっても、有益です。全ての寺院で統一された募集要項は無理でも、比較対象ができる情報を多く入手できます。

以下はマニュアル作成までの具体例です。

1. 体験修行を実施中のお寺の成功例や、反対に試行錯誤中の所に聞き取り調査。
2. 体験修行者にアンケートを実施
3. 委員会で検討、アドバイザー選任
4. マニュアル作成（募集の告知、設備、費用、料金、カリキュラム作成等）
5. 寺院への告知
6. 初めて実施する寺院に人的、物的支援。助言
7. 成功例に対する褒賞。

体験修行は日数によりカリキュラムが変わりますが、具体例として

1日目

900 集合。オリエンテーション
930 面談
1000 瞑想（唱題行）
1130 料理
1200 昼食、片付け
1300 写経
1430 教学の勉強
1600 読経
1700 料理
1800 夕食、片付け
1900 面談
2000 反省・感想文
2030 入浴、就寝

2日目

600 起床、洗面
630 読経
700 料理
730 朝食、片付け
830 掃除
930 面談

以降、1日目と同じ

上記の特徴は、少人数を対象とし、面談の時間を多く取っていることと、遊びの部分が少ない（レクリエーションではない）ことです。1回あたりの人数が少なく、かつ僧侶が対応する時間が長いので、経営の助けにはなりませんが、じっくりと向き合えます。こういったシンプルなカリキュラムに参加する体験修行者は大なり小なり悩みを抱いて門を叩きます。こちらからお願いして来てもらっているわけではなく、自発的に訪れるのですから、お寺としても一歩踏み込んだ対応をして、継続的に日蓮宗と関わってもらい、ゆくゆくは檀信徒になればと考えます。

反対に、自然が豊かであったり、近場に観光地があるといった、何かしら特徴のあるお寺は、レクリエーションの一環として開催できます。カリキュラムも表層的なものになると思われますが、知ってもらうこと自体が重要であり、経営上、大事なことです。

いずれの場合も、忙しいお寺では難しいと思われます。そこで、場所だけ貸して、ノウハウを知っている僧侶に全面的に委託するという方法もあります。

年齢ごとに対象を分けてお寺を舞台とした活動を提案			48才	女性
NO.104	P3	勉強会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／相談窓口／情報発信		
				⇒ジャンルへ

宗教的な集い②～壮年までの男女～

宗務院のホームページでは、Q&A コーナーや法話などがありますが、それとは別にメールやスカイプでの悩み事相談も開設してはいかがでしょうか。宗教に関するだけでなく、人生相談に僧侶が回答を寄せます。当番弁護士の僧侶版で、担当者を各管区に作り、回答します。人選が難しいかもしれませんが、相談の内容別に専門を分けて対応すれば可能と思います。

宗教的な集い③～中高年～

日蓮宗には専任布教師と常任布教師がいます。ただ、こういった人か、内容はどうかはわかりません。布教師の紹介コーナーを作ってはいかがでしょうか。名前、写真、履歴、得意分野等の情報を、教師間で共有できれば、法話を頼む時の参考になります。

ただ、法話会の単独での開催が難しいお寺は、宗務所等に頼んで、2,3ヶ寺をまとめる必要があります。ここで重要なことは、必ずお寺で開催することです。

宗教的な集い④～一般～

宗教離れの昨今、家族が亡くなって初めてお寺（僧侶）とコンタクトする人もいます。そういった時は、葬儀社からの紹介であったり、親類・知人のクチコミなどが主な理由です。しかし、お布施が安くて済むとか、家から近いなど、あまりに安易な理由でそのお寺の檀家になるのは、一生懸命布教に努めている者にとっては、拍子抜けする状況です。もっと真剣に選んでほしいと思いますが、一方で情報が足りないというのは、こちらの落ち度かもしれません。

こういったことを踏まえて、詳細な寺院情報を宗務院のホームページに載せることを提案いたします。結婚相談所のマッチングシステムやホテル検索システムの寺院版です。既に、名前や場所、写真の情報は入手できますが、それ以上の情報が入りません。ホームページに接続して、地域を選び、写真や歴史、活動内容、僧侶のプロフィール等から勘案して、選んでもらうシステムです。現在お寺によっては、リンクしているところもありますが、もっと大規模に統一された寺院紹介が必要です。安易に檀家になって後悔されたり、名ばかりの檀家になられるより、自分で選んで檀信徒になった場合、お寺への貢献は高いと思われます。

それ以外の集い①～高齢者～

- 高齢者の特徴
- ・時間に余裕がある
 - ・長年培ってきた得意なものがある
 - ・一線の仕事から退いているため、役立っているという実感に乏しい
 - ・所属しているものが少ないと、世間との交流が少ない

が上げられます。上記の僧侶の特徴の所で住民を知っていると書きました。檀信徒が主であっても、誰がどんな仕事をしていたとか、何の免許を持っているとか、あるいはどんな家に住んでいるとか、誰と住んでいるとか、子供はどんな人と結婚したとかかなりの個人情報を持っています。住民も信頼しているからこそいろいろな話をします。それを生かして、お寺或いは地域のお知らせ（ネット含む）上に掲示板を提示してはいかがでしょうか。

ボランティア募集以外でも、町内の小さな文化センターとして掲示板で募集もできます。お寺という場所柄多くの人が利用できるのも、各種教室も開催できます。一般的には華道、茶道、書道、コーラス等が考えられますが、あくまで茶飲み話の延長のような雰囲気、仰々しくない形でそれぞれが得意なものを教えあうというスタイルであれば、気後れせずに参加できると思われます。その道を極めるのではなく、少しずつかじるという形にし、先週は時事問題の講座で、今週は野菜の育て方、来週は法話（時々入れる）などなど、町のそれぞれの達人による教室であればいろいろな人が責任を持って教えられ、他方受講者も飽きることもなく、また趣味の分野で新たな発見があったり、お寺に来る理由となります。地域の達人名簿を作り、交流を深められればと思います。

年齢ごとに対象を分けてお寺を舞台とした活動を提案		48才	女性
NO.104	P4	勉強会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／相談窓口／情報発信	
			⇒ジャンルへ

それ以外の集い②～小中学生とその親～

小中学生は、お寺とほとんど縁がありません。葬式は葬儀社で、お墓は郊外の霊園だったりすると、お寺に足を踏み入れたこともないかもしれません。まずは地域の学校と掛け合って、社会や生活等の教科の中でお寺を見学させて、地域の歴史や文化について僧侶に話してもらいます。お寺の存在を認識させることが先決です。その上で、上記の掲示板に告知して、放課後の子供の勉強場所や遊び場所としてお寺を開放します。子供が参加できる伝統行事への参加を促すため、親に役割を持たせます。小さなものでいいから必ず何かの役をつけます。何もないと興味が湧かず参加しない場合もありますが、役割を与えることにより、そのなかで真面目にやりとげる特性を日本人は持っています。子供がいることにより、親が姿を見せ、親が来ると子供は引きずられて来ます。若い世代がお寺にすることが重要です。

それ以外の集い③～一般～

人が義務でもないのに行くところは、大きく分けて食べる所と買い物する所、趣味の場所です。他方、お寺は広い敷地（駐車場）があり、建物も大きい。デフレやエネルギー問題、地球環境のことも考え、節約の意識に拍車がかかっています。そこで、お寺で蚤の市を開くことを提案します。大掛かりなものではなく、周辺地域を対象にしたものです。学校でもバザーはありますが、出品内容が限られていますし、基本的に無料で提出しなければなりません。小学生の子供がいない家では関係もなくなります。

翻って高齢者の家は、長年住み続けていればいるほど、不用品や大きい家具であふれかえっています。断捨離という言葉も数年前から聞かれ、高齢者でなくても身の回りを整理して、シンプルな生活を求めています。地域のお寺で蚤の市を開くのなら、出品してもよいとかがえるのではないのでしょうか。

売り手も住民、買い手も住民です。お寺は場所を提供し、仕組みづくりをし、アドバイスします。テーマ別に開催し、例えば春は大型家具、夏は洋服、秋は手作り品、冬は贈答品など。大型家具は運ぶのが大変なので写真やサイズを表示し、興味があれば家に見に来てもらうなど近所ならではのことができます。逆に、欲しい物を提示し、買い物客に売ってもらうこともできます。具体的に提示されると家の中の死蔵品を思い出すものです。物々交換の可能性もあります。

お寺としても、飲食物は衛生法上ダメかもしれませんが、問題なければ、冬に限って、お寺の檀信徒に手伝ってもらい、火を通したもの（スープ類）やお菓子、コーヒー等を有料で提供してもいいかもしれません。敷地内での開催はトイレ使用などで電気代や水道代がかかりますので、有料無料あるいはお布施でなどは、そのお寺ごとに考えて頂ければとかがえます。

地域住民同士の関係が疎遠になりがちな今、
お寺をコミュニティの場として利用し、
地域住民同士の交流を深める。
そのために2ヶ月に一度お寺の日を作り、
餅つき大会や花火大会等のイベントを開催する。
イベントを通して地域住民の交流を深め、
人と人のつながりの大切さを再認識する。

お寺を活かした つながる暮らし

"つながる暮らし"とは

地域住民同士の関係が疎遠になりがちな今、
お寺をコミュニティの場として利用し、
地域住民同士の交流を深める。
そのために2ヶ月に一度お寺の日を作り、
餅つき大会や花火大会等のイベントを開催する。

回覧板やイベントスケジュールのチラシを作ったり、地域の町内会等に協力を求め、地域住民に向けてイベントの告知をする。子供を中心とした幅広い年齢の人に集まりやすいイベントにし、お寺の存在を身近なものにする。最近近所付き合いが疎遠になっている地域が増えていて、近くに住んでいるのにあいさつをした事が無かったり、どんな人が近くに住んでいるのかも分からない人が多い。これを機に地域住民の交流を深め、人と人のつながりの大切さを再認識する。

タイトルについて

"つながる暮らし"という優しく安心感のある言葉を使い、お寺の持つ"教養が高い""ゆい場所"など、良いイメージを少しでも増した。

いもちがつ

1月 餅つき体験

今の子供(大人も含めて)は餅つきをほとんどした事が無いと思うので、みんなで餅つきを体験して盛り上がる。自分たちでついた餅を食べながら住民同士のコミュニケーションを図る。

いこがつ

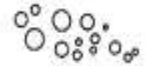
5月 和の空間でお茶を飲もう

最近の住宅は和室がなかったり、和の空間に行く機会が少ない。そこで、お寺の一堂で和菓子を食べ、お茶を飲めるようにする。日常の生活では味わえない和の空間で楽しくお茶を飲める場所を提供する。

いこがつ

9月 むかしの遊びを体験しよう

カルタ・ペーゴマ・手回し外れではあるが利用など。今の子供たちがあまりしなくなった遊びを体験してもらう。遊び方は地域の大人の大人たちに教えてもらう。大人も子供の頃に買った気持ちで一嬉に子供たちとふれあいがた遊ぶ事ができる。



いさんがつ

3月 地元の人にこあいさつ

学校を卒業したり、新社会人に向けて準備をしたりする年度末。地域住民で集まって近況を報告したり、"ありがとう""これからもよろしくね"など日頃の感謝の気持ちを気軽に言い合えるような場を作る。お茶やお菓子を提供し、お酒も有料で提供する。

いひちがつ

7月 フチ花火大会

夏の季節に花火大会を行う。打ち上げ花火ではなく手持ち花火を中心に行う事。地域住民のコミュニケーションをとりやすくする。打ち上げ花火に比べ、花火のコストも下げることができる。

いとしの月

11月 地元の歴史に詳しくなるう

以外と知らない地元の歴史。地元の武将や起こった戦の経緯や、"30年前この辺は田んぼだった"など少し前の歴史など、写真がある人は持って来てもらう。地域の住民にもっと地元を知ってもらい、愛着をもってもらう。

気軽に参加をしてもらえようとする。

親が自分の子供を連れて公園に行くような感じで参加できるようにする。

イベントに参加した子供が大人になったときに、

自分の子供を連れてまたお寺に来たくなるようなサイクルをつくる。

イベントを通して地域住民の交流を深め、人と人の繋がりを大切にする。

お寺でレコード・コミュニケーション		31 才	男性
NO.109	P1	同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

タイトル

『お寺でレコード・コミュニケーション』

タイトル：『お寺でレコード・コミュニケーション』

概要：お寺の本堂（もしくは準する家屋）で、アナログレコード&お坊さんのお話を聴きながら、温かみ、癒し、発見や気づき、などを通じて参加者で交流を深めるイベント。



はじめに：

お寺は元来、地域住民の交流の場として活用されていた。現在でも多くのお寺で、檀家による交流会やテーマを決めた座談会などが行われているようである。しかし、閉鎖的で不透明な印象が根強く残っているお寺には、菩提寺を持たない世帯や若い世代にとっては街中の景観の一つに過ぎず、「法事で行くところ」「初詣に行くところ」といった、いわば“年中行事で訪れるところ”という程度の印象しか持たないと私は考えている。



一方、漠然とした不安を抱えたり、生死について考える機会が増えたという現代人が、昨今お寺を訪問し始めている、というニュースを見かけるようになった。これは震災の影響もあるだろうが、お寺が現代ストレス社会の受け皿になっているという顕著な例だと考える。インターネットや携帯端末により、「ネットワーク＝つながり」という社会的機能が成熟したと思えるが、デジタル機器の席卷する情報社会が、現代人に更なるストレスを呼び起こしていると言っても過言ではない。このまさに「現代社会の病症」と言える社会問題対策にお寺を有効活用できないか、「アナログでつながる」というキーワードをもとに考えてみたい。

プログラムの詳細と発展性

プログラムの詳細：



ポータブル・レコードプレーヤーとスピーカーによるサウンドセットで、～30人規模に対応する設備を用意する。

癒し効果のある音響、記憶を呼び起こすような曲、レコードの音、レコードをかける作業、に耽れてもらう。音、匂い、視覚、触覚、（味覚はプログラム次第ですが）、五感を刺激しながら、ふれあいを通じて「生きている」ということを感じる。

プログラム中には参加者の感じたこと（思い出、体験、現代の生きづらさなど）をお坊さんとともに語り合う。

時間は45～90分程度

レコードを聴きに行ってみよう！

レコードプレーヤーと
スピーカーを用いた様子
（高齢者施設にて）



プログラムの発展性：

プログラムの良さに共感し、地域性のある血の通ったつながりが生まれると、家に眠っているもの（ここではレコード）が活躍の場を与えられることになり、社会的なつながりから遮断された人々や、高齢者の生きがいを生みだすことができる。

社会的自己肯定感を得た人々は、お寺を拠点としたDJ（ファシリテーター）となり、つながりを強く、根深く、広く伝えるものと成り得る。

他の人にも教えたい！



必要とされて嬉しい！

テラ+ママ＝地域が元気に！		35 才	女性
NO.110	P1	修行／真剣な話し合い／境内・伽藍の開放／体験型イベント	
			⇒ジャンルへ

<タイトル>

テラ+ママ＝地域が元気に！-ママは美しく、家族は元気に。お寺の地域応援プログラム-

<概要>

お寺には本来の法務だけでなく少なくとも二つの資源があります。本堂と境内という非日常的かつ魅力的な空間。そして僧侶がもつ檀家さんをはじめ様々な知恵や経験、職能をもつ地域の人々とのつながりです。その空間資源と人的資源を開いていくことで、地域に住まう人々を元気にできると考えます。その糸口は地域に住むママたち。お寺にママが関わることでその背景にあるパパや子供など家族が関わるきっかけとなります。そしてそのお寺は地域とつながる窓口。ママとお寺のパワーで日本の家族と地域を元気にしましょう。

テラ+ママ＝地域が元気に！-ママは美しく、家族は元気に。お寺の地域応援プログラム-

お寺には本来の法務だけでなく少なくとも二つの資源があります。本堂と境内という非日常的かつ魅力的な空間。そして僧侶がもつ檀家さんをはじめ様々な知恵や経験、職能をもつ地域の人々とのつながりです。その空間資源と人的資源を開いていくことで、地域に住まう人々を元気にできると考えます。その糸口は地域に住むママたち。ママがお寺に関わることで、パパや子供など家族、さらには背後にある地域もお寺と関わるきっかけが生まれます。ママはお寺と地域をつなげる窓口。ママとお寺のパワーで日本の家族と地域を元気にしましょう。

作戦その壱 ママをお寺に引っ張り出す

健美プログラム-自分の内側を見つめ心身共にリセットしよう-

東日本大震災以降、自分、家族、地域の存在やそのあり方を問い直す人が増えている中、子育て期の母親はそんな機会になかなか恵まれません。さらに核家族化がすすみ子育てに疲れても共有したり助けたりしてくれる人が身近におらず孤立感や閉塞感すら感じているのです。そこでコンビニよりたくさんあるといわれるお寺がママたちの思いを受け止める受け皿になるとすれば・・・

日頃の家事育児から解放され心身共にリセットすることで、本来の自分を取り戻しながらさらに健康に美しくなるママ。その機会と空間をお寺は提供します。

<内容>

- ① 瞑想：僧侶指導のもと座禅をくみ内なる自分を見つめる
- ② ヨガ：講師を招き自分の身体と対話をしながら身体を動かす
- ③ ランチ：境内の菜園でとれた無農薬野菜を使ったマクロビオティック

マクロビオティック＝正食は、日本に古くから伝わる食養生。今「食育」として注目されている石塚左玄の考えを引き継ぎ、さらに東洋の深い知恵「易」の原理を加え、桜沢如一氏が「無双原理」として確立、世界に広めた新しい生活法です。最近海外からの密輸入で、言葉としては「マクロビオティック」として知られるようになりましたが、その根底には「玄米正食」という自然に則した食事法があります。「マクロ」は大きなとか全体的なことを意味し、「バイオ」とはいのちのことです。「ティック」は柄や字を取ります。つまり「生命（いのち）を大きな視点で捉え、自然のリズムの中で自分を生かす生活法」です。玄米はもちろん、日本でも、生活に取り入れる人が多くなってきました。（引用：正食協会HP）



←マクロビオティックランチのメニュー例

- ・ふゆ野菜がんと
- ・大根とこんにゃくのきんぴら
- ・にんじんスープ カブチーノ風
- ・しゃきしゃき有機野菜サラダ
- ・かぶらの一夜漬け
- ・厚布の佃煮
- ・もっちり玄米

（引用：Mecco Café ブログ）



作戦その貳 パパと子供をお寺に引っ張り出す

楽学保育プログラムー子供と共に学ぼうー

健美プログラムに参加するママたちだけでなく、パパや子供も参加できるプログラム。
ママがキレイになっている間に、ぼくもわたしも楽しく学ぼう！

<内容>

① 食育：植家さん等で菜園づくりの得意な人の助けを借り、境内の一部などお寺の所有する土地を菜園として活用し、保育中の子供とともに野菜やお米を育てます。また収穫した野菜やお米を使って調理を行い子供にお寺の食文化を伝えましょう。ちなみにこの食材は母親が食べるマクロビオティックランチにも使用します。この料理のレシピは地域に情報発信しましょう。

② 日本の伝統建築に触れる：普段触れることの少なくなった日本の伝統建築。その代表格であるお寺の本堂の維持管理（ほごりはらい、床掃除、障子張り、季節のしつらえ等）のお手伝いを行い、お寺と自分自身との新たなつながりを構築、再認識します。お寺、ひいては地域への愛着心を育てることにつながるでしょう。また建物や庭の維持管理を行う職人の仕事を見学したりお手伝いすることで、職人の伝統技術に触れる機会ともなります。



作戦その参 ママと家族がお寺と地域をつなげる

お祭り開催プログラムー地域とのつながりを確認しようー

健美プログラム参加を軸に家族でお寺に関わった集大成として、お祭りを開催しましょう。

<内容>

① フードフェス

食育プログラムで収穫した野菜と、その野菜を使った料理のレシピを多くの地域の人々に知ってもらいお寺の取り組みを広く知ってもらうきっかけにしましょう。

② 野外ヨガフェス

日頃お手入れのお手伝いをしているお寺の境内で野外ヨガを行います。澄み渡る空気にふれながら家族みんなでヨガを体験し家族のつながり、地域とのつながりを実感しましょう。

③ デザインフェス

地域の絆を象徴したデザインの法被や手ぬぐいなどを作成しお祭りで着用。デザインを通して新たな地域と自分との関係性を可視化しましょう。

僧は寺なり			39 才	男性
NO.116	P1	真剣な話し合い／僧侶が必須		
				⇒ジャンルへ

僧は寺なり 「お寺を舞台にした地域やコミュニティの活性化〈案〉

<p>● お寺のイメージ</p> <p>お寺とは・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏教の施設 ・ お坊さんのいるところ ・ お墓があるところ ・ お経 ・ 初詣 <p>このようなイメージが強いかも知れません</p> <p>ただ現代社会においては</p> <p>非日常的存在になってしまっている</p> <p>[1]</p>	<p>● お寺との関わり</p> <p>その昔、まだ時計が一般に無いころは お寺の鐘が時を告げていた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝は散歩でお寺に行き ・ 子供は境内で遊んだり ・ 住職は子供の名付け親 ・ お盆にはお坊さんが来た ・ 困った時の相談相手 <p>お寺は、生活の中にあり お坊さんは身近な存在であった</p> <p>[2]</p>
<p>● 社会環境の変化</p> <p>科学の発達で人・物の移動が活発化 資本主義経済の発達と成果主義 核家族化</p> <p>社会の環境は変化し人の考え方は変わった。</p> <p>思考は より科学的に、より現実的に。</p> <p>[3]</p>	<p>● 非日常的から日常的存在へ</p> <p>お寺は 現代社会にあったカタチで人々の生活に寄り添うことで 日常的存在になる。</p> <p>開かれた寺（僧） 檀家・信者ではなくても参加できる 地域に縛られない</p> <p>距離を超えた人との繋がりが重要</p> <p>[4]</p>
<p>● お寺としての地域活性化活動</p> <p>普段のお寺としての仏教活動</p> <p>特段奇抜な活動は必要なし</p> <p>ただし 活動の仕方として 教えを説くことと 求めていること を与える</p> <p>人々により寄り添う寺（僧）が必要</p> <p>[5]</p>	<p>● 宗教は求められている</p> <p>現代人もこころの拠りどころを求めている 神仏を信じてはいないが 感じてはいる人も 家族の健康・幸せと先祖供養 etc</p> <p>新興宗教を拠りどころにする人も多い。 「教団が低く」・「判り易い」・「仲間が出来る」</p> <p>求めている</p> <p>◆今こそお寺（僧）が実践する時！！ 巧説蘭法 言辭柔軟 悦可衆心</p> <p>[6]</p>

● 寺は人の集まる受け皿

現代では情報があれば地域に関係なく人は集まる
情報発信基地として寺

人の集まれる企画を立てる
参加資格なし・オープン型

地域・距離・宗旨のボーダーレス化

つまり、地域活性化の舞台として何をするかではなく
〈何か〉をどのように行っていくかが活性化に繋がる

[7]

● 各寺院が地域コミュニティと活性化していくと

全対応型のコミュニティが全国の日蓮宗寺院に出来上がる

奪い合う社会から分かち合う社会へ

感謝を忘れず足るを知る人へ

[8]

● 私が実際に参加したお寺の行事・活動

神奈川県平塚市 宗信寺

1/1 水行・初祈神会

1月 新春初祈神会

1月 法華経寺荒行堂初詣

東日本大震災支援活動

11月 七面山登詣修行

・・・ 宗信寺の行事・活動に参加してみて ・・・

色々な行事で集まっている方は、地域も関わりも様々でした。

まるでサークルのように明るい活動でした。

日々を振り返り、価値観が変わった。

[9]

● 活動の実践

重要になるのが僧の存在です。

なぜ寺が舞台でなければいけないのか・・・
仏道に精通する僧だからこそ人々に寄り添えるのです。

しかし、現代社会が抱える価値感の問題は、

僧だからこそ取組めるのではないのでしょうか！？

だからこそ、僧そのものが寺であるのです。

[10]

● まとめ

お寺を舞台に地域を活性化させる場合、やはりそこにいる人達を
どう巻き込むかが重要になってきます。

どんな企画であっても、行う人によって結果は変わってきます。

であれば、人を元気にする受け皿をつくることで、活動するエネルギーを
作り出すことができるのではと考えました。

無心でお題目を唱えることで前向きな考え方に仕事に前向きになるかも
知れない。お墓参りに行くことで、感謝をし、人にやさしくなれるかも
知れない。

その1つ1つが地域を豊かにしていくと思います。

仏の教えを実践する僧だからこそ、その核となりえるのです。

私は、そう感じました。

街の寺子屋		20 才	女性
NO.117	P1	交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

現代社会において、「お寺」や「お坊さん」という存在が徐々に必要とされなくなってきている。私達が「お坊さん」に会うときと言えば、お葬式の時などにお経お唱えてもらうくらいの関係だと感じる。その印象というのは、人々の心がお寺から離れていってしまっていることの現れだろう。

『「お寺」をより身近に。昔のような、人と人との縁を結ぶ役割を持たせたい。』

『街の寺子屋』

コンセプト 子ども達の秘密基地として現代版の寺子屋を復活させよう

ターゲット 小学生（及び、その両親）

お寺を子ども達の秘密基地として、現代風の寺子屋を復活。毎週土曜日にお寺を子どもたちに解放し、境内で缶蹴りや鬼ごっこ、秘密基地作りなどのワークショップを行う。「ただ勉強を学ぶ」ではなく、現代の子どもがなかなか触れること・体験することのできない自然の中での遊び方や自然に触れることでの命との向き合い方を学べる環境を作ることを目指す。講師として、住職さんも勿論だが、地域のおじいちゃん・おばあちゃんを招待し、昔ながらの遊びなど教えてもらえるような仕組み作りを行う。

これを行うことにより、小さい頃から『お寺』という場所を身近に感じてもらうことができる考える。また、ターゲットが子どもということで、その繋がりから子ども達の両親もお寺との関わる機会を作ることができると共に、講師として地域住民に参加してもらうことにより『お寺』を中心としたコミュニティーを復活できるのではないだろうか考える。

PR

小学生向け：小学校に DM を送る

講師の募集：図書館、公民館で募集

1. 本企画の目的

高齢化社会が深刻な問題になっている日本の生涯未婚率が2010年には男性で20.1%、女性でも10.6%に達している。また2010年の「厚生労働白書」は、2030年時点での男性における生涯未婚率が29.5%になると推定した。少子化対策として政府が様々な政策を掲げているが、地域コミュニティでできる小さなことが少子化対策に繋がっていくと考える。そこで、お寺の有効活用として、男女の出逢いを創出する場所としての利用を提案致します。

2. 本企画の内容

お寺を出逢いの場所として合同コンパを開催する。お寺での出逢いということで真面目な人たちが集い、参加者が心身ともに穏やかになることにより、真実の愛を育むきっかけづくりを手助けする。

① 宿坊で1泊2日プラン

座禅、写経、写仏、住職の講話、精進料理教室、お寺の掃除などのプチ修行を2日間にかけて行い参加者同士の交流を深める。

② 日帰りプラン

1) 1日かけて上記の修行メニューから組み合わせて参加者同士の交流を深める。

2) 近くにある寺院を観光バスで訪ね巡り巡拝する寺めぐりツアー

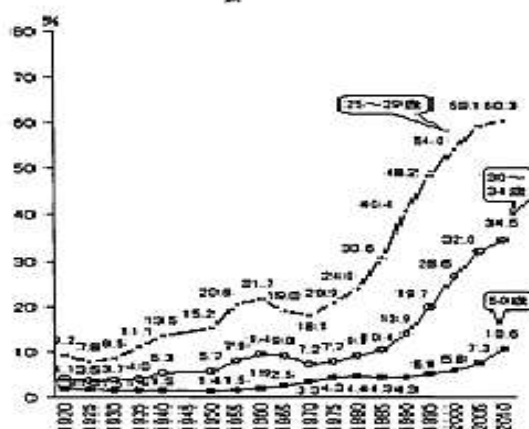
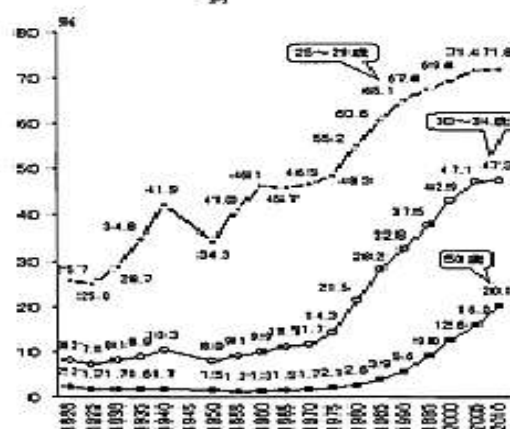
③ お寺でお食事会

精進料理でランチやディナーのお食事会を開き自分の仏教ライフスタイルの話などで盛り上がる。

Point

- ・短い時間の他所行きの姿だけでなく、普段の姿が見られる
- ・精神鍛練により、気になる人の人物像がよく見える
- ・カップルが成立して結婚まで進展したら、そのお寺で仏前式の結婚式が出来る

年齢別未婚率の推移



(注) 配偶関係未詳を有く人口に占める割合。50歳時の未婚率は「生涯未婚率」と呼ばれる(45～49歳250～54歳未婚率の平均値)。

(資料) 国勢調査 (1925年以前『日本の長期統計系列』掲載)

子供相談箱 おみくじ券 宝探し キャンプ 豆まき		不明	男性
NO.126 NO.129	P1	相談窓口／スタンプラリー／体験型イベント／芸能人／ボランティア支援	
			⇒ジャンルへ

○子供たちを笑顔にするために子供相談箱を設置。

相談したい子供が相談用紙に悩み等を書いてお坊さんがその用紙に返答を書いて掲示板に張りつけ回答するという物です。相談者は個人情報もあるので相性とか偽名で書けば掲示板に返答があれば本人だけ分かります。いたずらで書かれないように相談用紙は目の届くところにおいて相談者が確実に子供か判断します。

恋の悩みとかおもちゃを買ってもらえないとかほのぼのしてかわかい相談も来て返答するお坊さんもほのぼのしてかわかい繋がりが出来るかもしれません。お坊さんのお言葉は大人でもありがたいものですので子供にはさらにありがたいものになるはずです。

もし、いじめ等、深い内容の物があれば相談者に直に話を聞いたり家族、学校への対応を依頼したり出来ると思います。

○子供たちがお寺をレジ袋一枚分のゴミを掃除するとおみくじ券がもらえる。

おみくじも子供のお小遣いにしてはそれなりにするので。

○お寺で宝探し。

お寺の歴史をヒントにお宝にありつく。お寺の歴史の勉強に自然になります。

○お寺でキャンプ。

宿泊所はあると思いますがあえてテントをはってキャンプ。お坊さんによる怖い話を聞いた後、恐怖肝試しとか境内でプロジェクターを使ってアニメ観賞会とか企画はいろいろ考えられます。都会のお寺とか住宅街のお寺とか普段キャンプ出来ない場所でのキャンプは面白そうです。

○豆まき券。有名人と一緒に豆まきと記念撮影。ミーハーなのでこれが一番したいです。

説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P1	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他 2					
							⇒ジャンルへ

私の住んでいる東京都世田谷区の北烏山はお寺が多く、静かでとても雰囲気の良い町です。

でも、いつも横を通り過ぎるばかりで、なかなかお寺と関わることもなく、ちょっと残念な気持ちもありました。

そう感じている中、今回の様なコンクールを知り、とても興味深く感じてます。
知恵足らずかも知れませんが自分なりに真剣に考えてみました。

私自身は仏教徒ではありませんが、宗教という枠を超えて、
お寺というものにはどこことなく親近感・安心感があります。

今回の自分の案が採用に足るものかどうかは別にして、
お寺というものが身近になることは、多くの人にとってとても良い事だと思います。

近年、インターネット上での仮想的な繋がりがもてはやされていますが、
実際に人々が顔を合わせて団欒する、そんな場所・空間は今後も必須だと思います。

お寺がそのような多くの人のコミュニケーションの基点になればいいですね。

それでは

瑣末ですが、以下に案を幾つか列挙させていただきます。

□ 『お寺での講義(説法)が大学の授業の一部(単位)になる!』

お寺で住職さんの講義(説法)を大学に関連させてはどうでしょうか？

すぐに思いつくのは宗教・仏教関連の講義ですが…

例えば『文化人類学』『倫理学』や近年の生命科学と命の尊厳を論じる『バイオエシックス』
『生命倫理』などの理系の分野でも、仏教における死生観・生命観は一つの重要な視点になるのではないのでしょうか？(この部分に関してだけは、仏教というものを前面に押し出した方が好ましい気がします)

住職の方が大学に赴いて講義するのも良いかも知れませんが学生にとっては受身になってしまい真剣さが十分ではなくなるかも知れません。

むしろ、学生の方がお寺に足を運んで聴講するほうがお寺の活気にもつながるでしょうし、
聴く学生の方もより真剣に取り組み、結果、身につくのではないのでしょうか？

平日だけでなく休日にも開講できたら喜ぶ学生もいるかも知れませんね。

□ 『企業や官公庁などの新人研修サービス』

どのような組織であっても、ある程度発展してくると人材の育成は避けて通れない問題だと

説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P2	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他 2					
							⇒ジャンルへ

思います。組織によっては教育体系が整備されているケースもありますが、多くの組織では直属の上司任せという場合も多いかと思います。

上司が直にいいにくい事や会社ではやりにくい事、でもぜひ新人君たちにはぶつけておきたいこと、身につけて欲しい事をお寺で若者に教授する。

『寺が、和尚が貴社の代わりに嫌われ役になります』とかのキャッチコピーはいかがでしょう？(笑)

お寺で少しきつい目に遭えば、その後の会社での苦難にも立ち向かえる精神的な強さも身につくでしょう。

それに、そのような若者が育てば、受注先の企業・官公庁にとってだけでなく、日本全体にとって良いことなのではないでしょうか？

研修内容は仏教にあまりこだわらず、世間一般的な作法から始まり、例えば礼法など上流向けの内容を教授すべきかも知れません。その方が、研修を依頼する側も、研修を受ける若者にとっても受け入れやすいと思います。

世の中には富士山の麓で受講者に、ただただ精神的な苦痛を与えて、そこからの開放感を枷にして5万/日という非常識な研修も多く世には存在します。そのような営利研修よりも、本当に若者を育成できる機関が台頭すべきだと強く感じています。

寺院はそれを担えるでしょうか…？

私は期待しております。

□ 『お寺で合コン（お見合い会）』

不謹慎かも知れなくてすみません。

でも…

お寺が真面目な出会いを求めている人達の出会いの場にならないか？

→ちょっとありかも知れないと思っています。

一般的な合コンのノリはついていけないのもっと落ち着いた感じがいいな、という多くの悩める人々に好適だと思います。

世の合コンは大抵、どこかの飲み屋かバーで、基本喧騒にまみれています。

単に目立つだけの人が勝つ場合も多いです。

一方、そのような中では自分本来の魅力を発揮できない方も多いのではないかと思います。そのような中、寺院の落ち着いた雰囲気や男女が互いの伴侶を真剣に探し求めるのはとても素敵ではないでしょうか？

単に出会い場や飲食を提供するに留まらず、合い間合い間に、今一歩踏み出せない人への和尚さんがフォローに入ってみるとかも？

お寺なら、縁起も良さそうですね。

単に飲食をして会話を楽しむというスタイルでは差別化も図りにくいし、お寺では限界があるかもしれないので…

精進料理を参加者の男女が共同で作る、とかどうでしょうか？

それだけでなく、一緒に境内の掃除等の共同作業を設けてみるなど『共同作業』というキーワードで、色々具体的な事は膨らませそうです。

世の男女は出会いに悩んでいます。

最近では多くの出会い系サービス、婚活サイトが増していますがそれだけ、要望があるとい

説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P3	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他 2					
							⇒ジャンルへ

うことなのでしょう。

ぜひお寺のポテンシャルを活かして、一組でも多くの男女を幸せな縁に導いて下さい。

□ 『お寺で怪談会！！』

(またまた不謹慎ですみません)

しかし、これは怖い！ まじで怖いです！

臨場感は最大級です。そのインパクトは絶大です。

設備投資が少なくて済むのが他の案より優れていると思います。

一般参加だけでなく、親子会談会とかターゲット層を分けて種々の時間帯で設けてもいいかも知れませんね。

ともし火は蠟燭がいいと思います(防災上の課題をクリアした上で)。

不謹慎さへの懸念は会談の内容を精査することで解決出来ると思います。

□ 『お寺で修行』

この『修行』というのは仏門に関するものを一般の人が体験、というのではないです。

武術です。

座禅などの精神的なものも良いのですが…

お寺の僧侶さんは屈強なイメージがありますよね(有名なのは弁慶)。

歴史的な経緯はよく知らないのですが、寺院には武術の素養も要求されたこともあるのではないのでしょうか？

もしそうなのであれば…街の道場で習うのもいいけど、もし可能ならお寺で習いたい。

お寺で習えれば生徒も、より荘厳な気持ちになれる筈です。

これが自尊心にも繋がり、実際の修練の結果にもつながると思います。

個人的には徒手武術だけでなく、棒術・槍術を習いたいですね。

少年部なら平日の夕方など、お寺なら親御さんも子供の健全な成長を信じる事が出来、安心にして任せてくれるでしょうし、社会人も土日はお寺で武道、とうのは、やや世間を離れた気風も出て良いのではないのでしょうか？

行く行くは、お寺同士の対抗武術大会だなんて素敵だと思います。

話題性も十二分です。

少林寺だけに武術寺院の地位を任せなくてもいいのではないのでしょうか。

日本人の中にも、寺院で習う拳法・武術に憧れる男は多いのでは。

□ 『お寺で団欒な年越し』

年越し、お蕎麦をみなで(勿論、見知らぬ人同士でも)囲みながら団欒出来たらいいですね。

お寺の中で団をとりながらみんなで和尚さんのお話をききながら、間近で除夜の鐘を聴く。

そのお寺ならではの蕎麦とか、鍋料理とかを出せばもっとお客さん喜ぶはず。

ただ、テレビ番組が観られないのが寂しいと思う人多いかも知れないので、テレビをみんなで見ながら、という部屋を別に用意する必要があるかも知れませんね。

雰囲気としてはこれが一番いい感じだと思います。

育児ママサークルでお寺を活性化		37 才	女性
NO.131	P1	真剣な話し合い	
			⇒ジャンルへ

はじめまして、

現在 6 カ月の男の子を持つ新米ママです。

OL 時代はよく寺社好き仲間と、あちこちの寺社仏閣を巡り宿坊に泊まり、座禅や写経を体験させていただきました。

しかし、結婚して妊娠が分かってからもう 1 年以上
安産祈願や初詣には行ったものの
お寺でゆったりした時間を過ごすことはなくなりました・・・。

子育てママに対する世間の目は冷たく、
お洒落なカフェやショップはもちろん、
公共交通機関に乗るのさえ躊躇われます。

ましてや、乳幼児連れでお寺なんて・・・
とても敷居が高くなってしまい、もうヘタしたら 10 年くらい行けないかも。
と、半分諦めております。

そこで、
お寺さんの方から、

「どうぞ、いらっしゃい」
と、声をかけて頂けたら。

また、香の香りに包まれながら
法話を聞いたり、美しい仏像を眺めたり、
子供と一緒に、静かに自分と向き合う時間が持てるかも。

とても期待しています。

育児ママサークルでお寺を活性化		37 才	女性
NO.131	P2	真剣な話し合い	
			⇒ジャンルへ

概要としては

＜地域の育児ママが集まり、情報交換したり、雑談したり。
時にはお寺らしいイベントも＞

・お寺さんのメリット

境内に子供達の笑顔が溢れ、子供パワーで活性化！

・ママのメリット

育児ストレス解消！

ママサークルに場所を提供して欲しい！

・子供のメリット

広い境内で遊べる！

家族以外の人と触れ合える！

幼い頃から静謐な空気を体験できる！

育児のことなんて分からない。

地域のママサークルって？？

という時は、民生委員や保健所と相談すると良いでしょう。

ただお喋りするだけで十分。

ひょっとしたら、ベビーヨガ。歌やダンスもしてみたり。

ちょっと大きくなったら、座禅や法話も。

ぜひぜひ地域の皆さんとの交流に、お役立てください。

年寄りと子供	健康レシピ	命の教室	62 才	男性
NO.132	P1	勉強会		
				⇒ジャンルへ

現代社会は、核家族化が進みお年寄りから子供が遊びや、モラル等学ぶ機会が少なくなりました。そこで、下記のお寺の活用法を提案します。

①お年寄りと子供のコミュニケーションの場を提案。

月に一度お年寄りが、子供達に、昔から伝わる遊びを教え、子供達にコンピューターゲームとは違う、アナログの楽しさや、友達との絆を深める。そして、同時にその地域の文化を学んでもらう。

②地域健康レシピの提案。

お寺の精進料理と健康に良い現代料理のコラボで、栄養士さんの力を借りて地域の食材を使い、その地域のお母さんと子供達に対して、お寺で健康料理教室を開く。

③親子で学ぶ命の大切さ教室。

最近では、法事以外では聞けない、住職の法話を親子で聞く機会をつくり、命の大切さや、ご先祖様の有り難みを知り、命の大切さや、尊さを親子で学ぶ機会を設ける。

以上の内容を実施する事で、お寺と地域住民との距離感を縮める結果になり、お寺の存在価値を上げる。

枯れ木に花を咲かせましょう		22 才	男性
NO.134	P1	交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

今回、お寺を使つての地域社会への貢献ということで、私は地域の人に参加してもらえる地域参加型の企画を考えました。

それは枯れ木に折り紙で花をつけていってもらい、最終的には枯れ木が満開になるというものです。

①まず、地域住民に折り紙or画用紙を配ります。
(お寺にも参拝者が作れるように設置しておく)

②その折り紙を思いのまま折ってもらいます。
(作るのは、なんでもいいです)

③それをお寺に持って来ていただき、木に貼り付けるor糸で吊るします。
(地域の人にも吊るして頂けるよう協力を求めれば楽しめると思います。)

④そうすれば枯れ木に折り紙の花が咲きます。
(作るものを統一しないからこそ、皆の思いのこもった十人十色の一つだけの花ができます。)

折り紙は数が多ければ多いほど素敵なものになるかと。

※満開にするには時間がかかり、これは長期的にやる必要があります。

※その間、雨が降ることも考えられるので雨よけは必要です。

※又、枯れ木がない場合には買ってきた木でもいいと思います。(葉がついていてもいい。)

例えば、クリスマスツリーを買い、そこに折り紙を吊るせば、リンゴの木のようなイメージになりますよね。

そうすれば、実を着けるというコンセプトでもできます。

お寺で婚カツ		48 才	男性
NO.139	P1	交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

民間の業者が営利目的のためだけに合コンセットなどやっているが、お寺のあいているスペースを使い、集団お見合いみたいな物をやってみたらどうか？

檀家の人だけでなく、一般の独身者を対象に一対一のお見合いから、1人かグループ参加で4対4位迄までの合コン型式の企画など、場所と椅子、机は、寺の所有物を使い、飲食物は各参加者持参にしたらどうか！

なるべく金額的には安く、なるべく四〇代以上の人達を対象にしてみたらどうか？

葬儀などで使う仕出しややケータリング、ほかほか弁当やなどを食べ物関係で使うといいと思います。

ふれあいの場	合コンの場	サークルの活動場所	不明	女性
NO.143	P1	同じ趣味の会／交流が目的の会／境内・伽藍の開放		⇒ジャンルへ

「年配者と子供のふれあいの場」

最近、ゲームなどで遊ぶ子がおおく、昔の遊びが廃れている。
 そこで、お手玉やおはじき、ビー玉や面子などを年配者が子供に教えるという形
 をとりながら
 ふれあえる場所にできるといいと思います。

「合コンの場」

今、結婚できない男女が増えています。そこで、結婚したい男女が
 お寺にあつまっておしゃべりする場にするといいと思います。

「サークルの活動場所」

習い事を公民館でやる人が増えてます。
 それを、お寺でお寺独自の習い事(仏像についてとか、仏教とは?)とかをおこ
 なう。

素食シェアリング 絵葉書交換		24 才	女性
NO.145	P1	交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

1. 素食シェアリング（お寺の近所の住民が一つの素食料理を支度したあと、お寺に集まって、交換試食します。この間、交流が自然に展開し、人と人がつながっている。）
2. 絵葉書交換（近所のお寺についての写真や絵で絵葉書を作って、お寺が収集して、別の町に郵送します。プライバシーのことが考えなら、匿名ほうがいい。人が撮って写真、自分で描いた絵、心からの言葉は最も大事なものだと思いますから。）

子供と地域の住民の交流の場 伝統芸能のワークショップ		40 才	女性
NO.147	P1	同じ趣味の会／交流が目的の会／体験型イベント	
			⇒ジャンルへ

① **その壺** 放課後や週末の 子供と地域の住民の交流の場
昔の行事 や 遊び(囲碁 将棋 オセロ カルタ等)
絵本よみきかせ 等の 寺子屋 的な 場にする。

その貳 伝統芸能 のワークショップ
お寺で、狂言 仕舞 小鼓 笛
お茶 お花 香堂 友禅 等
日本古来の芸能を学べる場にする。

その集大成で発表会っていうのもいいかも！

地域のつながり 文化のつながり 「和」をつなぐお寺であってほしい。

お寺で朝読書！		48 才	女性
NO.148	P1	同じ趣味の会／本格経営	
			⇒ジャンルへ

タイトル「お寺で朝読書！」

アイデアの概要:朝(6時半ごろから9時ごろまで)の時間帯をお寺の本堂や境内の一部を近所の人に開放して、通勤・通学前や、朝のウォーキングの途中に立ち寄って読書をする空間を提供する。

セルフサービスのコーヒーや紅茶、お茶類のティパックもおき、実費程度の費用で利用可能にする。

お寺はうちの近所にも点在していますが、なかなか足を踏み入れる機会はありません。

まずは、老若男女が気軽に立ち寄れるところになればいいな、と思います。

最近、小中学校を中心に朝に読書タイムを設けている学校も多いですし、ビジネスマンでも朝に習い事をしたり勉強会をしたりと、朝の時間を有効活用している人が増えています。お寺は静かに心を落ちつけられる場の雰囲気がありますから、読書にも快適な場になると思います。家の近くで、会社の近くで、学校の近くで、と身近なところになじみのお寺ができて、落ち着いて自他に思いをはせ、毎日を大切に生きられるといいなあ、と思います。

文化講座の開設		46 才	女性
NO.150	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

○アイデア:お寺といえば…畳の手入れ・障子の貼り方・掃除が行き届いている！御香の使いかたを知っている！
気持ちよく過ごす・空気を凜とさせるスーパーマンの集まりと思います。

とそこで…そういったことを教える講座を開いてみてはいかがでしょう？
畳にまつわる話などを交えながら、お坊さんを身近に感じてもらう→相続などの話になる→お墓に入るまで責任をもつ成年相続人としての活躍の道もあるかと思います。

仏前ブライダル		コンサート	カルチャースクール	ぷち修行	34 才	女性
NO.151	P1	勉強会／セレモニー／芸能人				
						⇒ジャンルへ

★仏前ブライダル!!!

知人がお寺で結婚式を挙げました。お寺と
いうと白黒、お葬式というイメージがありますが、この時は紅白で、おめでとう！という祝福の言葉が飛び交い、笑顔、賑や
かな雰囲気にお寺が包まれていました。
紅白の幕とお寺とがとても新鮮でした。
お葬式や暗いイメージを持っている人は多いと思います。結婚式などお祝い事ができることを知らない人が多いと思います。
それがもったいなく思います。

今、人と違うことがしたい、変わったことがしたいと思う人が多いので、寺院での結婚式はもっと人気が出ることと思います。

★コンサート

京都でお寺が開催した、お月見会に参加しました。住職のお話、お弁当、ハーブのコンサートがありました。
コンサートホールよりも落ち着きとても良かったです。住職のお話も良かったです。

★カルチャースクール

日本伝統に触れる教室
書道、お琴、俳句など。

★ぶち修行 大人向け寺子屋

子供たちには夏休みに寺子屋というのがありますが、大人向けの1泊2日の寺子屋があれば参加してみたいと思っていま
した。

家系図を作ろう		76 才	男性
NO.152	P1	同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

アイディアの概要

私の母親は40年前に亡くなっているが、鳥取県名和町の出身で、
 当時は村の唯一の菩提寺である長網寺に林原家の過去精霊簿がありました。
 母は三姉妹の長女でしたが嫁に出たため、次男である私が林原家を継ぎました。

その過去精霊簿には天保3年(1832年)に亡くなった見屋と云う人が当家の先祖である事が書いてありました。

そうして自分の家系図が出来ると自分の命がこうやって続いてきたのかと分かりました。自然と先祖を大切にし、お彼岸や盆暮れにお墓参りをする自分に

気が付き、子供や孫も自然にお墓参りをするようになりました。

わが国には77000ものお寺があると聞きました。このお寺がこれからの地域の人の過去帳を作り我が家の家系図を作る事をお勧めします。

お寺合コン お寺女子会 寺カフェ 座禅会			27 才	女性
NO.154	P1	修行／交流が目的の会／会場提供／相談窓口／本格経営		
				⇒ジャンルへ

①お寺合コン【寺コン～寺婚へ】

- ・独身のお坊さんが増えている。
- ・独身女性の中にはお坊さんと出会いたい人が結構いる。
- ・普通に生活をしているとお坊さんと出会う機会がない。
- ・普通の婚活パーティーでお坊さんがいると驚くが、寺コンなら、お坊さんと付き合うのがOKな女性が来るので先に繋がりがやすい。
- ・お坊さんの婚活の場を広げる。
- ・世の中のお坊さんと出会いたい女性の出会いの場を広げる。
- ・普段なかなか接する機会のないお寺のことについても触れる場があると、付き合ったり、結婚を意識する上では、将来を描きやすい。

※私は、お坊さんが素敵だと思うし、お寺に嫁ぐのもいいかなと思うので、そういう方と出会えるなら、出会いたいと思っています。
しかし、普通に生活しているとお坊さんと出会う機会がないので、こういう場があるとうれしいです。

②お寺女子会

- ・女子会ブームの今、お寺を開放して、女子会の会場にする。
- ・精進料理を食べながら、いつもの女子会とは違って、静かにしっかりと女子会をする。
- ・普段接することのないお寺の様子を知らせることができる。
- ・女子会の中では、よく恋バナなどがメインになるが、そういった悩みなどをお坊さんに相談し、仏教の導きなどを踏まえ、解決方法を見出したり、話を聞いてもらう。

③寺カフェ

- ・おしゃれカフェが増える中で、いつもとはちょっと違ったカフェタイムを過ごしたい。
- ・お寺でカフェをすることで、お寺の様子を知ることができる。
- ・寺カフェしながら、お坊さんと仏教の話や世間話をする。
(複数よりも1人での来店の方が望ましいかも)
- ・普段の生活に疲れたりしたときに、ホッとする癒しの場として寺カフェを提供。

④座禅会

- ・座禅をしてみたいと思っている人たちに気軽に来てもらえる座禅会をひらく。
- ・座禅をした後は、仏教についてお坊さんから話を聞いたり、精進料理を食べたりして仏教に触れる場を提供。
私は仏教に興味があります。
しかしながら、なかなか仏教に触れる機会もないし、お寺に足を運ぶのも、通常では気軽には行けない。
こういった状況を踏まえながら、気軽にお寺を身近に感じてもらえるようなイベントがあると、お寺にふれあいやすいと思います。

フリマ祭り！		21 才	男性
NO.155	P1	同じ趣味の会／交流が目的の会／境内・伽藍の開放／土地を貸す	
			⇒ジャンルへ

半年に一度お寺の敷地内でフリーマーケットを催します。季節の変わり目などに開催すると洋服の掘り出しものを探しに来られる方も増えると思います。

この時、お寺の中は休憩所にするか高齢者の方が子どもに昔ながらの遊びを教える教室などを開ければいいなと思います。

お寺で社交ダンス			33 才	男性
NO.157	P1	勉強会		
				⇒ジャンルへ

お寺を社交ダンスの会場にするというのはいかがでしょうか。社交ダンスが初体験という人も交えて楽しく、いい汗をかきながら社交ダンスをします。社交ダンスだと垣根も高くないので初体験の人も気軽に参加できて楽しめると思います。そして結果的に社交ダンスを通じて地域の人々の交流ができれば理想的です。

開運大学		41 才	女性
NO.160	P1	同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

・アイデアの概要 月に1. 2回開運に興味のある人々が集まり(本堂がベスト)見聞きしたり自分で考え出したり、古くから言い伝えられているものやネットで探したものとかくありとあらゆる開運法を持ち寄り、毎回一点を選び出し次の会合までに各自試して、実際に効果があったかどうかを話し合う。最終的に本が出せるようになったら最高です。(タニタの社員食堂みたいな感じの)それを日蓮宗のいろんなお寺で開催して、年に一度は大開運文化祭のようなものを開催しても盛り上がるような気がします。いかがでしょうか?)

お寺であそぼ		66 才	女性
NO.161	P1	同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

少子化や核家族化でなかなか遊ぶ相手がいなかったり、一人でゲーム機やパソコンと向き合ってしまうがちな子供達に、遊んでもらう場を提供します。家にある、電気を使わないすごろくやカルタやトランプといったものを持参していただき、みんなで遊びます。

折り紙やお手玉など、教えていただける高齢の方も募って、様々な年齢層がふれあえる場ができればと思い、考えました。

お寺で遊ぼう		37 才	男性
NO.162	P1	同じ趣味の会／境内・伽藍の開放／一般年中行事／仏教年中行事	
			⇒ジャンルへ

■タイトル:お寺で遊ぼう

概要:かつて、寺院は、何かにつけて人々が集まる場所であり、情報交換や教えを乞う場所でもあった。しかし、現代では、お墓参りが関の山である。しかも都会の人々は、お墓が近くにないこともあって、寺院からはかなり遠ざかっている。

そこで、集まる場所、遊ぶ場所もない都会の子供たち向けの、「遊び場」「情報交換の場」があってもよいのではないかということから思いついた。

月代わりで、現代の遊びと昔の遊びをする場として「寺院」を提供する。

たとえば、

- 1月 カルタや百人一首大会
- 2月 カードゲーム大会
- 3月 竹馬体験・竹馬競技
- 4月 ミニ4区大会
- 5月 俳句や川柳を詠む会
- 6月 ボードゲーム大会
- 7月 氷細工を作る会
- 8月 水鉄砲でのバトル大会
- 9月 おはじき大会
- 10月 ベーゴマ大会・現代ベーゴマ大会
- 11月 焼き芋大会
- 12月 持ちつき大会

各回に大人も混ざると、世代を超えたコミュニケーションができると思う。

お寺で陶芸		34 才	女性
NO.167	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

厳かな雰囲気の中で集中して自分なりにいい作品を造って満足するというアイデアです。
 他の人の作品を見て刺激を受けたり いい作品を造ることにより、人生での楽しみ、生きがいになると思います。
 小さいお子さんは粘土をつかって作品を造り 大人も子供も一緒に楽しめるというコンセプトです。

「旅の宿」

要約

お金のある旅する人は、ホテル旅館で泊れますが旅行
資金の少ない人は……、そんな人々の為、手廻りに
宿泊施設をもうけてほしいのです。

五百万年前、人類の祖がアフリカで生まれ、ヨーロッパ、
アジアへと向いました。そして旅する事によって知能が
高まり、現在に至ったと言われています。
日本列島でも、北で生まれた人は南へ、南で生まれた
人は北へ移動するとも言われています。

そして人間とは旅する動物とも言われています。

旅するお金が少ない人々の為、二、三人の人が泊まれ

休憩できる場を造って頂き、一日かぎりの条件で無料で
旅する人々に提供して頂きたい。その事をインターネット
などで発信して頂ければ、これだけ多くの旅人に喜ぶ

かえられるか？

日本が元気になる一つの方法と思い、提案いたします。

「老後学講座」

要約

小生は七十才になりました。ハチヤまで生きれば、
そんな思いで、毎日死を考える。頭を過ぎる日々です。
そこで、悔いも少なく、家業とも笑って別れる出来る。
そんな「講座」を作って頂きたいのです。

長寿大国日本。老人ばかりが増え、いかに上手に

死ぬかが、そんな思いの人々が多い日本となりました。

そこで宗教界の人々にガンバッテいただき、

説法の上の方々に、「老後学講座」の旗なものを
開設して頂きたい。これが小生からの提案です。

要約

「今迄寺院で培われた精進料理を弁当として、院内又は門前で弁当として販売する事です。」

現今、不景気の中、サラリーマンの多くは、小遣の減少に遭遇しているのが実状です。その為、昼の弁当代を減らしている人が大部分です。それ等の人々の為、寺で今迄に培かれた精進料理、或いは精進料理風の弁当を格安で販売されたら地域の皆様に喜ばれるのではないかと思っております。また、その地域が観光地であれば、観光客の弁当として、或は土産品としても喜ばれる事と思えます。

そして、一寺だけでなく、ある程度のグループで作って頂ければ経費も安くなる事です。販売買もアルバイトを利用すれば、雇用の場を提供出来るのではないでしうか。(地域の仕出屋を利用して良しではなにかいずれにせよ伝統ある精進料理を弁当として、しかも格安に食する事が出来れば、地域社会との交流の幅も広がり、地域の活性化にも貢献出来る事と信じてをります。是非、実行をお願いします。

その他のアイデアとして、

1. 寺院の何かのイベントの際、新生児や一才児の健康と成長を祈願する日を作ってはいかがでしょうか。
2. 同じように、老人達の為、安寧に成仏出来る祈の日を造らねてはいかがでしょうか。

3. 地域の観光旅行会社とタイアップして、有名寺院の観光をバス旅行として企画されてはいかがでしょうか。

4. 防災拠点として適地であれば、食料品、水、自家発電機等の備蓄をされ、地域の人々に提供されたらいかがでしょうか。

5. 発表の場の少ない学生さんや趣味家の発表の場の提供

6. 老人達の交歓の場として、ラジオ体操や講演会などの会場の提供

7. 地産品の販売の場として朝市など

8. 市町村の粗大ゴミから良品を選び、保持して

いる市町村のリサイクル品の販売の場を提供する
9. 遊地の図書館の場を作る。

以上の様な事を思いつきました。お役に立てれば幸いです。

家族葬がふえたり、お葬式をしない方が増えたり、最近ではお坊さんもいない、自分で吹き込んだお経を流した、お葬式もメディアでとりあげられていました。

日蓮上人様が切り開いてくださった法華経をもっとひろめたい、また仏教を身近に感じてもらいたいと願っています。そこで日常考えていること、これからやりたいことを書き出してみました。

1、お釈迦さまの日を盛大に！

クリスマスはご存じのように、イエス・キリストの生まれた日です。

この日はキリスト教ではない方も1年に一度のお楽しみ行事になっています。

そこで4月8日を和菓子屋さんとタイアップして、大々的にイベントに育て上げます。

桜の開花と重なるので、桜のイメージのお菓子を作ったり、また若い人に感心をもってもらうためにアニメやコスプレの退会を開いたり。

お釈迦さまのかわいいグッズや日蓮上人のグッズを開発したり、楽しいイベントになるよう小物でも盛り上げます。

2、結婚コンシェルジュ養成

「寺院での結婚は福と御利益のもと！！」

ファミリー結婚など、家族だけの結婚式から町をあげての結婚式まで。

結婚式場で結婚式をすると特定の方にしか、花嫁衣装や幸せの姿を見て頂けませんが、お寺で結婚式をするとまわりの方や檀家さん、町の方にも見て頂けるので、とっても印象深い式になるはず。

お寺で結婚式を行えることを広くアピールして、葬式だけではないイメージを抱いてもらうねらいがあります。

日蓮宗公認結婚コンシェルジュを養成し、さまざまなお寺に派遣する。

もちろん寺族がその資格をとっても良いのです。

それによってお寺には縁がないと思っている若い方々にもきていただけるのです。

私自身もお寺で式を挙げて頂きましたが、とても良い思い出に残っています。

3、寺で葬儀を執り行う

「ご葬儀をお寺の力にしよう」

葬儀は今やホールでやるのがほとんどです。

亡くなると寺よりもまず、葬儀会社に相談する方がほとんどです。

そこでは人が亡くなるということがベルトコンベアーのように、

亡くなられた方との思い出を味わうことよりも式が無事おわることに終始しているようです。

昔のように、家でお通夜をしたら、在りし日の故人をより思い出すでしょう。

ご葬儀もお寺ですることによる、メリットもたくさんあるでしょう。

まず祭壇がそのまま使えるということです。

他にも檀家さまの負担が少なくなることがあるのではないのでしょうか？

お寺に葬儀をとりもどしたら、お寺の存在価値もグッとアップするでしょう。

4、寺の駅

「道の駅ならぬ、寺の駅」

その寺の檀家さんのなかで、自慢の品やそこにしかないものを作っている方をネットで紹介する。草の根的な細かい情報はお寺さんやご住職ならではのもの。

宗務院のホームページから全国の寺院を紹介するとともに、檀家様のネットワークを広げること

で、一般の方も日蓮宗に興味をもってくれるのではないでしょか？

見て楽しいホームページなら宗教に縁のない人との縁をつなぐことができます。

5、会社の里親になる

―社会とより絆を強めていくためにできること―

悲しいことに

自殺する方は戦後3度目のピークに達している。

また女性より男性の方が、圧倒的に多いという。

自殺の理由は「健康的な理由」が第一。

次に不況などによる「経済的理由」があげられるとのこと。

理由は様々あるけれど、どんな困難にも立ち向かう心を育てることが解決につながるのではないのでしょうか？

それらの理由から自殺者を救うのは、これからは「寺」や「僧侶」で合って欲しいと願います。

たとえば、1年に何度か、お寺に行く日を会社ごとにつくってもらう。

スケジュールの例

朝のお勤め、清掃、昼（精進料理）、写経、法話、などなど。

会社と相互に協力することによって、檀家さんしか交流がないところのお寺も活性化する。

6. エコリサイクルの拠点になる。

①寺家発電しよう

原発の事故によって未曾有の大災難がおきました。

日蓮上人様のご覚悟にははるかに及ばないながらも、さらなる意識の向上が望まれます。

同じ人災を繰り返さないためにも、原発の勉強やクリーンエネルギーの推進が必要不可欠だと思います。

身近なところからいえば電気をなるべく使わないようにするなど、できることはたくさんあるでしょう。

先日NHKで太陽光照明をとりあげていました。お寺は電気の消費量も多いと思いますので、クリーンエネルギーを率先して実行することにより、お寺への尊敬と親密さはますますでしょう。

資料添付

②リサイクルをお寺から

比較的広い敷地があればそれを利用して、フリーマーケットや衣類交換会、食器の交換会など行くと、社会に貢献できます。

ソーラーカーや廃油で走る車なども寺家用車にするなども考えられます。

お寺ワールドを広げよう！！		52 才	女性
NO.172	P3	同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／会場提供／置場提供／土地を貸す／販売コーナー／まつり型イベント／キャラもの	
			⇒ジャンルへ

またお寺にあげていただく果物かごはプラスチック製で使い捨てられている現状です。
それをリサイクルにして、循環するなど、お寺からエネルギーの啓蒙をはかる。

7, 親族を亡くした方を心理的かつ具体的にサポートする日

親族たとえばお子様を亡くされた方はその悲しみをずっとかかえていらっしゃいます。
時には必要以上にご自分を責めたり、そのために離婚したり、さまざまな問題を抱えていらっしゃいます。

お経を唱え冥福を祈りましょう。と言葉で伝えてもなかなかむずかしいのではないのでしょうか？
そういう方たちのために、

「お子様を亡くされた方の親の会」

「パートナーを亡くされた方の会」

など作って参加者みんなと一緒に悩み、話を聞いてあげるとそれだけでとても楽になると思います。

お坊様の経験を最大限活かして、心理カウンセラーの役割を担います。

こころが軽くなる認知行動療法 → <http://www.cbtjp.net/>

などを取り入れると、有効であるようです。

このように具体的に助けるためには、毎月の勉強会をかさねていくことが望ましいと思います。

7, その他

食べるものの大事さ。

ジャンクなものやインスタントのものがたくさん生活に入り込んでいますが、そういうものを常食していると、いわゆる「きれやすい」子供たちにつながることもあるそうです。

お袋の味がおいしいのは我が子のためにつくる。愛情の気持ちがいっているからです。

そういうものなしに育った子供たちは自分の子供ができて愛することができないでしょう。

やはり食べるものは大事だとおもいます。

私の地区では毎年2回、「お寺参り」という行事がありますが、なるべく手をかけて、食育的な啓蒙をしています。

お出ししたお料理のレシピをお配りして、家でも作って頂けるようにしました。

またお料理教室やヨガ教室も開催し、檀家様や一般の方にも開かれた寺院をめざしております。

○ 茶事以外の

30年前までは、お寺会をする、介が、沃山あったのですが、時代と共に使えなくなりました。お寺も、2、3使わせて頂いた氣に愧れもあり、この機会に、お茶室、お庭、お寺の広い座敷他を開放すると思い、特に、池上は、梅、桜の時期には、人出もあり、イベント形式で、花を見てた後、500円の抹茶席、落語を聞く席(1000~2000円)〔池上のお寺で、5000円で席をもうけている所を見ましたが、高いです〕

写経を書く席等々

子供達には、蕎麦あそびをする庭(けん玉、ハネコマ、あどとり、おぼしき、お手玉、コマ、飛車、など)

紙芝居、

茶事の場合と云えば、池上の敷ある和室が、^星適宜にしますし、帰りが、夕方になれば、食事とか、お酒の席も潤うと思います

イベント以外でも、お寺を集会場として、落語を聞いたり、写経を書いたり、習い事(水書画、書道、日舞、ヨガ、親子リズム体操、三味線、小唄、他)展覧会場、踊りのお祭り会にも、使えると思います。(ガーデンセール)

若人向けには、大きなお庭があるお寺なら、(本堂を)ショーシャン、朗読劇、小芝居、クラシック(ロック等)他もできると思います

また、地方のお寺ですか、精進料理をイタリアン風、フレンチ風にアレンジして、女性のハートをつかんでいる所もあり、女性誘致に、成功すれば、(おバカン軍!)

おのずと共白髪の方もついてきます。

今の不安な時代、何か楽しい企画、楽しくなる場所があれば、老若男女、出かけて来ますよ!

今年は『把瑠都』も優勝した事だし、

笑う門には福きたるをスローガンに、梅咲くイベント、元氣張って下さい、そして、長く続けて下さい

○ 私の想い

休日には、写経をしたり、落語を聞いて、心を清め、おいしい精進料理(3000円位)を食べ、お寺を散策し、抹茶席(5000円位)で、当番のお寺で、お茶を頂き、何か、催し物をやっていたら、それを見たり、聞いたりと、帰りは、一杯、盃を傾ける。そんな、1日、があれば、幸せです

お寺を庶民の憩いの場にするのが一番だと思います

紙芝居の普及について



昨年の大震災以来、古来の津波や地震に関しての言い伝えを読み直して感じてしたのは、実に多くのメッセージを先人達が残してくれているということでした。災害に限らずお寺は先人達の伝承の宝庫です。日頃お寺にはお世話になっている者ですが、微力ながら仏教とお寺の持つ力に活用していたければ幸いと思い、一つの提案をさせて頂きます。

全国のお寺で希望者に紙芝居を作ってもらい、また話す場所として提供してもらおう。聞くだけでなく作ったり話したりすることで仏教を学んでもらう。

お寺において紙芝居で取上げられるべき話は大きく分けて二つある。一つ目は言うまでもなく仏様や（日蓮宗では）日蓮上人の生涯などについてである。各お寺ごとに内容が違ってもよい。例えば、佐渡での日蓮上人の逸話を新潟の人が語れば新潟井や佐渡井を使うことができるので、東京の人が行なうよりも臨場感がでる。これも芝居の醍醐味の一つである。境内でも浜辺でも、岩窟の中でも大きな菩提樹の下でも工夫次第でどこでもできる。

二つ目は各お寺やその地域に残る伝承などである。〇〇地震の時にはお寺の銀杏の木の天辺まで津波がきたというような言い伝えだ。お寺にはこうした話が必ずある。

先年、永寿院の御住職のお導きで伊豆のお寺で天狗の書状を見せていただいたことがあったが、この天狗とは何であろうか。よるべのない少年の牛若丸が天狗の教えによつて成長していくことはよく知られている。天狗はこうしたよるべのない人々にとつての一つの道標を象徴しているのかもしれない。仏教はこうした人々の道標だ。過去の言い伝えには仏教的な要素を持ったものも多い。

例えばこんな話もある。安政地震の時、ある男が倒れる建物から見知らぬ一人の娘を助け出した。娘は礼を言い両親の家に向かった。その途中余震が起きた。心配した男が後を追うと運悪く倒壊した建物に娘が挟まれ動けなくなっていた。娘は死ぬ間際に男に櫛を渡し両親に届けてくれるように頼んだ。両親に娘の事を話した男は以後家族のように付き合い、その両親と一緒に娘の菩提を弔った。

余震だとか津波の第二波などという言葉はデイズニーやグリム童話には出てこない。今ではあまり読まれていない様だが、日本の民間伝承の源流の一つに日本書紀がある。その中には法華経への信仰が垣間見える。

寺

希望すれば、震災の体験を紙芝居で語ってもらったかどうか。直接話すより話しやすい場合もある。子供には絵だけを描いてもらってもよい。誰かが次の世代に残していけるであろう。紙芝居に写真を取り入れてもよいだろう。スライドやビデオを見せられるよりもお寺で紙芝居で訴えたほうが心に残るのではないだろうか。

とるに足りないような非科学的、空想的な逸話にも大事なメッセージが隠されている場合もある。例えば、昔話に鶴の谷、鯛の谷などの地名が出てくればそこはかつて、山や谷を越えて津波が到達したことを示している。過去のこうした伝承や地名、方言などをそのまま残しておくことの意義は大きい。きちんと歴史をひもとけば、大規模な津波、地震、台風、土砂災害、噴火、政治腐敗などが千年に一度の絵空事ではないことは明白だ。

原画は絵の好きな檀家さんや壇信徒さんまたは学生さんなどに描いてもらえばよい。保存会のようなものをつくり、共通のサイズを決めて各お寺で作り、それを貸し借りすればよい。上手な話し手には講演してもらったり、表彰したりするのもよいだろう。

現在では原画さえ描いてしまえばカラーコピーして全国のお寺に配ることが可能だ。後は台紙に貼り付けて木枠を作ればよい。もし予算があればこの紙のデザインのようない（墓碑のようなデザインで恐縮ですが）共通の木枠を作り各お寺や教育施設に買ってもらうか寄贈すればよい。各お寺で檀家さんのボランティアが定期的に読み聞かせの会を開くこともできる。また冠婚葬祭でお寺に人が集まった折などに貸し出して子供に聞かせることもできる。その子が大きくなった時に今度は語り手になるであろう。

さらに紙芝居は裏面に外国語訳を付ければ世界中に通用するという利点もある。アジアには仏教国が多いし、欧米諸国にも絶対必要とされる日本の文化である。なぜなら戦後の何もない時代、紙芝居は子供達に夢と希望を与え、日本を元気にしたからである。学生や外国人に翻訳してもらい仏教と紙芝居を合体させ世界に輸出することはお寺ならできる。武器や原発を輸出するより国際貢献できる。中国の敦煌や新疆ウイグル自治地区にある石窟の中の壁画には、一つ一つに仏様の逸話が描かれている。我々はその一枚一枚の絵は写真で目にするが、その中に描かれている挿話についてはあまり知る機会がない。先人達が一枚の絵、一巻のお経に託して後の世に伝えようとしたことを、お寺を舞台にお芝居という形で伝えられれば幸いである。いつの日か石油は枯渇するかもしれないが仏教の火は灯し続けられるだろう。

年中行事 ペット供養 避難訓練 剣道 諸道 そば教室ほか			39 才	女性
NO.177	P1	同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／土地を貸す／一般年中行事／仏教年中行事／本格経営		
				⇒ジャンルへ

- ・お寺の行事
- ・年中行事に参加 1月～12月迄。
 - ① 節分 豆まき
 - のり巻作り 一般の人たちがのり巻を作る(恵方巻)
 - (みんなで作って、いっしょに食べる。お寺で食べる。)
 - 3月 雛祭 つまみ雛飾りの作り方を学ぶ。
 - つまみ雛の中に願いを書いて、つます。
 - 4月 おしゃや葉の誕生を学ぶ。
 - お寺で一生を見せ、後で「みんなでカレーを食べる。
 - お寺で作る。みんなで「持ち帰る。
 - 5月 こどもの日 → みんなで「魚」を作ってふるまえる。 子どもの作り方を学ぶ。
 - 7月 セタ → みんなで「お寺」の中をめぐって、その中で「お寺のそと」。
 - 9月 十五夜 } 農作物などに感謝
 - 10月 十三夜 } すきとすき等のお寺にお寺に「お寺」。
 - 12月 忘年会 → 年に一度 背負ったものを忘れる日
 - つかない暮らしを「願い、人並みに「お寺」。
 - 悲しみを和らげ、毎日を生きている。
 - ★ 中には、大切な家族を病気や事故等で「なくし、深い悲しみ
 - の中で、「誰にも話す人もいない方もいます。
 - 動物を亡くした方もハートロスで「なかなか、落ち込んで、
 - なかなか、元の毎日もどすのは、たいへんなことです。
 - (動物の法要をする。人間も宗教関係なく。)
 - (手を合わせると「お寺」。
 - ★ ストレス解消法 → 各地に人々聞く、落ち込んで、
 - 「お寺」。
 - ★ 地震の避難訓練
 - 実際は、そのようにいなくても、日頃、やっていると、体が「お寺」。
 - お寺は、広いお寺。
 - ★ 剣道教室
 - ★ 書道教室 → 心をみかへく。今の気持ちを題材にする。
 - ★ 日曜日の朝 美しい音楽とユートイム
 - 午前10:00～正午くらい
 - ★ 1週間ごと、1箇月ごと。
 - 「何か、今まで」。
 - 過去のものでも。
 - ★ そば教室
 - 出来上がった、仏様に「お寺」。
 - その後、私たちが「お寺」。
 - ★ お寺めぐりなど。 フリーマーケット・お祭りなど。
 - 歴史を学ぶ。

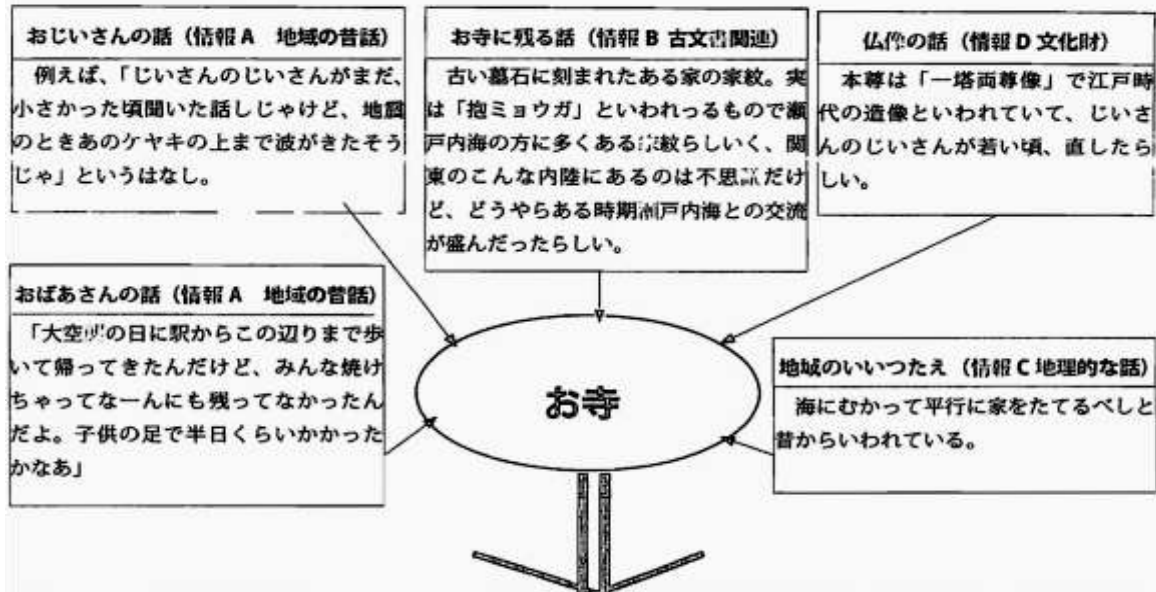
「不確かな情報も貴重な情報になる」

地震や津波、台風に大雪、洪水に日照り。そして、戦争。わが国は長い歴史のなかで東日本大震災規模の大きな災害に何度となく見舞われてきています。これからもそれを回避する事は出来ないでしょう。しかし、それらの災害による甚大な被害を被ってきたにも関わらず、現在の日本は高い生活水準の中、道徳的な生活を維持しています。それはなぜか。日本人のもつ他人と協力して、何かを成し遂げる「和の精神」で数々の国難を乗り越えてきたのではないのでしょうか。このコミュニティパワーの一端を担ってきたのが、お寺という存在であったことは事実であります。政治家や為政者はその時代で絶えず変化していきますが、役場や学校、集会所機能をあわせもったお寺という宗教施設はかわることなくそこに存在し続けます。このお寺としてのコミュニティパワーをいまこそつかってみてはどうでしょうか。

近所のおじいさんやおなたのおばあさんがおばあさんからきいた昔話、地域に伝わる言い伝えや風習などをあつめて、まとめて、共有する。確かなデータや証拠のない情報を大学や役所は情報として認めませんが、お寺なら郷土に伝わる不確かな情報もあつめて、まとめて、共有することで貴重な情報にかえる事ができるのではないのでしょうか。

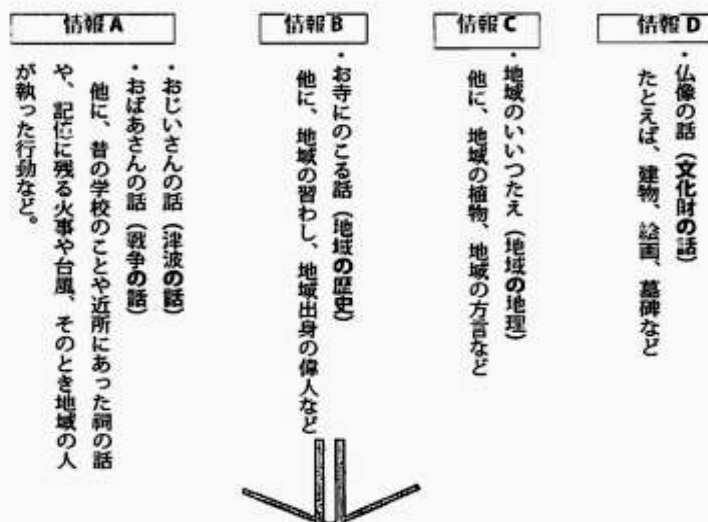
情報をつめる

地域のいろいろな情報をひろく募集する。たとえば地域の広報誌や法要の挨拶で、「みなさんの知ってる地域のこと、をお寺に集めましょう」とよびかける。



情報をまとめる

あつまった情報をみんなでまとめる。地域の中からボランティア会員を募集して集まった情報をまとめていく。



情報を共有する

情報をひろく公開し、地域住民と共有する。図書館のように自由に閲覧でき、かつ自分の知っている事、知った事を提供する事が出来る。あくまでも地域に根ざした情報ステーションである。

郷土情報ライブラリー「Lotus Station」		39 才	女性
NO.178	P3	同じ趣味の会／会場提供／地域ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

・寺院には長い歴史があり、その歴史は地域の歴史でもあります。歴史がもつ情報は確かなものから不確かなものまでさまざまです。行政や学校はその情報の真偽を確かめ、不確かなものは記録しないし、情報を確定するには発掘や調査、科学的実験など時間やお金もかかります。そのような情報ではなく、地域に伝わる昔話や古老の話など証明が難しいけど伝えられてきた生の情報をお寺であつめて、まとめて共有し、また次の世代に伝えていく。

例えば、千葉の九十九里には元禄時代にたてられた18基の石碑があります。それぞれが「千人塚」「百人塚」「津波塚」など呼ばれていて、その里には「浪切不助」とよばれる古刹があります。この石碑は元禄の大津波後にたてられたらしく、これは当時の人たちからのメッセージなのです。その大津波でたすかった当時の人の古文書にはそれには「大なる地震押し返して揺るとき、かならず大津波と心得て、家財捨てて早く岡へ逃げ去るべし。(略)高きところはたすかる」と記されており、この文書も石碑同様先人からのメッセージなのです。しかし、今回の震災までは「百人塚」「千人塚」も存在も明らかでしたが、その伝承を知っている人も少なく、知っていても「ここまではこないだろう。昔の人がすこし大げさに言っているんだ」くらいに認識していたそうです。このような事象は全国にあり、その情報の多くを持っているのは地域の寺院なのです。

・集まった情報を整理することで、専門的な分科会ができます。「地域の歴史が得意なグループ」や「昔話を聞くのが好きなグループ」、「フィールドワークが好きなグループ」、「古文書が好きなグループ」などなど。分科会がそのままカルチャーセンターとなり、人の幅がひろがっていきます。

・地域住民から積極的に情報をあつめ、まとめ、積極的に公開提供することで地域に根ざした相互補助の関係を樹立する。

郷土情報ライブラリー「Lotus Station」		39 才	女性
NO.178	P4	同じ趣味の会／会場提供／地域ネットワーク	
			⇒ジャンルへ

その先に

情報ステーションとして機能すると、その先にもっと多くのことができるようになります。

お寺の多くは防犯上、夜など門戸を堅く閉ざしていると思いますが、人が交流し、多くの人を受け入れる事に対応できるようになれば、震災時、シェルターとして帰宅困難者や負傷者を受け入れる事が出来るようになるのではないのでしょうか。コンビニエンスストアより多いお寺だからこそできる働きであります。

ただ、人の交流が盛んになると、上記のようなメリット以外に防犯上のデメリットが発生します。寺宝の盗難や火の不始末による火災などです。火災に関しては、出入りする人やまわりの人たちが注意したり、防火建物にする以外にさける方法がありませんが、盗難に関しては少なくとも人の交流がデメリットになるばかりではありません。

盗難の被害は無住のお寺や秘仏に多く見られます。それは、管理する人がいないことや、所有者や僧家が現状を正確に把握していない為におこっているのです。まずは、専門家に依頼するまえに、それぞれのお寺で現状を正確に把握し適切に対処することが大事です。

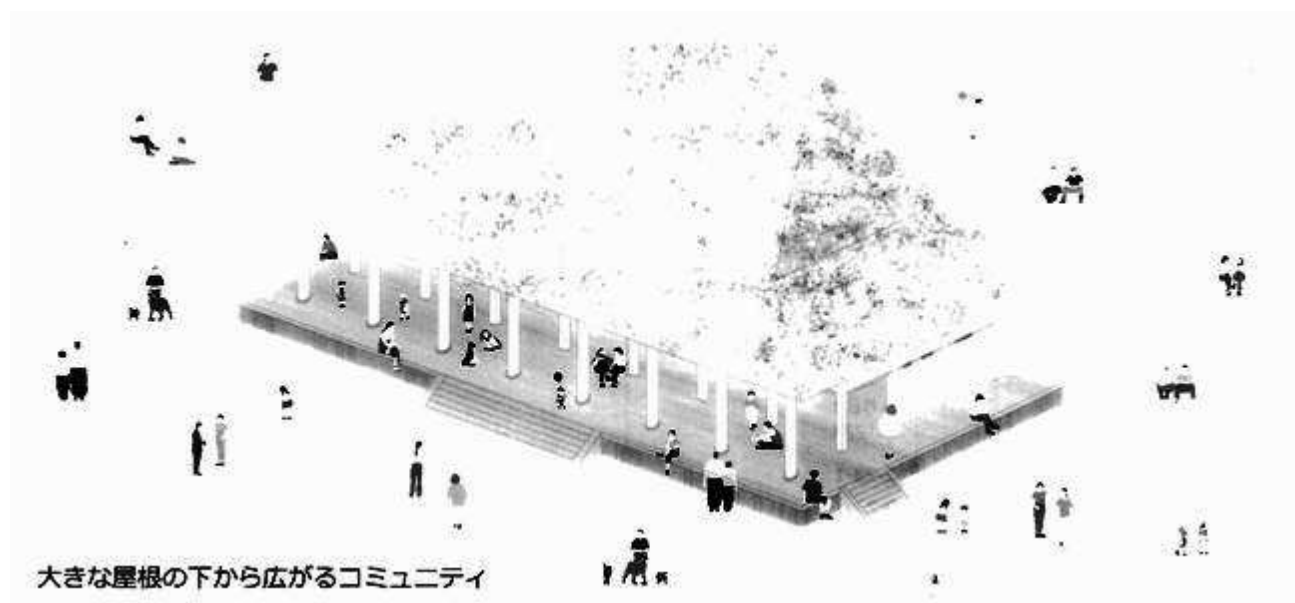
たとえば

- ・仏像は何体いらっしゃるのか。大きさは？おもさは？
- ・安定した自立は確保されているのか？
- ・損傷がどれくらいなのか。持ち上げたとたんバラバラになってしまいそうなのか？
- ・安置されている場所の状況は？ などなど。

そのためには多くの人材が必要になりますが、情報ステーションとしてお寺が機能すれば、人材の確保も容易になり寺宝の状況を多くの人と共有することも可能になります。情報の共有は情報流出するというマイナスの側面とともに、監視する眼が増えるというプラスの側面ももっています。

人の交流は、地域情報を次世代に伝えていくとともに、お寺の歴史も伝えていくことになるのではないのでしょうか。

大きな屋根の下から広がるコミュニティ		34 才	男性
NO.179	P1	勉強会／公園化／本格経営	
			⇒ジャンルへ



大きな屋根の下から広がるコミュニティ

お寺はその尊厳なイメージから、現代では行事の時以外は少し敷居の高い場所になっています。また観光地として、地域の人のためというよりは、観光客のための庭や建物を鑑賞する場所になっています。

ここでは地域の人たちが気軽に立ち寄れて、楽しく時間を過ごすことで、地域に対してここからコミュニティが生まれるような3つのアイデアを提案します。

①お寺を公園にする。

- ・大きな屋根面を緑や花で覆うことで、地域の優しいシンボルとなります。
- ・本堂の建具を開放することで、地域の大きな緑側となります。
- ・敷地全体を緑の公園にして、誰でも入りやすい明るい雰囲気をつくります。

②精進料理のお弁当

- ・食の安全や健康志向などから、精進料理のお弁当をお寺で作ったり、買ったりできるようにします。
- ・精進料理のお弁当をお寺の公園・緑側の好きなところで食べられるようにすることで、楽しい、ゆっくりとした時間を過ごします。

③ネットワークで全国につながるお弁当レシピ

- ・全国各地にあるお寺の、その地域独自の精進料理のレシピをインターネットを使ってネットワーク化します。
- ・地域色豊かな、楽しいお弁当のネットワークをつくります。

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

地域社会のためのお寺の活用アイデア

(1) タイトル「行けば、ご縁と笑顔がある」

概要「目標は、お寺は、誰でも立ち寄り受け入れてくれる場所として認識してもらう。目的は、1年後、地域の皆さんで行事をよりいいものに作り替え、自分達の手で『わくわくカレンダー』を創り、継続していく」



(2) アイデアのコンセプト「全国のお寺どこでも、どのお坊さんでも低予算ででき、お坊さんも楽しめる」



参考資料の留意点

- 日付、費用、内容、名称等は、自由に変更可能
- 初めは馴染みがある行事から行っていき、お寺に慣れて頂く
- お寺の仕事や自分に差し支えない範囲で行う
- もし可能であれば、行事に「説法」の時間を取り入れる
- お寺やスタッフの方は、「笑顔」と「元気な挨拶」で迎える
- 別紙のカレンダーは、インターネットから無料ダウンロードのため、自分達で作成できる

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

通年

クリーン・アップ(清掃活動)

第3土曜日 毎月1回。掃除は作務(さむ)の一つで「塵を払い、垢を除く」ことで心(自己)も磨くことにつながる

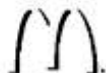


- お寺の役割: 行事の主催。作務(さむ)に関する説法を説く
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - ほうき
 - ちりとり
 - トング
 - ごみ袋
- 必要なこと: 出勤の記録、管理

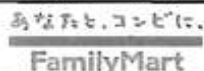
【協力企業】

お近くの店舗もしくは企業の CRS 担当まで、直接お問い合わせ願います。企業によっては、清掃終了後、飲み物を提供して頂ける場合もあるかも。

マクドナルド



ファミリーマート



ドコモ



スターバックス



JT



アルミ缶の値段

アルミ缶



100円/1g

- 洗う必要はありません。
- 缶の形は丸。丸缶のままでも潰しても結構です。

《重さの目安》

45Lのゴミ袋に一杯詰めたとして

・丸缶の状態で 約1.5kg

・潰した状態で 約0.5kg

※スチール缶は買取出来ませんが、無料回収致します。



アルミ缶のタブだけを集めると何かもらえるってホント？

「アルミ缶のタブ(とって)を集めると車輪子がもらえるという話がありますか。どこへ持参したらいいですか？」という問い合わせがありますが、当協会では、そのような事業に関係していません。下記の理由により、タブだけを集めるような事は賛成していません。

理由①タブを集めて取り外そうとするとケガをする恐れがあります。

理由②アルミは重量で取り扱われるので、タブだけを集めるより「アルミ製丸ごと」集めたほうが何十倍もリサイクル価値があります。

理由③タブだけを集めるのは、協会、コンビニから、コダレ様になります。

タブを取り外して「アルミ製丸ごと」リサイクルした方が安全で効率的です。もし、知り合いにタブだけを集めている方がいたら、アルミ缶そのものをリサイクルするようすすめてみてください。



出所: アルミ缶 リサイクル協会

レンタル・サイクル(観光用)

毎日
または土日

お寺の駐車場を利用し、地元の自治体へ協力し、観光へ貢献する。また、観光客も自然と来てくれる



- お寺の役割: 駐車場の提供
- 費用: 無料もしくは有料(自治体による)
- 用意するもの
 - なし

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P4

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

1 月

七草がゆ

7 日

一年の無病息災を願って食べる。御節料理で疲れた胃を休める



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 有料(材料費+水道代 50~100 円)
 - お茶碗、箸は、エコ推進のため持参
- 用意するもの
 - 下記の材料
 - 調理なべ(参加者の家庭から借りる等)
 - 割り箸(忘れた方用。参加者からの寄付)
 - 台所スポンジ(参加者からの寄付)

材料(4人分)

米	1 合(180ml)
七草	適量
塩	少々
白ごま	適量
黒ごま	適量

作り方

1. 米はといで、水900mlとともに土鍋に入れて、沸騰したら弱火にし30~40分ほど炊く。途中ふきこぼれそうになったら、ふたをずらして蒸気を逃がす。
2. 七草は細かく刻む。
3. おかゆが炊きあがる5分前に、塩少々をふり入れて七草全体に混ぜる。器に盛って白ごま、黒ごまをふる。



セリ



ナズナ



ゴギョウ



ハコベラ



ホトケナザ



スズナ

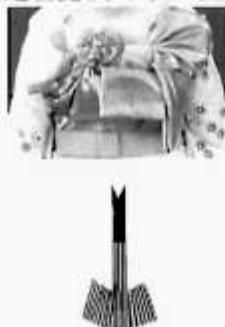


スズシロ

出所: キッコーマン株式会社

成人の日

第 2 月曜日 大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます



- お寺の役割: 着付けの場所として提供(美容室は狭いのと、着付けは広い場所が必要なため)
- 費用: 有料(人件費+会場代 500~1,000 円)
 - 着付けのみ。着付けに必要なものは持参
- 用意するもの
 - 着付けができる方
 - タオル(雨・雪だった場合に濡れた箇所を拭うため)

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P5

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

2 月

豆まき

3 日

春が来る季節の変わり目に豆を撒いて邪気を追い払い、無病息災を願う風習



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 無料(毎年無料で行っていると思われるため)
- 用意するもの
 - 鬼のお面
 - 福豆
 - みかん
 - 袴(着衣しなくても OK)

恵方巻き

3 日

節分の夜にその年の恵方に向かって目を閉じて一言も喋らず、願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじり(丸かぶり)するのが習わし



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 有料(材料費＋水道代 50～100 円)
- 用意するもの
 - 下記の材料(参加者に具を一部分づつ調理、持参してもらい、お寺では巻くのみ)
 - 巻きすも持参
 - 濡れタオル(お手吹き用)

材料(2人分)

ご飯(温かいもの)	2カップ
かんぴょう	約50cm
生しいたけ	3枚
卵焼き(市販)	80g
かに風味かまぼこ	3本
きゅうり	1/2本
焼きたまご	2枚
(A)	
酢	大さじ1と1/3
砂糖	小さじ2
塩	少々
(B)	
キッコーマン本つゆ	大さじ2
水	大さじ4

作り方

1. ご飯に(A)の合わせ酢を加え混ぜる。
2. かんぴょうは塩少々(分量外)をまぶしてもみ、水洗いし、2等分して熱湯で5分ゆでる。
3. 生しいたけは軸を切る。
4. なべにご飯をぎった(2)、(3)、(B)を入れて中火で煮て味を含ませる。生しいたけは薄切りにし、かんぴょうとともにご飯をきる。
5. 卵焼きは1cm角の棒状に切る。
6. きゅうりは縦半分に切り、さらに縦4～6つ切りにする。
7. 巻きすにのりをおき、(1)を平らに広げる。のりの手前1cm、奥3cmは、ご飯を広げず、残しておく。
8. ご飯の中央に、しいたけ、かに風味かまぼこ、かんぴょう、卵焼き、きゅうりの順に並べる。
9. 具が動かないように指でかるく押さえながら、巻きすごとくまわりと巻く。

2012 年の恵方の方向は、おおよそ北北西(北微西。北北西やや右)正確には壬



出典: キッコーマン株式会社

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P6	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

3 月

ひな祭り

3 日

赤ちゃん・子どもの健やかな成長と厄除けを願う行事

※2 月、節分、立春を過ぎた大安、友引に飾り、3 月 3 日夕方から片付け



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供(各家にある雛人形をまとめて飾る場として提供)
- 費用: 有料(ひなあられ代 50~100 円+甘酒 100 円)
- 用意するもの
 - 雛人形(もし、お寺にあればそちらを飾る)
 - ひなあられ
 - 甘酒

【Q&A】

- 左大臣が右で、右大臣が左なのはなぜ？
雛人形は、お内裏様とお雛様に対して、それ以下の段にいる人たちが向き合った設定になっています。つまり、お内裏様、お雛様以外の人たちは実際と左右が逆になっているのです。
- 白い顔の人と赤い顔の人がいるのはなぜ？
位の高い貴族は、男性でも化粧をしていたので、白い顔をしています。泣き上戸の顔が白いのは、お化粧をしているからではなく、顔色が悪いため。
- お雛様は何歳？
お雛様のお顔は、18 歳のときの顔で作られています。最近人気のある木目込み人形の雛人形は、赤ちゃんや子どもの顔で作られているので、雰囲気はかなり違いますね。
- お内裏様が持っているものは何？
お内裏様が手に持っているものは「笏(しゃく)」と言い、朝廷の式次第を書いた台本のことです。
- お道具は何を意味しているの？
鏡台や茶道具、重箱などのお道具は、結納の品です。余談ですが、雛人形にはお道具や飾り物が多く、しもうときにわからなくなってしまうことも多いので、飾る前に収納時の写真を撮っておくと、片付けるときにどれがどの箱なのかわかるのでおすすめです。
- 雛人形の雛壇が赤い理由は？
赤は血の色。神社の鳥居が赤いのと同じく、魔よけの意味があります。そのため、雛人形の雛壇には赤い毛氈を敷くのです。
- 立ち雛はなぜお道具がないの？
お道具や飾りのたくさんあるお雛様と比べて、お道具がない立ち雛。これは、お内裏様とお雛様が表を歩いている設定のためです。

出所: All About 田中 梨香さん

行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P7

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

3月

東日本大震災供養のための写経

11日

または土・日

東日本大震災の犠牲者を供養するため、般若心経を写経する



- お寺の役割: 行事の主催。会場の提供
- 費用: 無料もしくは有料(500～1,000円)
郵送代(山形県へ送付する場合のみ)
- 用意するもの
 - 左の見本(BA)
 - 筆(筆ペンでも代用可能)
 - 墨
 - 紙
 - 机
 - 座布団
 - 封筒(山形県へ送付する場合のみ)

【一萬の祈り】

2011年10月9日、計1万2,463枚の写経を山形県の月山の経塚へ山伏らによって埋設しました。2012年も9月か10月に実施予定です。写経にご協力頂ける場合は、写経の郵送先を教示致します。また、お坊さんや参加者の方々が写経を動行し、月山の頂上まで運んで頂くことも可能です。(宿坊は用意させて頂きませんが、交通費、宿泊費等全て自費となります。お布施等で集められてもよろしいかと思います)。なかなかお寺から離れられないお坊さんにとって、出かける機会となり、他のお坊さんとものご縁も結ばれるきっかけになれば幸いです。ちなみに、月山は映画「おくりびと」の舞台になったところでもあり、「死と再生の聖なる山」と崇められています。

月山山頂に震災の犠牲者供養の経塚建立

山形新聞

Yamagata News Online

2011年10月09日 21:51

東日本大震災の犠牲者を供養しようと、庄内と内陸にまたがる月山(1984メートル)山頂に9日、経塚が建立された。全国各地や海外から寄せられた1万枚を超える般若心経の写経を、それぞれに込められた思いとともに霊峰の頂に収めた。

出羽三山の主峰月山は古来、死者の霊が集まる場所とされている。犠牲者を供養するとともに、震災の教訓を後世に伝えようと、羽黒山伏らで実行委員会(星野文雄委員長)を組織し、5月から写経を募り始めた。海外の26カ国からも約3800枚が寄せられ、先月中旬に目標の1万枚を突破。計1万2463枚が集まり、山伏たちが動行で一枚一枚を読み上げた。

この日朝、実行委員会のメンバーら約20人が手分けして写経を背負い、鶴岡市側の合目を出発。午前11時ごろ山頂に到着した一行は、月山神社裏に設けられた塚に写経を埋め、建立祭を行った。澄み渡る青空の下、山伏たちが一心に祝詞を唱え、犠牲者の冥福と被災地の一日も早い復興を祈っていた。星野委員長は「犠牲者の魂が集まる場所で、供養とともに復興祈願への思いを発信していくことが重要だと思う」と経塚への思いを語っていた。



完成した経塚の前で、震災犠牲者の冥福や被災地の復興を祈る山伏たち。月山山頂



出所:「山形新聞」、映画「おくりびと」



行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P8

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

4月

子ども110番

入学式後の
中旬

児童等が助けを求めることができる民間協力の拠点「子ども110番」の人や場所(施設)の把握

子ども110番のいえ

助けを求めたことがあったときは
ここに助けを求めましょう



小平市立
小中協同会
小中協



- お寺の役割: 行事の主催。「子ども110番」への参加により地域の安全に貢献。登録は、各自治体、最寄りの警察署にご相談下さい
- 費用: ステッカーは無料配布(※地域で定着しているマークを使用)
- 用意するもの
— 「子ども110番」の地図があれば、それを配布。なければ独自に作成(コピーは学校へ依頼)
- 協力者: 学校、PTA、警察、駅、タクシー、「子ども110番」のいえの方

小学生6年生が入園・入学した子供を連れて、「子ども110番」の家、お店、駅、タクシー、お寺を巡り、人や場所(施設)を把握

【例】

平成19年(2007年)7月

東丘小学校 安心・安全マップ

図	説 明
①	メジロ千代子D3～D7 2号車室A41～A43 アール・ビル
②	ビートルズ
③	ウオメゾン
④	東丘A32～A36 スチールハウス
⑤	ローレルコートあかしやの庄
⑥	東丘1～50
⑦	東丘11～13
⑧	東丘メゾンシティ (1～4番館)
⑨	東丘メゾンシティ (5～7番館)
⑩	公園C1～C30



出所: 沼中市新千原町

⇒ジャンルへ

行けば、ご縁と笑顔がある

41才

女性

NO.180

P10

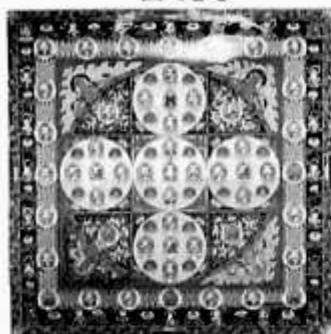
修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

6月

曼荼羅(まんだら)づくり

仏教の世界観を表現した絵画「曼荼羅」を自分で作成することにより、仏教への理解を促す。給食の牛乳瓶のふたの裏を利用し、仏様の画像を貼るか梵字を書く。子供は、夏休みの自由課題として提出できる



※金剛界曼荼羅(あくまでも例です)



牛乳瓶のふたで作成するためエコ

■ お寺の役割: 行事の主催。曼荼羅の配置図と説明

■ 費用: 無料(できれば)

■ 用意するもの

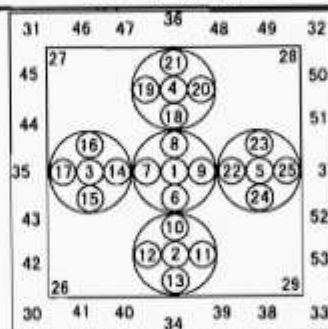
- 給食の牛乳瓶のふた
- 各仏様の画像
- のり
- 下図のような配置図
- 背景のための厚紙もしくは画用紙。自由に絵を描いてもらう
- 梵字の場合は、筆、墨が必要

少ない(4~8)場合



1人で作成可能

多い(53)場合



5つの円、外側、背景の絵など、作成パーツ分けて、クラスみんなで作成

五仏	十六大菩薩	内の四供養菩薩	賢劫十六尊
1 大日	10 金剛薩埵	26 金剛蟻	38 弥勒
2 阿閼	11 金剛王	27 金剛鬘	39 不空見
3 宝生	12 金剛愛	28 金剛歌	40 滅惡趣
4 阿弥陀	13 金剛喜	29 金剛舞	41 除憂闇
5 不空成就	14 金剛宝	30 金剛香	42 善象
四波羅蜜	15 金剛光	31 金剛華	43 大精進
6 薩埵金剛女	16 金剛幢	32 金剛燈	44 虚空蔵
7 宝金剛女	17 金剛笑	33 金剛塗	45 智幢
8 法金剛女	18 金剛法	34 金剛鉤	46 無量光
9 業金剛女	19 金剛利	35 金剛索	47 月光
	20 金剛因	36 金剛鐺	48 賢護
	21 金剛語	37 金剛鈴	49 光網
	22 金剛業		50 金剛藏
	23 金剛護		51 無尽慧
	24 金剛牙		52 弁積
	25 金剛拳		53 普賢

出所: 金剛界曼荼羅 / <http://www.igoch.co.jp/html/pgmethod/new/mandala/kongo/index.htm>

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P11	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

7 月

石文(いしぶみ)

土・日

石文(いしぶみ)とは、人が言葉を持たなかったころ、自分の想いを相手に伝えるために、石を渡した。もらった人は、その石で、相手の感情を読み取る。親子、友達、初めてあった人などで手軽に楽しめる

⇒ [ジャンルへ](#)





- お寺の役割: 行事の主催。相手を想う大切さを説く
- 費用: 無料
- 用意するもの
— 石
- 必要なこと: 石がある所への移動(川、山、公園等)

※図書館で映画「おくりびと」の DVD を借り、図書館や区・市民館でご覧になるか、プロジェクターを借りられれば、お寺での上映後に実行されることが望ましい



出所:映画「おくりびと」



ロンドン・オリンピック観戦

7 月 27 日～
8 月 12 日

ロンドン・オリンピックが開催される。なでしこジャパンを皆で楽しんで応援しよう!

⇒ [ジャンルへ](#)





- お寺の役割: 行事の主催。会場とテレビの提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
— テレビ
- 必要なこと: お知らせ

スポーツ観戦

試合開催日

野球、サッカーの日本シリーズを皆で楽しんで応援しよう!

⇒ [ジャンルへ](#)





- お寺の役割: 行事の主催。会場とテレビの提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
— テレビ
- 必要なこと: お知らせ

NO.180	P12	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	⇒ジャンルへ
--------	-----	---	------------------------

7月

家紋

土・日

家紋から自分のルーツを知る。お墓の家紋を調べるために、お墓参りすることを促し、お墓参りの作法を知り、先祖に想いを寄せることの大切さに気づいてもらう

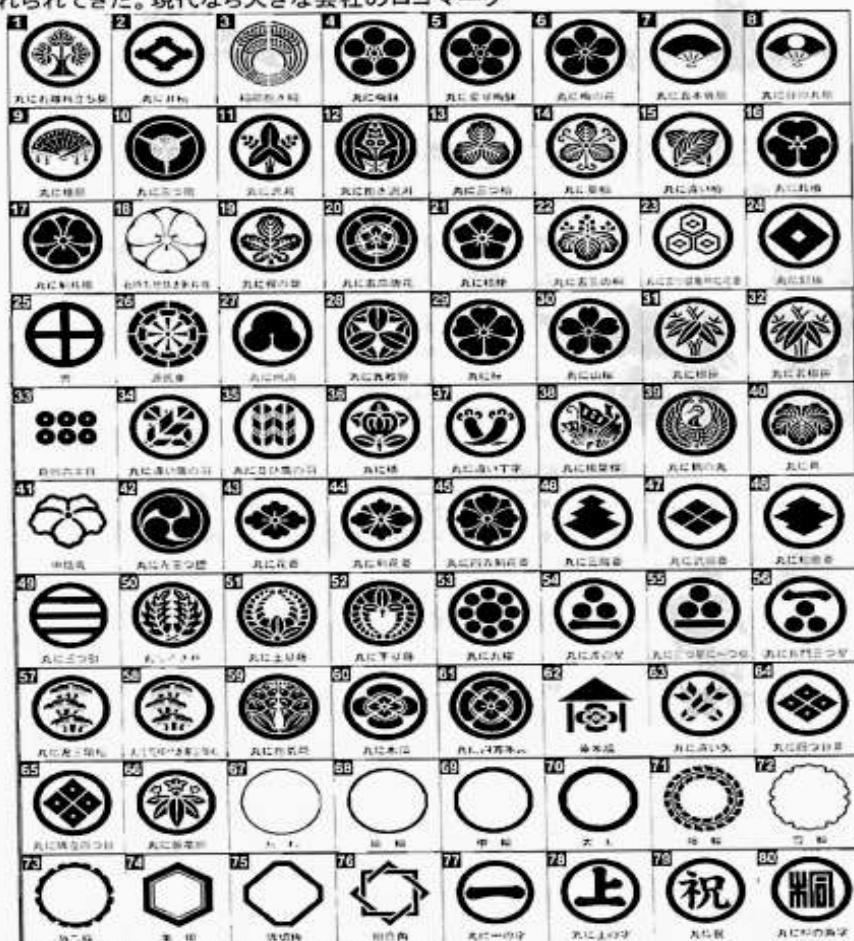


丸に三つ葵(まるにみつあおい)
徳川家の紋。ドラマ水戸黄門の印籠にも使用

- お寺の役割: 行事の主催。家紋の由来やそれぞれ意味を説明。またお墓参りの作法を教え、先祖供養の大切さを説く
- 費用: 無料もしくは有料(コピー代など実費のみ)
- 用意するもの
— 家紋の一覧表
- 必要なこと: 自分のお墓の家紋を調べる

【家紋】

およそ2万点あり、家系・血統・家柄・地位といった自分の出自を表すために、平安時代頃から使われてきた紋章のこと。読み書きができない人でも一目で見分けることのできるため、衣服や調度品など、生活の様々な場面で取り入れられてきた。現代なら大きな会社のロゴマーク



出所: 家紋一覽表 (<http://www.catseye.co.jp/koinobori/kanon.htm>)

行けば、ご縁と笑顔がある		41 才	女性
NO.180	P13	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力	
			⇒ジャンルへ

8 月

お盆のためお休み

15 日

本業が忙しいと思われるため、お休み

※旧暦、新暦で 7 月の地方もあります。適宜、ご調整ください。

時間的な余裕がありましたら・・・

お盆の風習

土・日

地元の風習のやり方をまとめた用紙を配布もしくは掲示板に掲示



「精霊馬」(しょうりょううま)

故人の靈魂がこの世とあの世を行き来するための乗り物

- お寺の役割: 先祖供養の大切さを説く
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - 地元の風習のやり方をまとめた用紙の作成

釜蓋朔日



1 日を釜蓋朔日(かまがたついたち)といい、地獄の釜の蓋が開く日であり一般的に 1 日からお盆である。この日を境に墓参などして、ご先祖様等をお迎えし始める。地域によっては山や川より里へ通じる道の草刈りをするが、これは故人が山や川に居るという文化に則り、その彼岸からお還りになる故人が通りやすいように行う。また、地域によっては言い伝えて『地獄の釜の開く時期は、池や川などの水源にはむやみに近付いてはならない』というものもある

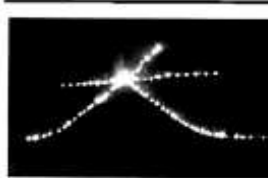
出所: ウィキペディア

迎え火



13 日夕刻の野火を迎え火(むかえび)と呼ぶ。以後、精霊棚の故人へ色々なお供え物をする。地方によっては、「留守参り」をすることもある。留守参りとは、故人がいない墓に行き掃除などをすることをいう。御招霊など大がかりな迎え火も行われる

送り火



16 日の野火を送り火(おくりび)と呼ぶ。京都の五山送り火が有名である。15 日に送り火を行うところも多い

初盆・新盆



人が亡くなり 49 日法要が終わってから次に迎える最初のお盆を特に初盆(はつぼん)または新盆(しんぼん、にいぼん、あらぼん)と呼び、特に厚く供養する風習がある。これも地方によって異なるが、初盆の家の人は門口や仏壇、お墓に白一色の盆提灯を立てたり、初盆の家の人にそういった提灯を贈ったりして特別の儀礼を行ない、また初盆以外の時には、模様のある盆提灯やお墓には白と赤の色が入った提灯を立てたりする

9月

防災訓練

1日

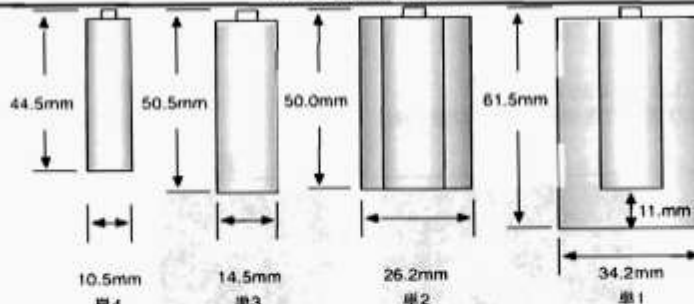
または土・日 大震災についての認識を深め、対処する心構えを準備する。今回は、非常用電池の作り方を学ぶ



※あくまでも「緊急用のアイデア」です

- お寺の役割: 行事の主催。大震災への実用的な備えを教える
- 費用: 無料もしくは有料(コピー代など実費のみ)
- 用意するもの
 - 単3乾電池(参加者の持参)
 - A4用紙(チラシでも印刷されていてもOK)
 - 1円玉8枚、アルミホイル、パチンコ玉
 - はさみ
 - 作成手順を記載した用紙

乾電池のサイズ



A4用紙



A4用紙は297×210なので二つ折りにして、1円玉の大きさ(20ミリ)だけずらして四つ折りにし、はみ出た分を切り落とすと紙の幅は42.5ミリになる。これを2枚分巻くとだいたい単2電池と同じサイズになる。

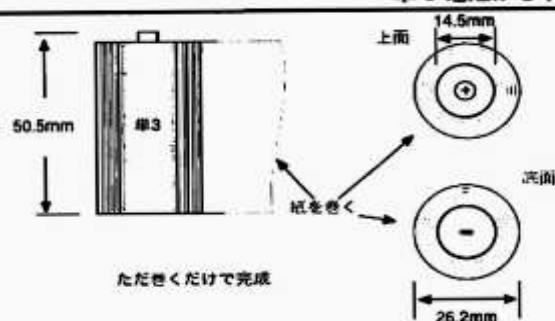
なお、あまりいい加減に巻いたり、実際の単2電池の直径(26.2ミリ)より太くなってしまうと懐中電灯などだと取り出せなくなるので注意。また、巻き始めを電池にセロテープで固定してしまうと後から電池が抜けなくなりますので固定しないように。(スペーサーは使い回せるため)

A4用紙は297×210なので縦長に四つ折りにすると幅が52.5ミリになる。

単3電池の下に(別に上でも良いが)パチンコ玉を挟んだ状態で紙(5枚分)を適当に巻き付けると緊急仕様の単1電池のできあがり。

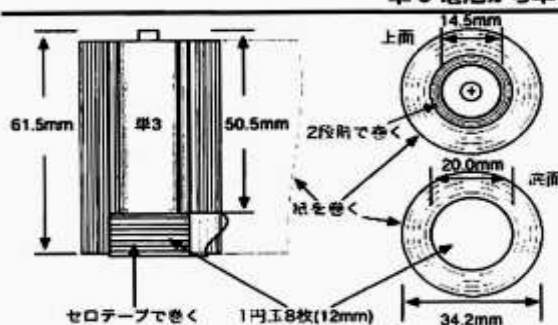
紙幅が若干狭い方が電極に干渉しないので良い。逆に紙がはみ出ていると電極が正しく接触しないなどの問題が出る。

単 3 電池から単 2 電池を作る方法



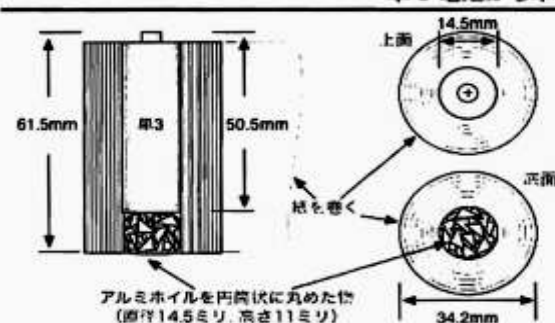
単 3 と単 2 は長さが(ほぼ)同じなので、紙などを巻いて 14.5mm を 26.2mm にまで太らせればよい。
巻き方は各自で工夫するように

単 3 電池から単 1 電池を作る方法①



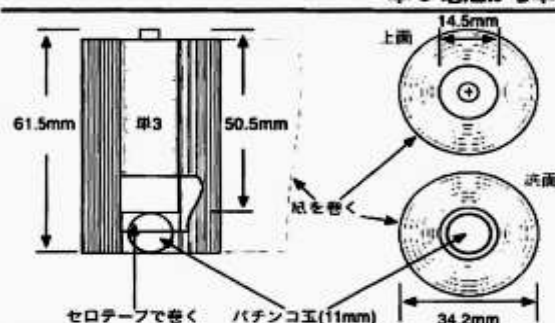
1 円玉を 8 枚(12mm)をセロテープなどで固定し、紙などを巻いて 14.5mm を 34.2mm にまで太らせればよい。
巻き方は各自で工夫するように
※なおこれは貨幣損壊には該当しない

単 3 電池から単 1 電池を作る方法②



アルミホイルを円筒状(電池と同じ太さ、高さ 11 ミリ)に固く丸めてゲタにし、電池と共に紙などを巻いて 14.5 ミリを 34.2 ミリにまで太らせればよい。
巻き方は各自で工夫するように

単 3 電池から単 1 電池を作る方法③



パチンコ玉(11mm)をセロテープなどで固定し、紙などを巻いて 14.5mm を 34.2mm にまで太らせればよい。
巻き方は各自で工夫するように

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P16

修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

10 月

終活(しゅうかつ)

いつでも 「人生の終わりのための活動」の略。人生の最期を自分の望むように準備することで、例えば葬儀の
または土・日 内容やお墓のことを事前に決めておく、遺産相続を円滑に進められるための計画を立てておく



- お寺の役割: 行事の主催。終活を通じて、死や人生を見つめなおす機会を提供
- 費用: 無料もしくは有料(テキスト代など実費のみ)
- 用意するもの
— テキストやパンフレット(葬儀、お墓、遺産相続、仏壇)
- 協力者: 知り合いの葬儀屋さん、墓石屋さん、司法書士、お仏壇のはせがわ等

【終活の本】

遺言・葬儀・相続の
すべてがわかる本



いざ、というときのために知
っておきたい大切なことが図
解を見て簡単に理解でき
る！「終活」を始めたい方に
も最適!!

おひとりさまの終活



自分らしい老後と最後の準備

葬式は必要!



最期の儀式に迷う日本人のた
めに

わたしの葬式自分のお墓



よりよく今を生きるために、人
生の最後を考える終活マニ
アル

【お仏壇のはせがわ】

△ はせがわ 祈り・供養・感謝

☎0120-558-594

365日24時間対応致します。

※サービスは、現在 1 都 7 県(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県)にお住まいの方に限らせていただいております。

お仏壇・お墓についてのお問い合わせ 受付時間 10:00～18:00 不定休

東日本 **☎ 0120-11-7676** 西日本 **☎ 0120-76-3976**
フリーコール フリーコール

お葬式についてのお問い合わせ・ご相談 受付時間 24時間 365日

☎ 0120-558-594 東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、
群馬県、栃木県、山梨県にお住まいの方に
限らせて頂いております。

出所: お仏壇のはせがわ(<http://sougi.kuyou.com/>)

行けば、ご縁と笑顔がある

41 才

女性

NO.180

P17

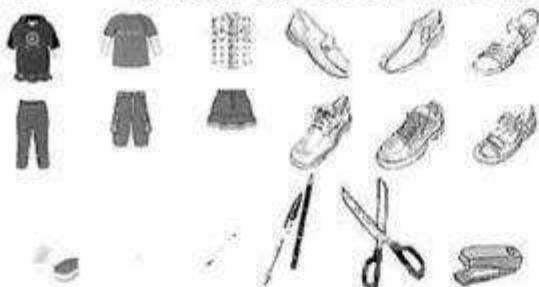
修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／一般年中行事／セレモニー／土地を貸す／仏教年中行事／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力

[⇒ジャンルへ](#)

11 月

エコ交換

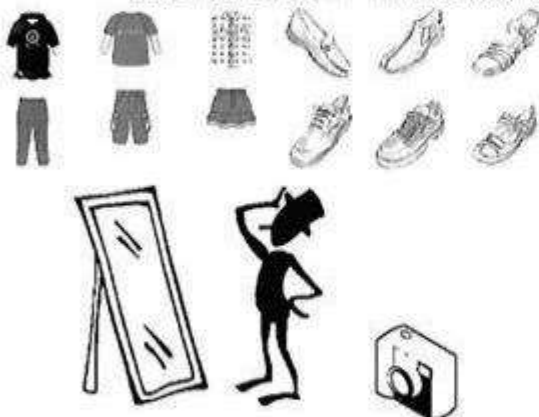
土・日 物々交換。リサイクルし、「もったいない」精神を育む



- お寺の役割: 行事の主催。場所の提供
- 費用: 無料
- 用意するもの
 - まだ使用可能な品物(洋服、靴、傘、文房具、CD、ゲーム、台所用品、タオル等、持ち帰るものに限定)
- 必要なこと: お知らせ

Re・コーディネート(リユース(Reuse・再使用)の「リ」)

土・日 タンスの肥やしになっている洋服やエコ交換で交換した服や靴などを洋服販売の方にコーディネート提案してもらい、リユース(再使用)する



- お寺の役割: 行事の主催。場所の提供
- 費用: 無料もしくは有料(洋服販売の方への謝礼)
- 用意するもの
 - タンスの肥やしになっている洋服
 - エコ交換で交換した服や靴
 - 鏡(ない場合は、携帯のカメラ撮影で確認)
 - 携帯もしくはデジカメ
- 必要なこと: 洋服販売の方(デパートや商店街の方)

12 月

クリーン・アップ(清掃活動)の慰労会

第3土曜日 毎月1回行っているクリーン・アップの方々の交流を持ち、皆勤者には景品を贈呈



- お寺の役割: 場所の提供、作務(さむ)に関する説法を説く
- 費用: 有料(飲食代など実費のみ)
- 用意するもの
 - 景品(区・市役所など、もしくは参加企業から寄付してもらう)
- 必要なこと: 出勤の記録、管理

春夏秋冬、あるいは、月に一度でも
お寺さんで般若心経の字経をして
みる会があったらいいなと以前から
思っていました。カネーセミナーの字経
教室もありましたが、何が違うかと
感じていたからです。

今日、暮集ペンとくを見たら、
実家の祖先様がねむるお寺さん
で、メカ真近でいたであわてて

ペンを取った次第です。

今こそ、日本の仏教文化を伝承す
る一般のわたくし達に少しも
お寺離れにならない為にも、お寺さんの
もよおしに大切な事と思っております。

今、学校でもお習字の時間がなくなり
日本文化は静かに消えてしまっている！
と、不安でした。ありまして、道徳時間
がなくなった時よりショックでした。

書を書くには、硯の職人、墨の職人、
和紙の作り手、筆の作り手が
います。その方々のつむいでできた生命
まで、廃たれさせてはならないとも思ったり
します。

日本の仏教文化再生のためにも
古典的な時間がお寺さんから
発信されます事を心より

祈念致します。

お寺で GON		66 才	男性
NO.183	P1	修行／相談窓口／ボランティア支援	
			⇒ジャンルへ

㊦「お寺でGON」の企画のねらい

①日頃、お寺に縁のない人にも呼び掛けたいアイデアを提案をします。

お寺の存在は、お寺と檀家だけのものではないということを初めに訴えたく思います。「お寺でGON」のタイトルは、お寺で鐘を突く意味あいからヒントをえて、お寺に来ると何か良いことがあるよ、といった企画です。

②まずお寺は、一般の人たちに対して、もっともっと親しみ易い存在でなければならないといけません。現実にはこんな例があります。

「当寺は、檀家以外の入場はお断り致します」という立て札を目にするのです。果たして、このお寺は一般世間さまとどういう関わり方をしているのだろうか、不思議でなりません。

③そのために、お寺は、もっともっと開放的であらねばと考えます。それでは何をすれば良いのかという提案を、下記に具体的にプニンングしてみました。

これが実現化すれば、どんなにかお寺のイメージも変わり、地域社会との結びつきも強まるのではないかと自負いたします。穏やかで幸せな社会が大きく広まることを願ってのことです。

㊦「お寺でGON」の具体的な実施アイデア（イベントを中心）

A)『お寺で知恵くらべ』（月に1回開催／毎回テーマが変わる）

例) 第1回「究極の発電力を創造する」

（既存のエネルギーにとらわれないアイデアを）

…定員30名程度、参加費有料

*アイデアの著作権はお寺と参加者に *講師：住職、専門家

B)『お寺で健康』（月に1回、週末に2泊3日）

例) 第1回「お寺で不眠解消」健康シリーズの第一弾。

天井が高く、部屋も広い。静かで落ち着いた睡眠環境を活用する。

早寝早起き、掃除、座禅、写経などを体験。食事は精進料理を食する。

…定員15名程度、参加費有料

*講師：住職／協力：病院

お寺で GON		66 才	男性
NO.183	P2	修行／相談窓口／ボランティア支援	
			⇒ジャンルへ

C) 『お寺で身の上相談』（週に2回程度）

例）浮気、離婚、子育て、借金、介護、近所付き合いなど身近な悩みごと、困りごとの相談に応じる

…定員5名程度、各1時間、参加費有料

講師：住職、僧侶

D) 『お寺で冠婚葬祭の常識』（月に1回）

知らない恥じをかく冠婚葬祭のアレコレを解説する。

例）通夜、葬儀、法事、婚約、結婚式など。

…定員20名程度、参加費無料

講師：住職、専門家

E) 『お寺と地域のトークトーク』（2か月に1回）

例）「商店街活性化の妙案を探る」大討論会

第1回「お客さんが喜ぶこととは」

参加者／お寺、商店街会員、消費者

…定員30名程度、参加費（お茶代程度）

F) 『お寺をオフィスに』（月～金、午前9：00～16：00）

①都心のオフィスの机で仕事をする発想を変えてみる。お寺に來ると不思議と心が落ち着き、いろいろなアイデアが浮かぶ（？）。企画を練るには最高の環境ではないか。

②疲れたら、遠慮することなく畳みの上に寝転ぶのもよし、お経を唱えるのもよし。

③ストレスのない新鮮な職場環境に、癒されること必至（？）。

*パソコン持参で自由に働いて（休んで）もらう。

…定員5名×4組程度 使用料有料

G) 『お寺で講演会』（月1回）

例）「町工場のすごい力」

「お父さんのファッション」

「就活に勝つ」

「お線香の話」

「お経の話」

「八百屋さんの話」「肉屋さんの話」「魚屋さんの話」

「お茶屋さんの話」

「介護の話」

「風呂敷の効用」

…定員50名、参加費有料（お茶代程度）

地元密着にした講演テーマでコミュニケーションを図る。

講師：町工場社長、専門家、住職、商店街のお店の社長など

その一
要約「寺の一部分に図書室を作って頂き、地域の皆さんに利用して頂く事です。」

避地の町村には図書館の無い所や、有っても遠方で利用しづらい地区が沢山あります。その様な所で寺院内に図書室を作って頂き、地域の皆さんに利用していただく場を、提供して頂きたいのです。

本は、地区の方々の不用のものや、寺や僧侶の皆さんの不用品を集め、用にあてるのです。当然、不足のジャンルも出てくると思います。

その様な本は全国的に古本のチェーン店「ブックオフ」を利用していたらいいと思います。どの店でも百円均一のコーナーが有り、なかなかの良い本も並んでいます。一般の古書店でも均一コーナーが有り、それ等を利用して頂ければいいと思います。

なお、収蔵書の三分の一ほどは、子供向けの絵本や児童書、それに赤ちゃん向けの料理・育児などの本や雑誌も用意して頂ければいいと思います。

図書が貸し出しなどの管理はボランティアの方や利用者の自主管理をお願いすると思います。

いずれにせよ、実験的にまずは実施されてほしい。提案させて頂きました。

曾侶の方の趣味を利用した教室をと思っています。
 時に、無趣味の方の参加出来る「漢字教室」の場を
 設けて頂ければと思っています。

「漢字教室」は、雑誌「漢字王」や「漢字百選」など、市販で
 売っている漢字クロスワードを利用したもので、それ等の本をテキ
 ストとして、特定の日には集まって頂き、皆さんと共に
 解答を考えるサークルの場を提供して頂きたいです。
 テキストに使う漢字クロスワードなどは五百円前後で毎月売
 られていますので皆さん、同一のものを購入して頂き、暇な時に
 考え、不明な所を皆さんが集まる時に埋めて行くといった
 方法でやって頂き、解答用のハガキは十枚ほど雑誌に
 綴じられています。そして各自が送って頂ければ、いろいろ
 な賞品や現金、商品券が抽選で当たるといった楽しみが有リ
 ます。クロスワードの問題も初歩から超難問まで有ります。
 し、同時に、自選でもパズルを作る事をやってゆけば、
 いつ迄も続けられるサークルではないかと思っております。
 特に高齢者の方には良い趣味となり、ボケ防止の
 効果も有ると思っています。
 「漢字教室」を寺院内に作って頂き、地域の方々の
 交流の場とされてはと思ひ、提案させて頂きました。

その三

要約

「古衣料」のリサイクル品を寺内の一部に置かれ、特定の日に皆様に利用して頂く場の提供をお願いしたいのです」

私の住む市では、月に二度ほど資源ゴミの回収があり、さすがに山積みにはされ棄てられる衣料が目につきます。中には新品も有ります。その様な状態ですから、古衣料の寄贈を地区の皆さんや、寺院の発行される機関紙や雑誌などで皆様のうらにお願ひすれば、沢山集まるのではないかと考えています。その中の良品も展示し、例えば十枚綴りのチケットを三百円とか五百円で買って頂き、一点が三十円、五十円で手に入れば、大変喜ばれると思います。まず、収入は、アルバイトの方の給金とし、又ボランティアの方の食事代などに使って頂き、残ったお金で地域の為に例えば年末に餅搗き、大会に使う頂くとか方法はいろいろ考えられます。

皆さんの協力の結果を公表されれば、一つの輪となり、寺の存在も大きく映るのではないかと思います。提案いたします。

その他に、《災害時、帰宅困難者の休憩の場の提供です。その様な場である事も、ポスターなどで明示し、周知されれば万一の場合に役立つのではないかと考えています。一つでも活用して頂ければ幸いです。

要約

「なでしこ寺」を造ってください。

「あじさい寺」「ぼたん寺」など 日本各地に苑の寺として知られた所が有りますが、「なでしこの寺」は聞いた事がありません。

それに「なでしこの名は聞いて知っているか、どんな花か知らない」そんな声も多く耳にします。

そこで花やガーデニング好きな住民さんの寺に境内の一角でも良いので「なでしこを群生させ地域の人人が見学に来られる様」育成させて頂きたいのです。出来れば一県に一寺以上を願っています。

これか今回の私の提案です。その他に「薬草の寺」や「香草の寺」なども良いのではと思っています。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P1	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

1. はじめに

今回の「地域社会のためのお寺の活用アイディア募集」というコンペにあたり、アイディアの募集とあったが、実際にそれらを活用しようとした時にアイディアだけでは不十分と考え、このような形で応募させていただいた。

地域にしても、お寺にしても、そのあり方には種々様々な形態がある。その為、地域やお寺の特性を十分に考慮に入れなければ、様々なアイディアも十分に活用しきれないと考えられる。そこで様々なアイディアを十分に活用するための前提として、地域やお寺のあり方やその分類について、論じさせていただいき、その後「地域社会のためのお寺の活用アイディア」を列挙させていただく。

2. 地域社会のためのお寺活用について

1) 現状

現在、日本の社会は、総人口うち65歳以上の占める割合が7～14%を占める高齢化社会をさらに越え、その割合が21%を越える超高齢化社会となっている。また、その歪な人口構成を正すための対策も遅々として進まず、その割合は、これからも増加の一途を辿ると考えられる。また、一方で日本は少子社会でもある。少子社会とは、高齢者人口（65歳以上人口）よりも子どもの数が少なくなった社会と定義され、日本は1997年より少子社会になっている。また、2005年には、日本の総人口が戦後初めて自然減少した。

また、個人主義を中心にした社会の発展は、生活の上で他者に頼らなくても生きていける便利な社会を生み出した反面、他者に頼ることで生まれる「つながり」を軽視する生活スタイルを生み出した。

このような人口構成の異常、個人主義中心の社会の発展は、都市や田舎といった地域社会そのものの、あるいは、それぞれの人が拠り所としている家族、あるいは様々な人間関係にも多大な影響を及ぼしている。即ち無縁社会という言葉に表されるような、人と人とのつながりの希薄化、あるいはつながりそのものの欠如である。

3月11日に起きた東日本大震災により、日本全国で絆という言葉が大きくクローズアップされた。しかし、逆に考えれば、それまでは絆がまったく気にされない社会だったともいえるのではないだろうか。

そのような、つながりの希薄化の実例を上げれば、日本において60%近くを占める核家族世帯、隣に誰が住んでいるかも分からないマンション・アパートの生活、ニート・引きこもりと呼ばれる人々の増加、限界集落と呼ばれる地域の増加などのように、枚挙にいとまがない。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P2	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そもそも、つながりとは仏教においては「縁起」のことであり、人間の本质、社会の本质であると説くほど重要なものなのである。しかし、今の社会ではそのつながりが欠如し、まるで一人だけでも生きていけるかのような錯覚を、与えているのである。

つながりの欠如・希薄化は間違いなく、日本の社会に悪い影響を与えている。例えば、年間自殺者数3万人という異常事態が毎年のように続く社会や、孤独死なる現象が現れ、無縁社会と呼ばれるようになっていく社会の現状、生活困窮者の増加、結婚してもすぐに離婚してしまう夫婦、幼児虐待、高齢者虐待と、様々な社会問題が起きているが、これらの多くは人と人とのつながりの希薄化・欠如が原因であり、遠因となっている。

現在の日本社会を一言で表すなら、本来欠くことのできない、人と人とのつながりが欠けてしまった社会なのである。

多くの地域社会では、上記に上げたような問題を抱えつつも、それぞれの地域の活性化を重要な課題として認識し、様々な取り組みを実行している。ではそのように様々な取り組みられる地域活性化とは、いったい何なのであろうか。前述したつながりの欠如した現代社会をふまえて表せば、地域活性化系とは、つながりを再度認識し、より強固に結び直したり、新たなつながりを結ぶことにある。その為に、地域活性化の名の下に、対外・対内に向けて様々な活動・イベントが催されているのだ。

さて、地域活性化とは、このように意図され、行われるわけだが、一口に地域活性化といっても、その地域が抱えている課題・問題は千差万別である。人の多い都市部もあれば、限界集落と呼ばれるような地域もある。農業や漁業を主要産業にしている地域、工場の多い工業地帯等々。その地域地域によって生活スタイル、人とのつながり方、風習、慣習、伝統と様々な要因によって、生まれてくる課題や問題も全く異なるものになる。

そこで次章では、まず、全体的な視点から地域社会とそこのお寺について、を論じさせていただく。次いで、具体的なお寺活用のアイデアをリストアップし、最後にまとめを書いていく。

2) 地域社会とお寺の分析

一言に地域社会といっても前節で述べたように、その場所ごとに生活スタイル、産業構造、習慣、風習、そして抱えている課題や問題は様々である。また、その中にあるお寺に関しても、檀家寺、祈祷寺、あるいは観光寺の違いや、檀家の数、その地域の中での立場など様々である。そのため、日本各地にある全てのお寺に適用でき、かつ有効に使えるようなお寺の活用方法などというものは存在しない。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P3	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そこで、必要となってくるのは、その地域の状況を十分に理解し、お寺の持っている資産・潜在力をきちんと把握することである。その二つが十分に理解できたなら、自ずとその地域が抱えている問題が見えてくるだろうし、その問題が起きている原因も見えてくるだろう。そして、同時に、その問題に対してお寺が持っている潜在力をいかに使えば効果的なのが見えてくる。そこまで分かれば、あとは実際に、行動を起こせばよいのである。

以上のことをふまえた上で、本章では地域社会、お寺について、私なりの分析・分類を行っていく。

・地域社会の分析と分類

まず、地域社会の分析であるが、地域社会は大きく都市部と農村部に分けることができよう。東京や大阪といった都市部と私が住んでいる熊野地方では、その生活スタイルも必要とするものも、全く異なる。さらに、都市部、農村部それぞれの中においてもお店や商店が集まる商業地区なのか、住居の多い居住地区なのか、田んぼや畑の多い農業地区なのか、工場の多い工業地区なのか、あるいはオフィス街、繁華街、また学校といったように、その場所や建物の機能によって地域社会を分類できる。以上は、場所や施設、建物の観点からおこなった地域社会の分析である。

続いては、人口、あるいは人口構成である。

その地域には何人の人が住んでいるのか。そして、その内、男女の比率はどのくらいなのか、あるいは、子どもはどれくらいの割合で、大人はどれくらい、老人はどれくらいなのか。このようなことも十分に把握しておかなければならない。

年代や男女の割合と同時に大切なことが、それぞれの人がついている職業である。学生であるか、仕事をしているか、仕事をしていないのか。仕事をしている場合にはさらに詳しく知る必要があるであろう。職業はもちろん、できるならば職業形態もふまえて、どのような仕事をしている人が、どのくらいの割合でその地域にいるのか、これらも分析する内容に含まれる。

以上は、人という観点からおこなった地域社会の分析である。

最後に、時間の流れからみた地域社会の分析である。

どのような地域であれ、そこに人がおり生活や仕事を行っている地域には、時間の経過による大小様々なサイクルが存在する。例えば、一日のサイクル、1ヶ月のサイクル、一年のサイクル。その他にも、伊勢神宮で行われる20年ごとの式年遷宮のような、その地域独特のサイクルも存在するだろう。このサイクルを把握することも地域を分析する上で大変重要なことである。例えば政治家は選挙期間中、通勤時間に駅に立って街頭演説をする事が多い。これはそこに住む人々の一日のサイクルを把握しており、その時間、その場所に人が多く集まることを知っているからである。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P4	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

その地域の中で一日のサイクルはどのように動いているのか、あるいは一ヶ月のサイクルの中で行われる行事や集まりのようなものはあるのか、あるいは一年ごとのサイクルで行われる行事や催し物は何なのか、そして、その中で人々はどう動いているのか、しっかり把握されなければならない。

以上が、時間のながれという観点からの地域の分析である。

最後に社会全体・地域固有の動勢、流行、ニーズといったものも、常に考慮に入れておかなければいけない。今社会が何を求めているのか、また、地域の人々が興味を持つものは何なのか、それらは社会の動きと共に、常に変化し続けている。上記の場所・人・時間の分析をふまえた上で、社会の動勢の把握も、地域社会を分析するさい、重要なポイントとなるであろう

・お寺の分析と分類

次にお寺の分析について述べていく。

お寺にどれほどの潜在力があるのか。これはお寺で生まれ、そこで育った人ほど分かりにくいのではないだろうか。お寺やその周辺が日常になりすぎていて、何が特別なのか気づけないのだ。地域社会のためのお寺活用といわれても、お寺の何が地域社会の役に立つのか気づけなくなってしまうのだ。そこで、地域社会の分析と同様、お寺自身についての分析も必要になってくる。

さて、お寺というものを考えた時、まず大きく、施設の側面と人のつながりという側面に分けることができよう。

施設の側面から見たお寺の潜在力の分析とは、文字通り、建物や周辺状況について把握することである。設備はどのようなものがあるのか。本堂の広さ、本堂内部の配置、本堂以外の部屋はどれくらいあり、どんな配置か、水回りはどうなっているか。また、境内についても、広さ、諸堂の有無、植えられている木や花は何で季節によってどう変化するか、石畳なのか芝生なのか、この他にも気づいたことは何でも分析・分類の対象となるであろう。お寺そのものの以外にも、お寺の立地状況、周りにどのくらい建物があるのか、お寺までのアクセス情報、お寺周辺の道路事情等々、地域社会の中でお寺がどのような位置にあるのかも重要な分析・分類の項目となる。以上が施設の側面からのお寺の分析・分類である。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P5	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

次いで、お寺を中心とした人のつながりという側面からの分析である。お寺を地域社会のために役立てようとする時、この人のつながりこそが、最重要のポイントとなるのではないだろうか。何となれば、どんな活動、集まりも人によって行われるものであり、人のつながり無くしては成立しないのであるから。さて、その人とのつながりであるが、お寺という組織は人とのつながりという点において、他の商店や会社のような組織にはない大きなアドバンテージを持っている。それは、つながりの深さである。お店や会社におけるつながりとは、基本的には物の売買を通してのお客さんと組織・お店というつながりである。そのため、そのつながりの深浅は、組織内部の社員や店主のそれぞれの接客態度や資質による。しかし、お寺の場合のつながりは、その人の生老病死、それぞれの人生の岐路に深く関わることを前提としており、おのずからお寺と人とのつながりが深いものとなりやすく、家族ぐるみでつながることも稀ではない。これこそが、他にはないお寺のアドバンテージであり、地域社会に役立つなにかの活動をする際の強力な武器となる。

では、お寺と人とのつながりというものを分析するとどうなるであろうか。先ず大きく、①お寺を信仰の対象とする檀家・信者、②お寺を生活の場とする寺族や僧侶同士、そして、③その他の出入りの業者や観光客、散歩に立ち寄る人等に分けられる。このうち、なんらかの活動をする際に、最も力になってくれるのは①、②に属する人たちとのつながりであろう。それでは、以下よりそれぞれの分類について細かく述べていく。

先ず、①お寺を信仰の対象とする檀家・信者に属する人たちについてである。この分類に属する人たちは、お寺という組織を日常的に支えてくれている人たちでもあり、お寺自身にとっても最も重要な人たちである。であるから、檀家・信者について、できる限り詳細な情報を得ておくことは、何を置いても最優先されなくてはならない。そして、同時にその情報は常に更新し続けていかなければならない。人は時間の経過と共に、常に変化していくものであり、抱えている悩みや苦しみ、問題や課題も常に変化しているのだから。そこで役に立つのが、昨今言われるようになった現在帳であろう。現在帳を作ること、檀家・信者の動勢を視覚化し、きちんと把握しておく。そして、その変化を常時更新することで、最新の情報として管理しておく。これがきちんと行われているなら、お寺と檀家・信者とのつながりは、自然に太く、深いものとなり、お互いがお互いの存在を身近に感じることだろう。現在帳の作成は地域社会に役立つお寺を考える際にも、強力な武器となるのだ。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P6	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

そこで現在帳を作る上で、書かれるべきである情報の項目例も以下に列挙しておく。

【現在帳項目例】

氏名、住所、電話、fax、お寺から家までの地図、家族構成（同居人、親戚等）、誕生日、学校、学歴、仕事、職歴、過去帳的項目（故人、年齢、法号、祥月命日、葬儀日時、法話内容、場所）、お見舞い・法事・葬儀の記録（月日、法事の内容、法話内容、備考）、人生相談の記録（月日、内容、指導内容、結果、備考）

以上、上げた項目は、あくまで必要最低限と考えられるものである。その他、その人について気づいたことがあれば何でも記録しておくべきだ。その情報の積み重ねこそが、実際に活動する時の大きな力となる。また、何度も書くが、これらの情報は常に更新を続けなくてはならない。それこそがお寺と人とのつながりの強化であり、深化なのである。

次いで、②お寺を生活の場とする寺族や僧侶同士のつながりについてである。この分類に属する人とのつながりは、①の分類の人たちとは別の側面で、大きな力となる。①に属する人たちが、お寺から見て対外的な側面が強いのに対して、②に属する人たちは対内的側面が強いのだ。では、具体的に②に属する人たちとはどのような人たちであろうか。まず上げられるのは、お寺に住んでいる住職とその家族、そして、その親戚たちである。場合によってはつながりの深くなった檀家・信者がこの分類に入ることもある。これらの人たちがこそが、お寺が何か活動をおこなう際の中核となる。次いで、僧侶同士のつながりである。同じ地域に住む同業者、隣町のお寺さん、同じ県内のお寺さん、あるいは、大学や修行場で苦楽をともにした旧友。このような同業者のつながりも、同業者であるがゆえに、様々な悩みや困難を共有でき、助け合っていくことができる大切なつながりである。以上のように、①に属する人たちがお寺で行う活動の対象になることが多いのに比べて、②に属する人たちは様々な活動を行う時に頼もしいバックアップとなることが多いのだ。

最後は、③その他である。この分類に属する人たちとしては、様々な活動に際して初めてお寺に来る人や観光客、散歩に立ち寄る人、出入りの業者等があげられる。これらの人たちは、①、②に属する人たちに比べて、お寺とのつながりが薄い、あるいは全く無いことが特徴となる。その為、宣伝・広告等を何も行わなかった場合、もっともつながりが作りにくい人たちである。しかし、その困難を乗り越えることができたなら、地域にとっても、お寺にとっても非常に大きな可能性となる。であるから、地域社会の活性化のため、お寺が対外的な活動をおこなう際には、広告・宣伝にも気を使い、この分類に属する人たちにも、十分気を配る必要がある。

以上、お寺の持つ資産・潜在力ということについて、人とのつながりという側面からの分析をおこなった。

次章では、具体的なお寺活用のアイデアを列挙していく。

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P7	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

3. お寺活用アイデア

1) お寺活用アイデアについて

本章では、お寺を地域活性化のために利用するための様々な活動・イベントについての具体的なアイデアを列挙していく。それぞれのアイデアには、そのアイデアの概要、目的、期待される効果、おおよその期間、対象となる人々の年代を記してあるので、実際に活動される際には参考にされたい。

なお、これらアイデアはあくまで、活動・イベントの核にしかすぎない。場合によっては他のアイデアと組み合わせたり、内容をアレンジしたりすることも十分にできるので、前章のような分析に基づいた各地域やお寺の状況・状態に合わせ、それぞれのアイデアを自由にアレンジしていただきたい。

2) お寺活用アイデア一覧

1 【お寺でコンサート】

概要：本堂を使用しておこなう様々な楽器によるコンサート。

例…クラシック、民族舞踊、ジャズ等のコンサート

目的：お寺という場に親しみを持ってもらう。

効果：本堂という通常とは違う雰囲気の中で音楽を聴いてもらうことで、一般のコンサートホールやライブハウスにはない独特な空気を作り出すことができ、新鮮な体験を味わってもらうことができる。これにより、会場のお寺に従来の近寄りがたい、や敷居が高いといったイメージを変え、より地域の中に密着したものにすることができる。また、演奏家側にも通常とは違う場所でのコンサートに、お寺への親しみ、演奏家自身の新しいイメージを生み出すことができる。

期間：半日、御会式、お施餓鬼等の法要の後の数時間

対象：全年齢

2 【学習塾】

概要：本堂、あるいは客間等を使用した学習塾。形態として受験を目標にした形態、学校での授業の補習を目標にした形態が考えられる。

目的：勉強を教えていく過程で、学校、通常の塾では軽視されがちな、倫理道德、モラル等も指導する。また、子ども、学生といった若い世代に、お寺に親しんでもらう。

効果：子どもの成長の中にお寺の存在を加えることができる。また、お寺を支えていく信徒青年団へと繋げていくこともできる。

期間：1年～

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P8	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

3【図書館、図書スペースの設置】

概要：本堂、あるいはお寺内の一室、一面に図書ブースを作る。そして、仏教書、一般書等を並べた本棚を設置し、本の閲覧・貸出を自由に行う。また、その一部として閲覧・自習スペースを設けることも考えられる。

目的：檀家、一般地域住民の知識向上。知的好奇心の発育。また、お寺に足を向ける理由にもなる。

効果：身近にあるお寺に、簡単に閲覧することができる本があることにより、それまで本を読まなかったような人にも手に取ってもらいやすくなり、また本を読むことにより知識の向上を図ることができる。仏教書のみならず、一般書を置くことで、新たな興味を持ってもらえる。さらに設置する本に漫画、絵本、ライトノベルのような子ども向けの本も含めることで、子どもにまで対象を広げることできる。

期間：無期限

対象：全年齢

4【お茶会・カフェスペース・喫茶ブース・ラウンジ・オープンテラス】

概要：本堂、境内を使い、お茶会を開く。あるいは常設型のカフェ・喫茶スペースを設置する。

目的：人の集まりやすい場所、集まりたい場所を、本堂、境内を開放して設置し、様々な人を集める。そして、お茶と共にゆっくりした時間と参加者同士の交流・会話を楽しんでもらう。

効果：お茶と共にまじわされる会話により、コミュニティ内部のつながりの強化が考えられる。また雑談等の中から地域社会内部の様々な情報を得ることもできる。

期間：無期限

対象：20～50代

5【放課後の遊び場】

概要：小学校、中学校、高校の授業終了後の遊び場、勉強の場所として境内を開放する。

目的：安全な境内を遊び場とすることで、親や子どもが安心して遊べる場を提供する。

効果：子ども達に仏教に基づく倫理道徳を学ばせることができる。子ども同士の、学校を越えてのつながりができる。子どもの成長過程にお寺が関わるきっかけとなり、よりモラルの高い青少年育成に繋がる。

期間：無期限

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P9	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

6 【カルチャースクール】

概要：お寺の持つ人脈を生かし、様々な文化・教養を持つ人を講師に定期的なカルチャースクール、講習会を行う。

例…茶道、華道、ビジネスマナー、地域の歴史、パソコン教室、ヨガ、英会話、写真講座、囲碁、将棋、書道等

目的：お寺の人脈を地域に住む人々と繋げ、それぞれの人に有意義に活用してもらう。

効果：お寺の、これまでとは違った側面を見せることができる。様々な文化を学ぶことに対して、移動や資金の面であきらめていた人々に、敷居を低くして参加してもらうことで、新しい事を学ぶ満足感を得てもらうことができる。

期間：3ヶ月～1年

対象：20～70代

7 【修行会・修行道場】

概要：短期間、短時間で簡易的な修行体験を行う。

修行例…勤行、唱題行、写経、作務、水行、

目的：癒しというような心の安心が求められることが多かった昨今、修行を通して、心に平安、平穏を取り戻してもらい、それからの日々の生活の助けとしてもらう。

普段なじみのない仏教とその実践に触れてもらうことで、仏教に興味を持ってもらい、また、仏教が日々の生活に役立つことを感じてもらう。

効果：それぞれの生活の中に仏教とその実践を取り入れるきっかけとなり、心安らかに日々を送るきっかけとなる。お寺、僧侶とのつながりができることで、それからの法事や葬式、お寺での行事への取り組み方も変化してくる。

期間：1日～1週間

対象：20代～

8 【朗読会・読み聞かせ会】

概要：本の朗読会、また、幼児、小学生対象の読み聞かせ会を本堂でおこなう。

目的：知育、知識向上。普段本に接することが少ない人に物語の面白さ、楽しさに触れてもらう。また、普段本を読む人にも、耳から物語を聞くという新しい体験を経験してもらう。

効果：物語の内容、面白さが耳から直接伝わることで、それまで本に接することが少なかった人も、本を読むきっかけとなる。ひいては知的好奇心の増進、知識の向上にも繋がる。

期間：半日

対象：全年齢

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35才	男性
NO.189	P10	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

9【写経・写仏・仏像制作の会】

概要：お経を自らの手で書き上げる写経や、仏の絵を書く写仏、また彫刻刀で自ら仏を作る仏像制作等の行為を、本堂という場で行う。

目的：写経、写仏、仏像制作を通して、自らと向き合い、乱れた心を整え、心の平安を取り戻す。

効果：お経や仏像と真剣に向き合うことで、それまでとは違った見方が、お経や仏像に対してできるようになる。よりお経、仏像を身近なものとして感じられるようになる。

期間：半日～1日

対象：20代～

10【アマチュア趣味人の展示会、各人の趣味紹介】

概要：お寺を展示会場と見立て、様々なアマチュア趣味人の展示会を行う。また同時に展示を行った本人による講習会、体験会等を行う。

発表・展示例…写真、絵、陶芸、アロマテラピー、書道、詩、活け花、水墨画、彫刻等

目的：同好の志の交流。その趣味に興味を持っている人には、より詳しく知ってもらえる場となる。また、全く知らなかった人にも興味を持ってもらう。地域社会内の趣味を通したつながり作り。

効果：色々な人の色々な趣味を展示・発表する場を提供することで、発表者は刺激と向上心を得られ、見に来てくれる人には、自分の知らなかった趣味との出会いとなる。趣味を紹介することで、お互い同士をより深く知り合える。

期間：1日～1週間

対象：10代後半～

11【田舎暮らし移住支援・移住体験】

概要：田舎に暮らしてみたい、農家になりたいといった人を対象にした、衣食住から人付き合い、田舎暮らしのノウハウまで含めた移住支援。あるいは、田舎暮らし、農家体験。

目的：田舎暮らしをしたいが、不安だという人に、様々なサポートを行うことで、より長く、安心して田舎に移住してもらい、その地域の活性化に繋げる。

効果：閉塞感の強い農村部に他の地域から人を迎えることで、新しい変化をもたらす。田舎移住を考えている人には、安心感を与え新しい一歩を踏み出す後押しになる。同時に迎える側も、それまでのマンネリ化した生活から、新しいつながりを育て、成長させる生活に変化し、日々の生活に意欲が生まれメリハリを与え、より生き甲斐のある生活になる。

期間：半年～数年

対象：30～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P11	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

12【農業体験】

概要：檀家、あるいはお寺周辺の農家と協力して、それまで農業体験をしたことがない人々に畑を耕す、種を植える、収穫する等の農業体験をしてもらう。

目的：普段食べている野菜や果物がどのように収穫されるのか体験してもらう。食べ物のありがたさの再確認。いただきますの心を取り戻す。

効果：食べ物の大切さを再認識できる。

期間：半日～1日

対象：10～60代

13【お葬式セミナー・臨終行儀・エンディングノート作成】

概要：お葬式そのものの意味や読まれるお経の内容、祭壇に飾られる様々なものの意味をセミナー、講習会の形で説明する会。また、実際にお葬式を体験する体験型セミナー、講習会。その一環として自分自身の死に対しての終活支援（エンディングノートの作成等）を行う。

目的：お葬式やそれに付随する様々な儀式の意義、必要性、大切さを理解させる。避けることのできない死について、きちんと考える時間を持つ。

効果：普段考えることのない死について、考えるきっかけとなる。死を実感、体験することで周囲に対する優しさ、思いやりが生まれるまた自分自身の生活においても、死を意識することでメリハリが生まれてくる。

期間：半日～1日

対象：20～60代

14【スポーツチャンバラ】

概要：境内を開放して行うスポーツチャンバラ。あるいは新聞紙等を丸めて作った紙製刀によるチャンバラごっこ。

目的：スポーツ振興。子ども達の体力・健康の増進。子ども同士のつながりを広げ、深める。

効果：外で走り回って遊ぶ子どもが少なくなった昨今、チャンバラという単純ながらも、熱中できるスポーツを通して体力の増強、健康の促進を図れる。また団体戦形式で遊ぶことで、子ども同士のコミュニケーションが深まる。

期間：1時間～半日

対象：10代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P12	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

15【町内清掃】

概要：お寺周辺、あるいは地域全体の清掃作業を地域住民と共に定期的に行う。

目的：周辺地域をきれいに保つ。また同じ作業を共同して行うことで地域社会の中での人と人のつながりを再確認する。

効果：町がきれいに維持されることで、そこに住む人の意識も健康に保たれる。またそれらを自分の手で行うことで地域社会への愛着、周辺住民との深いつながりを感じることができる。

期間：無期限

対象：全年齢

16【手製お守り作り】

概要：参加者自身に一からお守りを作ってもらい、その場で参加者と一緒にお経を唱え、ご祈祷をしてお守りを以て帰ってもらう。

目的：普段持つお守りにより愛着を持ってもらう。自分が持つお守りにはお経が読まれていることを自覚してもらう。

効果：普段何気なく買ったりするお守りを、一から自分の手で作ることで、お守り、ひいてはご祈祷をする仏さまにより親しみ、愛着が持てるようになる。そして、お守りの加護をより感じられることで、日々の生活に安心を感じられる。

期間：1時間～半日

対象：20～70代

17【タイムカプセル】

概要：境内の一面に、希望者の記念品などを入れたタイムカプセルを埋め、石碑、記念碑を立てて数年後～十数年後に開封する。

目的：子どもの頃の思い出、夢を、境内に保存することで、その周辺地域への愛着を持たせる。また、その地域に対して、タイムカプセルを何年後かに開封するというつながりを持つってもらう。

効果：タイムカプセルというつながりを持つことで、成長過程において地域に対して愛着、親しみを持つことができる。実際にタイムカプセルを開封した時に、子どもの時のつながりを再度結べたり、過去とのつながりを結び直すことができる。

期間：数年～十数年

対象：10代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P13	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

18 【職業紹介・講習、体験】

概要：それぞれが就いている職業の紹介。あるいはその職業技術で生活に役立つものを講習形式で教えてもらう。

目的：互いの職業理解。より深いコミュニケーション。

効果：それぞれが就いている仕事について理解することで、お互いの理解が深まり、より深いコミュニケーションを行える。また自分が就いている仕事を他者に紹介することで、自分自身もそれまで気づかなかった新たな側面を発見できる。講習を聞いた側は専門家から学べるので知識向上にも繋がる。

期間：半日～一日

対象：30～60代

19 【精進料理、郷土料理教室】

概要：精進料理、あるいはその地域に伝わる郷土料理を教わる料理教室。

目的：精進料理教室を通して仏教の精神を学ぶ。郷土料理教室を通して、その地方の歴史や伝統を学び継承していく。参加者同士の交流。

効果：精進料理を学ぶことで、普段の食も変化していき、食、ひいては健康に対する意識を変えることができる。

伝統料理に触れることで、郷土愛、地元への愛着を生み、また先人から学ぶということを通じてコミュニティのつながり強化になる。

期間：半日～一日

対象：20～30代

20 【瞑想】

概要：ヴィパッサナー瞑想、マインドフルネス瞑想法、チベット仏教の瞑想法等を本堂のような清浄な空間で行う。

目的：瞑想を行うことで、日常生活で見過ごしている様々な気づきを得て、心の平静を取り戻す。

効果：心に平静、安心が戻ることで、日々積み重なる様々なストレスの軽減になる。

期間：1時間～一日

対象：10～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P14	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

2 1 【朝夕の声かけ活動】

概要：朝夕の通学時間に、お寺の前や周辺で通学中の学生達に声かけを行う。

目的：地域の安全向上。学生のモラル向上と同時に、学生達とのつながりを結ぶ。

効果：大人の目が子供に向けられていることをしっかりと形で表すことで周辺地域の安全性が上昇し、学生、またその親たちも安心して生活できる。大人達の目がきちんと自分（学生）に向いていることを自覚し、支えられている、繋がっているという安心感と同時に学生自身のモラル向上になる。

期間：毎日

対象：学生全般

2 2 【ペットパーク・広場】

概要：境内の一部を解放し、ペットを自由に遊ばせることのできるフリースペースにする。

目的：ペットの運動場。飼い主同士の交流。

効果：ペットの運動不足解消。飼い主同士がコミュニケーションを取ることで、様々な情報交換ができ、地域のつながり強化にもなる。子どもにも開放することで、ペットと触れ合える場にもなる。

期間：毎日

対象：10～60代

2 3 【墓地ガーデニング】

概要：各家の墓地区画それぞれにプランター等を置いてガーデニングが可能なようにし、希望する家庭には自由にガーデニングを行ってもらう。また、お寺側は、ガーデニングの管理のバックアップや、共同して使える資器材の管理を行う。

目的：お墓に定期的に通ってもらう。ガーデニングを通して、土いじり、自然とのふれ合いを体験してもらう。

効果：お墓に定期的に通うことによって、家族のつながりの強化になる。また、お墓でも生花やお菓子をお供えすることが規制されている昨今、お墓を飾る彩りとなる。

期間：1年

対象：20～70代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P15	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

24【境内ガーデニングスペース】

概要：境内の一区画をガーデニングスペースとして、開放し希望者に自由にガーデニングをしてもらう。あるいはお寺側が指揮しガーデニングスペースを管理し、ガーデニングスペースの花が見頃の時期には人を集め観覧会、散歩会等を行う。

目的：共同作業を通しての地域社会のつながり強化。景観美化。花と接することによる癒しの体験。

効果：マンションやアパート住まいで庭を持ってない人でも気軽にガーデニングを楽しむことができる。また花の生長に合わせて様々な作業を行わなければいけないため定期的にガーデニングスペースにて作業を行う必要があり、様々な人と接する機会にもなる。

地域社会の景観に彩りを添える一助にも成る。

期間：1年

対象：20～70代

25【フリーマーケット、物産展】

概要：本堂、境内を開放し、フリーマーケットや物産展等の会場とする。

目的：地域社会の活性化。様々な物品を、必要のない人から必要のある人へ結びつける場。

効果：様々な人が色々な物を持ち寄り、売り買いすることで地域全体に活気が広がる。地域社会のつながりが強化される。

まだまだ使える物の有効活用ができる。もったいないという精神が育成される。

期間：半日～1日

対象：10～60代

26【境内散歩の会、森林浴】

概要：ある程度境内が広い場合は境内内をゆっくり歩行による瞑想を意識しつつ散歩する。また地域内に自然公園や遊歩道がある場合でも、同じようにその中を、歩行による瞑想を意識しつつ散歩を行う。

目的：散歩による地域の自然の再認識。散歩による癒し・リラクゼーション。

効果：散歩をしながらの交流で参加者同士の親交が深まる。また、いつもは通り過ぎるだけの風景を、ゆっくり散歩をしながら眺めることで違った視点で見ることができ、気づきのきっかけになる。地域のことを知ることで、その地域への愛着が増す。

期間：1時間～半日

対象：20代～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P16	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

27【異業種交流会】

概要：お寺周辺の地域で、様々な職業に就いている人たちを集め交流会を行う。

目的：お互いの職業について理解を深める。他者の職業を知ること、その人のことをより詳しく知り、つながりを深める。

効果：異業種間で交流を深めることで様々な視点、価値観を得ることができ、参加者それぞれがスキルアップを図れる。地域の人たちと交流することで、地域の理解が進み、より愛着がわく。

期間：1時間～半日

対象：20～40代

28【仏教に基づく生活講座】

概要：仏教経済学、少欲知足、地産地消、自給自足など仏教に基づく生活を実践するための講習会。

目的：生活のスタイルを見直すきっかけ。エコロジー等が盛んに言われる現代において、仏教的見地から見た自然に優しい循環型の生活を紹介する。

効果：仏教の教理を学ぶと同時に、その実践方法として環境負荷の少ない生活スタイルを学ぶことができる。自分の生活がいかに人や自然とのつながりの上で成り立っているのか、再確認ができ、過度な欲望を抑え、自然に自然や社会に優しい生活へと変化できる。

期間：1時間～半日

対象：20～40代

29【断食体験】

概要：きちんと計画され、管理された断食を行うことで、身体に負担が少ない形で内部から身体がきれいになることを実践する。

目的：身体を内部からきれいにする。食に対する欲望を制御、我慢することを通して精神修養をはかる。食のありがたさの再認識。

効果：身体が中身からきれいになることを実感すると同時に、普段の食生活がいかに自分自身の身体に汚れを与えているのかを感じることができる。食べ物のありがたさ、それを用意してくれる全ての人に対する感謝の心がおきる。

期間：1日～10数日

対象：20～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35才	男性
NO.189	P17	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

30【人材スキルマッチング】

概要：あるスキルを持つ人と、そのスキルを必要としている人たちをマッチングさせる、登録制のシステムをお寺で管理運営する。マッチングの際、お金を介在させないというシステムの組み方も考えられる。

目的：人と人との交流の促進。お金依存型社会からの脱却。

効果：人に頼り、頼られるという関係が自然にでき、地域社会のつながりをより実感できる。同じ地域に住む他人がどんな職業に就いているのか知るきっかけになる。

期間：半日～数日

対象：20～70代

31【家系図作り】

概要：家系図を作るための様式・テンプレートを用意し、家族参加のワーク形式、あるいは、それを渡し帰宅後それぞれに作業をしてもらう形で、各家庭の家系図を自分で作ってもらい、自分のルーツ、家族のルーツを理解してもらう。

目的：自分自身のルーツを知る。家族のつながりの再確認。先祖の大切さの再確認。

効果：両親はもちろん祖父母やその父母を家系図という図にしてまとめることで、自分が一人で生きているのではなく、つながりの中で生きていることを実感できる。家族間で会話を促進するきっかけとなる。法事やお盆に対する意識も変化し、より積極的になる。

期間：半日～1日

対象：10～30代

32【目標実現のための誓いと実現過程報告の会】

概要：目標実現のためのワークグループを作り、を本堂等にメンバーを集め、定期的な会を実施する。具体的な内容は、ある一定の期間を定め、その日までに叶えたい目標を発表し、その実現のためにこれからどのようなスケジュールを行っていくのかを皆の前で発表しあう。そして、その期間までの間に定期的にメンバーが集まり目標達成までどれだけ進んでいるのかを発表しあう。聞いている方は、発表の中で気づいた問題点を指摘したり、より有効なアドバイスをを行い、発表者の目標実現までをしっかり見守っていく。そして、最終的に定められた期日までに目標を実現していく、というもの。

目的：各人の目標を実現することで、より充実した人生を歩んでもらう。目標を複数の人とで共有することで目標実現の可能性を高める。

効果：一人では諦めてしまう目標でも、他人と共有することで高いモチベーションを維持でき目標実現につながる。また目標実現に向けて前向きに日々を送ることができるため、生活そのものの質も向上し、ひいては地域社会全体の活性化にもつながる。

期間：1年間～5年間

対象：20～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P18	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

33 【家族・友人への手紙のすすめ】

概要：遠くに離れて暮らしている家族や友人に季節の便りや手紙を定期的を送ることをすすめる。その為の手紙のテンプレート作成や配布、皆で集まり手紙を書く会のような集まりをお寺で行う。

目的：進学や仕事等で家族の元を離れることになった家族や、遠くにいる友人とのつながりの維持。地域の情報の発信。

効果：地域から離れてしまった人でも、手紙や便りをもらうことで、その地域のことを思い出す。また、遠く離れていても自分は一人ではない、ちゃんとつながりがあるんだと自覚することができる。

期間：1時間～半日

対象：10～70代

34 【お寺・地域の新聞の発行】

概要：地域に関連するニュースを発行し、道の駅、観光スポット等に置かせてもらう。また元々その地域に住んでいた人などにも郵送し、地域のことに関心を持ってもらう。記事内容等は地域に住んでいる人たちにお願いし書いてもらう。

目的：地域の情報の発信。地域とのつながりが疎遠になってしまった人に、再度地域に関心を持ってもらう。地域の魅力の再発見。

効果：地域に住んでいる人ならではの情報を発信することで、その地域の魅力が広まる。その地域を離れてしまった人にも、地域の変化を伝え、郷愁を呼び起こし地域に関心を持つようになる。その地域の人たちが自ら新聞を作ることで、当たり前のことや日常だったものに新たな気づきを得ることができる。

期間：1ヶ月～数ヶ月おきに定期的

対象：全年齢

35 【作務衣・着物・浴衣作り】

概要：作務衣や着物、浴衣を自分の手で作る集まり。その会場として本堂やお寺の一室を開放する。

目的：同じ作業を一緒にすることによる交流。伝統文化の継承。服作りを通してリサイクル、「もったいない」の精神を感じる。

効果：服作りを一緒に行うことで交流が深まり、参加者同士のつながりが深まる。作務衣や着物、浴衣を自作することで、それらを着る機会が少ない人にも興味を持ってもらえる。着なくなった着物を再利用することでリサイクルの実践になり、また、それを残してくれた人たちとのつながりを実感する機会にもなる。

期間：1時間～半日の会を定期的に

対象：10～40代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P19	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

36【マイお経本作り】

概要：白紙のお経本、あるいはルーズリーフのようなお経本を使い、自分で写経をしたお経本を作る会を定期的に行う。その際、お経の意味や仏教の思想の解説等を行うのも良い。

目的：お経本作りを通して、その内容や仏教思想の勉強を行う。お経、あるいはそれを読むことに親しみを持ってもらう。

効果：自分でお経本を作り、それを持って法事や行事に出ることでお経を読む時の気持ちや法事や行事にのぞむ姿勢がより積極的になる。また、定期的に集まりを行うことで、参加者の交流が深まる。

期間：1時間～半日の会を定期的に。

対象：30～70代

37【昔語りの会】

概要：その地域に長い間住んでいた年配の方に昔、その地域でどんなことがあったのかお話ししてもらう。数人で座談会のような形でおこなってもよい。できるだけ年配の方々が自然に話せるような場を作る工夫が必要。

目的：地域の歴史を知ることによる、地域とのつながり強化。年配の方が持つ潜在力の発揮。年配の方と若い世代の橋渡し。

効果：地域の歴史をじかに聞くことにより、自分たちの住む地域により愛着が湧く。それまで接することの少なかった年配の方と接することで、新しいつながりが生まれ、地域が活性化するきっかけとなる。。

期間：1時間～半日

対象：10～80代

38【自分の戒名を考えよう】

概要：自分の死後、つけられる戒名を自分で考える会、あつまり。年一回のように定期的におこない、自分の人生を振り返る機会にしてもよい。

目的：戒名の本来の意味を理解する。死を身近に考えることによって生を充実させる。

効果：自ら戒名をつけることで戒名に関心を持つようになる。自分の死後を考えることで、死の準備、心構えが養われる。また、死の実感、生の実感にもつながり、日々の生活を瑞々しく輝かせる。

期間：1時間～半日

対象：40～80代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35才	男性
NO.189	P20	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

39【アナログゲーム交流会】

概要：将棋や囲碁、麻雀、あるいはモノポリーのようなボードゲームのようなアナログゲーム遊ぶ会、あつまりを本堂、お寺の一部屋等を使い開く。

目的：ゲームを通して人と人との交流をはかる。伝統的な遊びの継承。

効果：顔を合わせてゲームをすることで交流が深まり、地域社会のつながりの強化になる。子どもも参加させることで、老人から子どもへ遊び文化の継承がおこなわれる。また、デジタルなゲームしか知らない子どもにとっては、新鮮な面白さとなる。

期間：半日～1日、定期的に

対象：10～70代

40【無人市場】

概要：境内の一画に無人市場用のスペース、売り場を設置し、お寺で管理する。

目的：新鮮な野菜の流通。農家が収穫した野菜等の売り場確保。

効果：定期的に無人市を開くことで、周辺の人々の食生活の向上に役立つ。また農家にとっても売り場が増えるので、やる気と共に生活の質も向上する。

期間：毎日、週一回、のように定期的におこなう。

対象：30～70代

41【中学・高校・大学の部活・サークル対象の精神修養】

概要：中学・高校の部活（運動部系など）や大学の運動部系サークルを対象に唱題行や読経、寒行、水行などをおこなわせ、精神修養の一環とする。

目的：学生の精神修養。

効果：精神修養、修行体験を通して規律・規範を守るということを覚え、モラル向上になる。厳しい修行をやり遂げたという経験は、学生達が困難に出会った時の大きな力になる。

期間：半日～一週間

対象：10～20代

42【中学・高校の部活と連動した活動】

概要：中学・高校の部活の発表・活動の場としてお寺の境内、本堂を開放する。それぞれの企画はできるだけ学生たち主導でおこなう。

例…茶道部のお茶会・野点、美術部・写真部・書道部などの展示会、演劇・演奏会など

目的：学生にとっての新しい表現の場所としてお寺を提供する。

効果：学生たちが自ら企画を考え、それを実行するために協力し合うことで学校での活動だけではできない経験ができる。

期間：半日～2、3日

対象：10～20代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P21	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

4 3 【仏前結婚式の紹介、体験セミナー、お見合い仲介、婚活支援】

概要：お寺でおこなう仏前結婚式を紹介するセミナー、あるいは実際に体験できる体験会をおこなう。また、その一環としてお寺の人脈を使ったお見合いの仲介や、婚活パーティーのような婚活支援もできればなおよい。

目的：若者達の結婚の支援。

効果：結婚支援を積極的におこなうことで、少子化対策となる。また、地域の中で新たなつながりが生まれるきっかけとなる。

期間：半日～1日

対象：20～30代

4 4 【仏像パー、カフェ】

概要：お寺の雰囲気を取り入れた空間を作り、様々な仏像を展示し、お酒やお茶を提供する。店舗を構える場合とお寺の中を利用する場合とが考えられる。お坊さんならではのお説教や法話をメニューに加えるのもよい。

目的：地域交流ができる場の提供。様々な仏像の展示、鑑賞。

効果：お酒やお茶を交えて交流することで、つながりがより深くなる。穏やかな空間で様々な仏像を鑑賞することで、心の平安、安らぎが得られる。

期間：店舗型の場合、毎日。お寺の一画を利用の場合は、週一回や月一回のように定期的に。

対象：20～70代

4 5 【法要荘厳への参加、その為の練習会】

概要：花祭りやお施餓鬼、御会式などの季節ごと、節目ごとの法要に際して、法要荘厳（散華、楽、太鼓、稚児行列など）をやってもらうメンバーを集め、定期的に練習会をおこなう。そして、法要本番にも法要荘厳として参加してもらう。

目的：伝統行事の継承と振興。それぞれの行事の意味を理解する。

効果：お寺が催す伝統行事に積極的に参加することで、その意味や歴史を知り、伝統行事の継承に役立つ。同じ目標に向かう仲間ができることで地域内の交流が活発になる。

期間：1時間～半日程度の練習会を、週一回、あるいは月一回といった間隔で定期的に。

対象：20～50代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P22	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

46【映画、ビデオ上映会】

概要：本堂にてプロジェクター、スクリーンを使い映画の上映会をおこなう。娯楽としての映画鑑賞だけでなく、ドキュメンタリーなどの映画を上映し、知識向上を目的とすることも考えられる。

目的：娯楽提供。知識向上。

効果：映画館がないような地域では、地域の人々にとっての娯楽になる。趣味嗜好が似た人々が集まるので、その人達の交流の場となりやすい。

期間：1時間～3時間

対象：10～70代

47【送迎、循環バス運行】

概要：お寺や地域内での行事に際して、マイクロバスやハイエース等の大型車両にて送り迎えをおこなう。

あるいは、お寺が中心となり、地域の人々にメンバーとなってもらい乗り合いバス・車を相互に利用し合う集まりを作る。そして、遠出をするために車を利用したい人と、お寺で手が空いている人が運転手をするか、メンバー内で運転できる人をマッチングさせる。また運行情報を電話、ネット等で連絡することで、相乗りしたい人も見つける。

目的：地域内外での移動が困難な人への移動支援。高齢者への定期的な声かけ。

効果：運転が困難になりなかなか外に出なくなった人も移動手段があることによって生活にメリハリができる。このシステムを利用してくれる人たちとは定期的に会うことになるので、それぞれに自然に声かけができ、体調が悪くなった場合にすぐに対応できる。また、孤独死などを防ぐこともできる。

期間：毎日

対象：運転手…20～50代、利用者…60～90代

48【ハンモックで昼寝会】

概要：折りたたみ式ハンモック、簡易式ハンモックなどを、仕切をした境内（芝生などを敷くことができればなお良い）の一面などに設置して、自然を感じながらリラックスしてもらう昼寝会のようなものをおこなう。

目的：自然と親しむ中で、心の平安、安定を得る。ゆったり流れる時間を体験する。癒しの体感。

効果：ハンモックでのんびりする体験を通して、生活リズムをリセットすることができ、それ以後の仕事や生活への活力を生み出す。

期間：半日～1日

対象：20～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P23	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

49【親子会】

概要：親と子が心おきなく遊べる場として本堂、あるいは境内を開放する。あるいは親と子が協力して行う作業や遊びをイベントとして企画する。

目的：親と子のつながり強化。子を持つ親同士の交流。子ども同士の交流。

効果：遊びや作業を親と子が一緒におこなうことにより、親子のつながりがさらに強化される。また、親同士が子どもに関する様々な悩みを共有することで、育児の助けにもなる。

期間：1時間～1日。定期的におこなう。

対象：子どもとその親

50【夏祭り、正月等での境内開放、実行委員会方式での運営】

概要：お寺の境内を開放して、季節のお祭りや農作物の収穫祭、正月の初詣など人を集めるイベントをおこなう。その際には実行委員会を立ち上げ、できるだけ地域の人々に運営から関わってもらう。

目的：様々なイベント・お祭りに地域の人々に主体的に参加してもらう。地域の人々の交流活性化。

効果：自分たちでイベント・お祭りを運営することにより、地域への愛着が生まれる。また、日々の生活にもメリハリが生まれ、モチベーション向上にもなる。

期間：実行委員会として1年間、定期的にあつまる。イベント・お祭り自体は1～3日程度。

対象：20～60代

コンサート 学習塾 図書館 カフェ 遊び場ほか			35 才	男性
NO.189	P24	修行／同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／僧侶が必須／交流が目的の会／セレモニー／境内・伽藍の開放／土地を貸す／展示会／本格経営／情報発信／紹介所／ボランティア支援／地域ネットワーク／僧侶の努力		
				⇒ジャンルへ

4. まとめ

地域の活性化とは、そこに住む人々の人生がより良いものとなり、笑顔が絶えず、日々の生活が充実していることを目標とするべきである。主役はあくまで地域の人々の生活でなければならない。そして、地域社会のために行われるお寺の活用も同様でなければならない。

昨今、地域活性化とは、沢山の人や物をその地域に集めること、あるいは地域の物を売ってお金を儲けることであるというような印象が強い。しかし、物やお金といったものは、あくまでもその地域に住む人々の生活をより良く向上させ、幸せに生活するための手段に過ぎない。しかし、物やお金を求めすぎることが、その地域に住む住民の幸せを、逆に奪ってしまうことがたびたびある。

良質な地域住民の生活や人生の幸福には、何を置いても人それぞれのつながりが重要となってくる。人を人たらしめているのは、他の存在（この場合の存在とは、人に限らず、動物や植物、情報や知識も含まれる）とのつながりなのである。人が、今の状態から別の状態に変化する原因は、他の存在とのつながりの中にしかない。今の状態から幸せな状態になれるのは、良いつながりがあるからである。今の状態から悪い状態になってしまうのは、悪いつながりがあるからなのである。

地域社会のためのお寺活用を考える時も、当然このつながりの重要性を無視することはできない。地域をより良く活性化させようと思うのなら、良いつながりを重視した活動をしていかなければならないのである。先に挙げたアイディアのリストについても、人と人とのつながりという視点から、活動を行われなければ全く意味をなさないであろう。その点では、つながりの重要性を最も理解しているお寺・お坊さんは色々な活動・イベントを行う上では最適なのである。

それらをふまえた上で、地域社会・お寺の分析・分類をしっかりとこない、現状を十分に把握し、リストアップしたそれぞれのアイディアを、分析・分類にもとづきアレンジしていただき、自由に活用してもらいたい。

防災拠点	女性会議	人生相談	国際貢献	寺子屋ほか	55才	男性
NO.192	P2	勉強会／真剣な話し合い／相談窓口／まつり型イベント／ボランティア支援				
						⇒ジャンルへ

事業名：国際貢献体験塾

趣旨：
 ・ラオスの学校建設等への次世代僧侶候補や檀信徒の子弟を二国境を越えて派遣する。
 ・6～10歳の子ども達に「感謝」「我慢」「自立」「友情」などの体験をさせる。
 ・費用は熊本の「人吉市」のようには造れる。

事業名：寺院を利用したボランティア体験塾システム

趣旨：寺院を利用して、様々なボランティアの体験や実施の受け入れや支援を行う。被災地のお寺等を利用してのボランティア受け入れや宿泊、食事の提供。内容や安全対策、医療体制等マニュアルやシステムを防災会議等を通して宗門で作成し、ある程度基準を満たすボランティア受け入れ寺院に人や金銭の支援を行い地域復興の礎となる寺院利用。

事業名：寺子屋「文化体験塾」

趣旨：地方の田舎ではお寺だけが地域コミュニティの場である場合が多々見かけられる。塾や文化教室などのない地域は時として退屈であり人々が文化や歴史に触れる経験を奪っている。
 そんな地域の体験や文化、ちょっとした習い事の「場」を作り提供し多くの地域住民が集えたら良い、習字、茶道、華道、和洋裁縫刺繍、絵画、行儀作法、料理など、住職や寺庭、檀家や近所のボランティア等得意な人を招き趣味と交流の場を提供出来ればと思う。広がれば参加者が次々アイデアを出しもっともっと広がりを見せ、地域の力が地域の活性化を図ると思う。

ポイント：お寺の敷居を低くすること

地域の出来るだけ沢山の人を巻き込んだ事業とすること
 近隣他寺（日蓮宗以外も含む）との連携や交互開催なども面白い
 施餓鬼や写経などは日蓮宗他寺とも連携や交互開催なども面白い

防災拠点 女性会議 人生相談 国際貢献 寺子屋ほか		55 才	男性
NO.192	P3	勉強会／真剣な話し合い／相談窓口／まつり型イベント／ボランティア支援	
			⇒ジャンルへ

事業名 : お母さんの駆け込み寺「子育てほっとルーム」

趣 旨 : 民生委員、児童委員をしていると時々感じるのだが、核家族化が進む中で、子育ての苦手な、相談相手を持たない母親が増えている。時として不幸な事故も新聞やマスコミをにぎわしている。

当寺でも副住職夫妻を中心に連紹寺C A F Eとキッズルームを定期的に開催し同世代の子を持つ夫婦の交流の場やお茶の飲みの場を提供しているが、とても良いことである。

町の真ん中ならいざ知らず、地方の田舎ではお寺だけが地域コミュニティの場である場合が多々見かけられる。そんな中子育てが苦手なお母さん、悩みを持つお母さん、少しの息抜きをしたいお母さん達のため、お寺がその場を提供出来たら素晴らしいと思う。

もちろんお寺自体がそれを行うには負担が大きいですが、月に1～2回子育てを終えたお母さんやお婆さんが若いお母さんや赤ちゃんと過ごす場や時間を提供し心配ごと、悩み、愚痴でも話せる場があれば良いと思う。地域の児童委員さんやボランティアを巻き込んで「場」を作り提供し多くの地域住民が集えたら良い、お父さんの日や不登校児童の日、親子の料理教室、行儀作法、座禅や修養道場へのきっかけとなればと思う。

ポイント: お寺の敷居を低くする

地域の出来るだけ沢山の人を巻き込んだ事業とする
お寺以外の支援者を沢山募る
無理のない範囲から始めていく

防災拠点 女性会議 人生相談 国際貢献 寺子屋ほか			55才	男性
NO.192	P4	勉強会／真剣な話し合い／相談窓口／まつり型イベント／ボランティア支援		
				⇒ジャンルへ

事業名 : 「いのりんびっく」IN 連紹寺

日時 : 2012年～13年

場所 : 島根県出雲市連紹寺境内

趣旨 : 2011年度島根県でいのりんびっく「いのちだんだんフェスタ」が開催された。出雲市連紹寺も飲食部門の担当で20名近いスタッフで出かけた。当日打上げの席でスタッフが言い出したのは「出雲」で「連紹寺」で開催しようとの意見でした。

予算やスタッフから決して大きな事は出来ないがお寺の規模にあった独自の「いのりんびっく」を開催したい。

連紹寺では18年前、ちょうどオウム真理教事件、地下鉄サリン事件等、若者がおかしな宗教に惑わされたり行き場所を探し求めている時、青年会を立ち上げ檀家や地域の青少年の居場所作りを始めました。

現在も沢山の事業の中、檀家、信徒を始めその友人やボーイスカウト関係者やOB、国際交流グループ関係者、男女共同参画関係者、四方網引き参加チームの地域の小学生、中学生、高校生、清掃奉仕の中学校バスケット部員、手芸関係、子育て関係等々本当に様々な人がお寺を訪れてくれます。

18回を数える夏祭りでも催し物は地域のエンターテイメントの皆さん（吹奏楽・合唱・手品・神楽・太鼓・トランペット、ダンスチームなど）をお呼びし交流を続けています。

今、お寺には何にも代え難い人材のネットワークが出来ています。そんな人・仲間達と一度命の尊さやありがたさ、大切さを語り合うと共に震災や津波、水害等で大変な思いをしている人たちにも思いをはせる時間を持ちたい。

他のお寺にもきっと様々な人的交流や人材、素材が有ると思います。私たちが寺院単位で行う小さな小さな「いのりんびっく」の

スタートを切ることで全国に「ミニミニいのりんびっくの輪」を広げていきたい。そして日蓮宗の三つの想い「心」「社会」「人」を育てていくため、自分たちで出来るさまざまな交流のスタートとしたい

防災拠点 女性会議 人生相談 国際貢献 寺子屋ほか		55 才	男性
NO.192	P5	勉強会／真剣な話し合い／相談窓口／まつり型イベント／ボランティア支援	
			⇒ジャンルへ

「いのりんびっく」IN 連紹寺 (案)

対 象 : 日蓮宗会員・出雲近辺日蓮宗寺院・中高校生・一般市民・留学生・
担 当 : 飲食スペースの開設 (連紹寺檀信徒・近隣寺院・出雲の台所スタッフ・その他)

スタッフ: 連紹寺檀信徒・近隣協力寺院・ボランティア (中高校生・近隣住民・檀信徒友人・一般) 他

予 算 : ◆未定・チケットにて販売

内 容 : ◆法要・法話・講演会 (東北の被災地より)
◆展示
・パネル展示 他寺活動・日蓮宗 (宗門より)・いのりんびっく資
・写真展示 他寺活動・日蓮宗 (宗門より)・いのりんびっく資
・その他展示 連紹寺活動 (写真・刺繍など作品展示・他)
◆模擬店 (食べ物:トレイ:マイ箸)
たこ焼き・焼きそば・焼きトウモロコシ・おでん・カレー・ポッ
プコーン・ラーメン・串焼き・おにぎり・綿がし・揚げ物・そば・
うどん・その他
◆模擬店 (飲み物:紙コップ:マイグラス)
ジュース・ビール (生・ギネス樽)・カクテル (バーテンダー協
会) お茶・水は無料
◆ゲーム
風船釣り・輪なげ・スーパーボールすくい・射的・型抜き・フィ
ッティング・キャンディーのつかみ取り・
◆イベント
・ステージイベント・歌 (参加者全員)・タイムサービス・抽選
会・
・一人一針 (平和と平安を祈って参加者から一針ずつ戴く)
・震災者へのメッセージボード作成
・夢書き込みボードの設置・護摩木に祈りを書きもやす
◆募金及び寄付
震災被災者のための寄付 (いのちの共有・感謝・お裾分け)

(概要)

寺放れの現象は確かに有る。しかしその情
報格差はるだ僅かな事例に過ぎず、檀信徒と
して甚だ遺憾極まる現実だが、私はそれ程深
刻な問題として受け止めていない。その理由
として原因は現在の政治、経済と教育に影響
されている一過性の現象と思われる。更に細
かく分析すると

(一) 仏教を軽んじ先祖を軽んじる風潮が有る

(二) 政治と教育による

(三) 葬儀や法要等に重きを置かない習俗放れ

(四) 教育、経済による

(五) 水葬、風葬、山葬等散骨する傾向が有る

(六) 教育、政治に偏った自由思想

(七) 寺院、住持との交流の衰退

(八) 教育、政治

(九) 地域差による基所の高騰

(十) 政治、経済

等々である。しかし大局的に見れば政事も

教育も経済も一個の歯車であって大きなサイ
クルによって安心出来る社会に戻る。とは至極
楽観的過ぎる様だが深刻な問題は回避する必
要が有る。それは努力によって善処する事で
ある。

本来、寺院の存在は地域社会と一体となり、
檀信徒によって精心的原拠で有り生活に深く
関わりを持つ、対称であつた。寺と地域の住民
との本来の形に戻す事は接点を多く結ぶ様に
努力する事ではないだろうか。熱心な檀信徒

は別として寺を中心とする一般住民の参加が
重要なのである

(寺院の活用システム)

第一義は寺の住取と地域住民の成人、児童、
性別を問わず接点を持つ事を優先に考え実施
する。特に将来を考え児童の情操教育の一環
として寺院内で涵養指導の必要性有り。

人間の形成は先ず児童期に於ける教育と環境
とによつて基盤が固まるが学校と家庭の両教
育の問題となつてゐる現在、その中間的役割

が必要不可欠ではないか。寺院の活用システムとしての役割りが出来るのかを考え具体的な例を挙げてみる。

(一)寺院内は極く一部を除き自然の景観が見られ広庭有り樹木も有り実に清澄な環境を備えている処が多い。又茶堂や庫裡等も広く問題無くれば充分に活用出来るスペースである。従って寺院内を接点として役割りが可能となり教育、趣味の場、練習の場、遊技の場として広く有意義に利用出来るのである。

範例として大きく成人と子供に分け学習、遊技等は同列に示した。

一、児童(幼稚園〜高校生位迄)

(屋外)柔剣道、馬跳び、アトベンチャーゲーム、トッジボール、飛箱、紙飛行機、野焼き(軟陶器を焼成する)、石蹴り、縄飛び、缶蹴り、立木登り、相撲、古代火起し体験、等

(屋内)補習的学習、珠算教室、外国語教室、物語りの会、百人一首、囲碁、将棋、囲画、

工作、粘土細工(縄文弥生式土器等)、扇作り、折紙、カルタ取り、等

二、成人(老令でも自分を用事能人、車椅子の人を付添者有り可)

(屋外)金業造り、陶芸の焼成、野焼き(野焼きとも云う軟陶土器を焼成但し消炭炭有り)、菊作り、石仏彫刻、オブジェ造り、体操、気功、ゲートボール、バダーゴルフ、バードウォッチング、天文観測、柔剣道(柔道は古堂とも云う)、居合、等

(屋内)俳句、短歌、囲碁、将棋、万葉集等の研究、日舞、洋舞、フラダンス、カラオケ

(増設予定)面打ち、木工、仏像彫刻、着付、ストレッチ、昔話、和楽器稽古、等

右の各プログラムは寺院側の考えにより、旺日、時間滞等設定、檀信徒、世話人にプログラムの等を広く宣伝する協力を求める。尚、時間の許す範囲で住取、世話人も各プログラムに参加する事へ成功に繋がる。以上

私が書道教室に通い始めたのは幼稚園の頃です。母の勧めで近所の公民館を選びました。当時は文字を美しく書くというよりも、教室を介して会合う仲間や先生とのコミュニケーションに魅力を感じていました。勉強のために、そのような気持ちでではなく、ただ単に教室のある日が待ち通しくて仕方なかったのです。今思えばあの楽しい教室であつたからこそ二十歳の今まで続けてこられたような気がします。指導する立場となり自分も子供たちに筆を手にする楽しさを伝えていきたいのです。

この度提案したお寺での「寺子屋書道教室」は字の上達のみならず、お寺に通うことにより育つ子供たちの豊かな心の育成も大切な目的です。



へ特長

- ・子供から頂くのは受講料の代わりにお食事金。
- ・お金の大切さを知り、懸命に取り組める。
- ・「お願いします」「有難うございました」と挨拶は一番に教える。
- ・「お寺での習い事により、礼儀を身に付けてほしい」

また、普段は関わる機会のないお坊さんとの交流で、伝統あるお寺に趣味と抱いてほしいと思います。寺子屋で、書道教室は子供とお寺を結ぶ架け橋となるのではないのでしょうか。



感謝の
気持ち
教室と通し
身に付く
礼儀
!!

寺には学校では
習わない遊びや文化
楽—いろいろ!!
自然もいろいろ!!

紙芝居をつくろう。発表しよう。クルーのろう。
 ・各地の伝説(ご当地ソングがありますように新作)
 ・お釈迦さま、宗祖一代記 コニテスト
 発表は四月八日花まつり、四阿をおかきりーその
 前で、保育園 老人会に呼びかけます。雨の日
 は本堂、密蔵殿で(バリエーション多、お宿の
 由未、お金の話、防犯、蔵の紙芝居)
 社協の活動、交通ルール、ゴミの分別 ETC 子ども
 かけの家の家、日本昔話。子が来るには親が来
 ます。ええ方も、地防犯
 関係も呼びかけよう。(再生)
 デイ・サービスにはお寺で
 餅つきなど。

カルタ・T字路		不明	不明
NO.201	P1	同じ趣味の会／境内・伽藍の開放／土地を貸す／公園化 一般年中行事／情報発信	
			⇒ジャンルへ

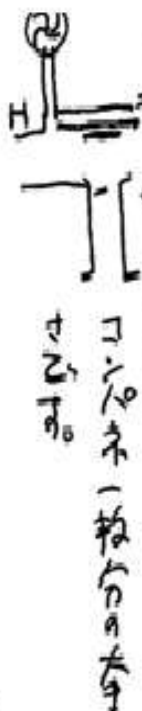
地域社会のための、お寺の活用アイディア

家内は元保育師。寺内で役立つ仕事を探そう。乳幼児児童の時間預りを実施。一時間〇〇円から、四、五日何回、何年もの例もあり。入園まで預り、母、祖父母、若い母と子のグループの集いがあり、接触、遊ぶ、遊ぶ所など（又は少ないとある）そこで境内開放し、毎秋深いいころ、焼芋大会と昼食会実施。本堂でお昼寝。フリマ、演芸会も以前はあったことあり。カルタ大会も。

知名度と、お寺の姿勢を力に、
こまめな取り組みは今も実施

T字路つまり当り、ガードレールに
場末極限まで行事を有収入

す。第一報停止しますから



す。

地元新聞に不要本と其の
文庫、新刊、コミック絵本
つづいハガール月一出版で

「お寺の活用アイデア」

今回の大震災で国民は大変苦しみであり、
被災の人との絆もさうによめなる。

「寺に集り、皆で元気に歌をうたっており、
元気に集り、前と違って、歌の内容は誰でも
楽しめるもの。童謡や情歌など、をかき
うたって元気に集り、お互いの絆をつよめたい、た
る」と思っています。声を出すことで元気になれます」

ひと

お経を合唱する		62 才	男性
NO.203	P1	同じ趣味の会	
			⇒ジャンルへ

お寺なので、大きな声で
お経を合唱する。30分
唱えた後、法話を聞
く。(年代層に~~分~~ける)

寺子屋		33 才	女性
NO.209	P1	勉強会	
			⇒ジャンルへ

寺小屋

それぞれが"持っている"スペシャリストな事

(地元の歴史、暮らしの知恵、切り絵、

ヨガ、マッサージ、お料理、パソコン教室
 国語、そろばん、言語、体のしくみ... etc)

とにかく、小さな事でも、知識になる

ような事、生活していくときに

なるほど! こうすればよかったのか!!

先人が工夫していた暮らしなど、

仕事としてはやっていなくても こんな

特技が役に立てば。と 思っている方を

呼んで、1日 講習してもらうという

企画です。お寺にいろんな人が来る

きっかけになり、地域にも密着できると思います。

① 活性化アイデア

- ・老人は別にして、青少年・壮年の者にとって「お寺」は具体的な活動が見えないので近よりがたい。
- ・青少年にとって魅力ある「お寺」とは何か？……行ってみたい！
見てみたいから「和尚」の話も時には聞いてみたい……青少年をひきつける
「音楽会」「餅つき大会」「白蓮さまと元寇映画会・紙しばい」etc
- ・まず行動(やって)してみる事で次にやるべき魅力あるものが見えて来るのではないかと思う

御上人と一緒に

お経をあげる。 20~30分程度!

(例)

・ 土曜日 チャート早起きプラン

・ 木、金 チャートナイタープラン など

※ ただ一緒に経をあげる ことがスタート

→ 興味がある人は お経の意味や

お寺の歴史、造りなどを進んで質問
してくるはず

→ 進んで集まる人たちなら
自分たちでやりたいことが
見つかるでしょう。

お寺に人が集まることが大切だと思う。

① 活字化アイデア
 軸は、小田で、
 今政治の頼りない
 思い、政治家に
 持つ、ある場所を
 もう、いいと思
 には、子供を連
 子供、親の機に
 取、い、新し
 い、本、お、奇、人、道、場、た、
 中、立、た、立、場、で、国、を
 木、で、き、る、勉、強、会、を
 木、で、き、る、勉、強、会、を
 色、を、あ、る、し、勉、強、会
 思、い、ま、す、し、
 思、い、ま、す、し、
 思、い、ま、す、し、

お寺は、心のコミュニティー		67 才	男性
NO.222	P1	同じ趣味の会／セレモニー／境内・伽藍の開放	
			⇒ジャンルへ

「お寺は、心のコミュニティー」

- ① お寺は一般的に檀徒を、中心の行事で、活動しており、此の点の工夫が、必要である
- ② お寺と観光との結びつき、
- ③ お寺の歴史を掘り出す
- ④ お寺に、まつわる祭りの企画
- ⑤ お寺に、集まった人を、飽きさせない
- ⑥ お寺に、日常的にお茶を飲み、お話しができ、聞いてあげる場所
- ⑦ 縁日、少なくとも月に1回
- ⑧ 動物の供養を、盛大におこなう
- ⑨ 信仰により集まり
- ⑩ お上人の徳、人気
- ⑪ 子供たちを集める工夫「親も参加する」
- ⑫ お寺のキャラクターを作る
- ⑬ お寺の「ご本尊」以外の、者で人を集める
- ⑭ お寺の、周り歴史から考える
- ⑮ お寺の、者に見て又触れる「例、仏像」
- ⑯ お寺と、他のお寺とのジョイント。イベント
- ⑰ お寺として、宗派をこえての、考え方も必要ではないか

* ここで紹介いたします。長野県 駒ヶ根市赤穂、日蓮宗大法寺「ご本尊、以外の者で人集め」檀徒が、約 250 軒と小さなお寺であります。特に取り立てて、話題性のあるお寺ではありませんでした。本堂の右側奥に小さな、朱色の祠がりましたが、誰しもが気にはしていましたが、取り立てて如何することもなく今日まで着ました。お上人に聞きましたら、長野県では珍しい「最上稲荷大明神」とのことで、お寺御興し、町御興しに一役かていただきたく、バスを仕立てて、岡山県最上稲荷へお参りに行ってまいりました。今年の春4月に、大々的にお祭りを、企画して準備をしてまいりました。

イ・・・朱の昇旗の奉納、320 本

ロ・・・油揚げの奉納

ハ・・・駄菓子、オモチヤ、宝投げ、爆弾菓子の実演、「お寺の世話人が準備」

ニ・・・大法寺餃子

ホ・・・大法寺飯頭「10 円飯頭」

ヘ・・・大法寺お上人による、法話

ト・・・大法寺、祈禱

チ・・・狐の、「着る、ぐるみ」

リ・・・豚汁、甘酒

多くを、計画、準備しておりましたが、東日本大災害の為、延期となり、平成 23 年 10 月に、規模を縮小して、開催いたしました。「最上稲荷大明神」を中心とした。人とのコミュニティーの場として、お寺を盛り上げて生きたい、上記に箇条書きしました内容は、どこのお寺でも考えられると思います。